

体育（Ⅰ課程）.doc

体育（Ⅱ課程）.doc

美術（１年）.doc

美術（２年）.doc

美術（３年）.doc

音楽.doc

家庭科.doc

国語（１段階）.doc

国語（２段階）.doc

作業学習（チャレンジ班）.docx

作業学習（手工芸班）.docx

作業学習（農業班）.doc

作業学習（木工班）.docx

作業学習（窯業班）.docx

数学（１段階）.doc

数学（２段階）.doc

生単１年?目次.pdf

生単１年①４月１・２週 入学・進級、学級づくり.pdf

生単１年②４月４週 学年菜園.pdf

生単１年③５月１・２週 運動会を成功させよう①②.pdf

生単１年④５月３週 運動会を成功させよう.pdf

生単１年⑤５月４週 運動会の振り返り.pdf

生単１年⑥６月１週 梅雨の暮らし.pdf

生単１年⑦６月２・３・４週 進路体験事前事後.pdf

生単１年⑧７月１・２週 夏の暮らし（１年）.pdf

生単１年⑨７月３週 １学期のまとめ.pdf

生単１年⑩９月１週 ２学期の計画.pdf

生単１年⑪９月２・３・４週 清風園交流（１年）.pdf

生単１年⑫１０月１・２・３週 都きり祭WEEK.pdf

生単1年⑬10月4週11月1・2週 進路体験事前事後.pdf

生単1年⑭11月3週 秋の遠足.pdf

生単1年⑮12月1・2週 冬の暮らし（1年）.pdf

生単1年⑯12月3週 2学期のまとめ.pdf

生単1年⑰1月2週 3学期の計画.pdf

生単1年⑱1月3週 冬の遊び（1年）.pdf

生単1年⑲1月4週 給食感謝週間.pdf

生単1年⑲2月3・4週 卒業生を送る会準備（1・2年）.pdf

生単1年⑳2月1・2週 生徒会役員選挙.pdf

生単1年?3月1週 卒業生を送る会実施（1・2年）.pdf

生単1年?3月2週 1年間のまとめ②（1・2年）.pdf

生単2年?目次.pdf

生単2年①4月1・2週 入学・進級、学級づくり.pdf

生単2年②4月4週 学年菜園.pdf

生単2年③5月1・2週 運動会を成功させよう①②.pdf

生単2年④5月3週 運動会を成功させよう.pdf

生単2年⑤5月4週 運動会の振り返り.pdf

生単2年⑥6月1週 梅雨の暮らし.pdf

生単2年⑦6月2・3・4週 進路体験事前事後.pdf

生単2年⑧7月1・2週 夏の暮らし（2年）.pdf

生単2年⑨7月3週 1学期のまとめ.pdf

生単2年⑩9月1週 2学期の計画.pdf

生単2年⑪9月2・3・4週 清風園交流（2年）.pdf

生単2年⑫10月1・2・3週 都きり祭WEEK.pdf

生単2年⑬10月4週11月1・2週 進路体験事前事後.pdf

生単2年⑭11月3週 秋の遠足.pdf

生単2年⑮12月1・2週 冬の暮らし（2年）.pdf

生単2年⑯1月2週 3学期の計画.pdf

生単2年⑰12月3週 2学期のまとめ.pdf

生単2年⑱1月3週 生徒会役員選挙.pdf

生単2年⑲1月4週 給食感謝週間.pdf

生単2年⑳2月1・2週 いままでとこれから（2年）.pdf

生単2年?2月3・4週 卒業生を送る会準備（1・2年）.pdf

生単2年?3月1週 卒業生を送る会実施（1・2年）.pdf

生単2年?3月2週 1年間のまとめ②（1・2年）.pdf

生単3年?目次.pdf

生単3年①4月1・2週 入学・進級、学級づくり.pdf

生単3年②4月4週 学年菜園.pdf

生単3年③5月1・2週 運動会を成功させよう①②.pdf

生単3年④5月3週 運動会を成功させよう.pdf

生単3年⑤5月4週 運動会の振り返り.pdf

生単3年⑥6月1週 梅雨の暮らし.pdf

生単3年⑦6月2・3・4週 進路体験事前事後.pdf

生単3年⑧7月1・2週 修学旅行（3年）.pdf

生単3年⑨7月3週 1学期のまとめ.pdf

生単3年⑩9月1週 2学期の計画.pdf

生単3年⑪9月2週 修学旅行（3年）.pdf

生単3年⑫9月3週 修学旅行（3年）.pdf

生単3年⑬9月4週 修学旅行（3年）.pdf

生単3年⑭10月1・2・3週 都きり祭WEEK.pdf

生単3年⑮10月4週11月1・2週 進路体験事前事後.pdf

生単3年⑯11月3週 秋の遠足.pdf

生単3年⑰12月1・2週 冬の暮らし（3年）.pdf

生単3年⑱12月3週 2学期のまとめ.pdf

生単3年⑲1月2週 3学期の計画.pdf

生単3年⑳1月3週 生徒会役員選挙.pdf

生単3年?1月4週 給食感謝週間.pdf

生単3年?2月1・2週 入学選考に向けて（3年）.pdf

生単3年?2月3・4週 1年間のまとめ（3年）.pdf

生単3年?3月2週 卒業に向けて（3年）.pdf

生単3年?3月3週 卒業に向けて（3年）.pdf

中学部 年間指導計画			全学年	(Ⅰ課程)グループ	教科・領 域名(保 健体育)	年間指導時数	105
指導目標			○各種の運動の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた行い方及び体の発育・発達やけがの防止、病気の予防などの仕方が分かり、基本的な技能を身に付けることができる。(知識及び技能) ○各種の運動や健康な生活における自分やグループの課題を見付け、その解決のために友達や教師と考えたり、工夫したことを自分に合った方法で他者に伝えることができる。(思考力、判断力、表現力等) ○各種の運動に積極的に取り組み、きまりや簡単なスポーツのルールなどを守り、友達と助け合ったり、安全に留意したりして、自分の力を発揮して運動をすることができる。(学びに向かう力、人間性等)				
学期	月	単元(題材)	単元(題材)目標	時数	学習活動内容 指導の手立て	教材等	
Ⅰ	4	体づくり運動 陸上運動(運動会練習) せいの学習	<体づくり運動> ○体ほぐしの運動や体の動きを高める運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わうことができる。 ○体ほぐしの運動や体の動きを高める運動についての自分の課題を見付けることができる。 ○体ほぐしの運動や体の動きを高める運動に積極的に取り組み、きまりを守り、友達と助け合ったり、安全に留意したりして、自分の力を発揮して運動することができる。 <陸上運動> ※目標については、5月と同じ	体づくり運動 (2) 陸上運動 (2) せいの学習 (1)	<体づくり運動> ○準備体操 ○実態に合わせた静的ストレッチ ○実態に合わせた動的ストレッチ ○自己のペースでウォーキング ○整理運動 <陸上運動> ○ラジオ体操 ○短距離走 ○リレー	<体づくり運動> ○デジタイマー ○カラーコーン ○アンプ ○教師がストレッチのモデリングをする。 <陸上運動> ○ラジオ体操音源 ○カラーコーン ○ホイッスル	
	5	陸上運動(運動会練習) せいの学習	○短距離走や団技の楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な技能を身に付けることができる。 ○短距離走や団技についての自分の課題を見付けることができる。 ○短距離走や団技に進んで取り組み、きまりを守り、友達と助け合ったり、安全に留意して、自分の力を発揮することができる。	陸上運動 (8) せいの学習 (1)	○ラジオ体操 ○短距離走 ○リレー ○団技	<陸上運動> ○ラジオ体操音源 ○カラーコーン ○団技用具 ○ゴールテープ ○アンプ ○ホイッスル	

	6	体力テスト 水泳運動 (雨天時:器械運動) せいの学習	<水泳運動> ○初歩的な泳ぎの楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付けることができる。 ○初歩的な泳ぎについての自分の課題を見付けることができる。 ○初歩的な泳ぎに進んで取り組み、きまりを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をすることができる。 <雨天時:器械運動> ○器械・器具を使った運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技を身に付けることができる。 ○器械・器具を使った運動についての自分の課題を見付けることができる。 ○器械・器具を使った運動に進んで取り組み、きまりを守り、友達と協力したり、場や器械・器具の安全に留意したりして、最後まで楽しく運動をすることができる。	水泳運動 (6) せいの学習 (1)	<水泳運動> ○準備体操 ○プールの水を自分で、又は教師の支援を受けながら自分の体にかける ○水中歩行 ○水中ゲーム ○ばた足、かえる足(実態に合わせて) ○け伸び(実態に合わせて) ○補助具を使った泳ぎ(実態に合わせて) <雨天時:器械運動> ○準備体操 ○マットや跳び箱等実態に合わせた器械・器具を使い転がる等実態に合った運動をする。	<水泳運動> ○水中ゲーム教材 ○補助具 ○ホイッスル <雨天時:器械運動> ○マット ○跳び箱
	7	水泳運動 (雨天時:器械運動) せいの学習				
2	9	体づくり運動 球技 せいの学習	※体づくり運動の目標については4月と同じ ※球技の目標については、10月と同じ	体づくり運動 (8) せいの学習(1)	<体づくり運動> ○準備体操 ○10分間ウォーキング ○短い距離の走運動 ○サーキットトレーニング	<体づくり運動> ○デジタイマー ○カラーコーン ○アンプ ○サーキットトレーニング用具
	10	球技 せいの学習	○球技の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解し、基本的な技能を身に付け、簡易化されたゲームを行うことができる。 ○球技についての自分の課題を見付けることができる。 ○球技に積極的に取り組み、きまりや簡単なルールを守り、友達と助け合ったり、場や用具の安全に留意したりし、自分の力を発揮して運動をすることができる。	球技 (8) せいの学習 (1)	<球技> ○準備体操 ○きりしまベースボール	<球技> ○きりしまベースボール用具

	11	球技 陸上運動 体力テスト(シャトルラン) せいの学習	※球技の目標については、10月と同じ ※陸上運動の目標については、12月と同じ	球技 (2) 陸上運動 (5) せいの学習 (1)	<陸上運動> ○準備体操 ○走りにつながる動的柔軟 ○長距離走(実態に合わせた距離又は時間) ※球技の内容については、10月と同じ	<陸上運動> ○デジタイマー ○カラーコーン
	12	陸上運動 せいの学習	○長距離走の楽しさや喜びを味わい、その行い方が分かり、自分が決めた距離を走りきることができる。 ○長距離走についての自分の課題を見付けることができる。 ○長距離走に積極的に取り組み、きまりを守り、友達と競い合い、自己の力を発揮して運動をすることができる。	陸上運動 (5) せいの学習 (1)	※陸上運動の内容については、11月と同じ	
3	1	武道 ダンス せいの学習	<武道> ○武道の楽しさを感じることができ、その行い方や伝統的な考え方に触れ、基本動作や基本となる技を身に付けることができる。 ○武道についての自分の課題を見付けることができる。 ○武道に進んで取り組み、きまりや伝統的な行動の仕方を守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで取り組むことができる。 <ダンス> ○ダンスの楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付け、表現したり踊ったりすることができる。 ○ダンスについての自分の課題を見付けることができる。 ○ダンスに積極的に取り組み、友達の動きを認め、協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動することができる。	武道 (3) ダンス (3) せいの学習 (1)	<武道> ○準備体操 ○素振り ○防具体験 ○剣道の構え ○歩み足や送り足 ○基本の打突の仕方、受け方 <ダンス> ○準備体操 ○身近な音楽や軽快なリズムの曲に合わせて、全身で弾んで踊る。 ○簡単なフォークダンス ○流行曲でダンスする。	<武道> ○武道用具一式 <ダンス> ○アンプ ○ダンス音源
	2	球技 せいの学習	※球技の目標については、10月と同じ	球技 (7) せいの	<球技> ○準備体操 ○ネット型のスポーツ(バレーボール、バドミン	<球技> ○ボッチャ用具

				学習 (1)	トン、テニス、卓球)のいずれか。	
	3	球技 せいの学習	※球技の目標については、10月と同じ	球技 (7) せいの 学習 (1)	<球技> ○ゴール型(サッカー、バスケットボール)のい ずれか。	<球技> ※準備物については、2 月と同じ

※時数については、学年体育の時数を含んだ時数とする。

※保健については、生徒の実態に応じて、せいの学習で取り扱う。

中学部 年間指導計画		全学年	(Ⅱ課程A)グループ	教科・領域名 (保健体育)	年間指導時数	105
指導目標		○各種の運動の楽しさを味わい、基本的な動きをすることができる。(知識及び技能) ○各種の運動や健康な生活における自分の課題を教師と一緒に見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを自分に合った方法で、他者に伝える力を養う。(思考力、判断力、表現力等) ○各種の運動に進んで取り組み、きまりや簡単なスポーツのルールなどを守り、安全に留意して、最後まで楽しく運動をする態度を養う。(学びに向かう力、人間性等)				
学期	月	単元(題材)	単元(題材)目標	時数	学習活動内容 指導の手立て	教材等
I	4	体づくり運動 陸上運動(運動会練習) せいの学習	<体づくり運動> ○体ほぐしの運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わうことができる。 ○体ほぐしの運動についての自分の課題を教師と一緒に見付けることができる。 ○体ほぐしの運動に進んで取り組み、きまりを守り、最後まで楽しく運動することができる。 <陸上運動> ※目標については、5月と同じ	体づくり運動 (2) 陸上運動 (2) せいの学習 (1)	<体づくり運動> ○準備体操 ○実態に合わせた静的ストレッチ ○実態に合わせた動的ストレッチ ○自己のペースでウォーキング ○整理運動 <陸上運動> ○ラジオ体操 ○短距離走	<体づくり運動> ○デジタイマー ○カラーコーン ○アンプ ○教師がストレッチのモデリングをする。 <陸上運動> ○ラジオ体操音源 ○カラーコーン ○ホイッスル
	5	陸上運動(運動会練習) せいの学習	○短距離走や団技の楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、決められた距離を走りきったり、時間いっぱい団技をしたりすることができる。 ○短距離走や団技についての自分の課題を教師と一緒に見付けることができる。 ○短距離走や団技に進んで取り組み、きまりを守り、最後まで楽しく運動をすることができる。	陸上運動 (8) せいの学習 (1)	○ラジオ体操 ○短距離走 ○団技	<陸上運動> ○ラジオ体操音源 ○カラーコーン ○団技用具 ○ゴールテープ ○アンプ ○ホイッスル
	6	体力テスト 水泳運動 (雨天時:器械運動) せいの学習	<水泳運動> ○水の中での基本的な運動をしたり、初歩的な泳ぎを体験したりすることができる。 ○水の中での基本的な運動や初歩的な泳ぎについての自分の課題を教師と一緒に見付けること	水泳運動 (6) せいの学習 (1)	<水泳運動> ○準備体操 ○プールの水を自分で、又は教師の支援を受けながら自分の体にかける ○水中歩行	<水泳運動> ○水中ゲーム教材 ○補助具 ○ホイッスル
	7	水泳運動				<雨天時:器械運動>

		(雨天時:器械運動) せいの学習	ができる。 ○水の中での基本的な運動や初歩的な泳ぎに進んで取り組み、きまりを守り、最後まで楽しく運動をすることができる。 <雨天時:器械運動> ○器械・器具を使った運動の楽しさや喜びに触れることができる。 ○器械・器具を使った運動についての自分の課題を教師と一緒に見付けることができる。 ○器械・器具を使った運動に進んで取り組み、きまりを守り、最後まで楽しく運動をすることができる。	水泳運動 (6) せいの学習 (1)	○水中ゲーム ○ばた足、かえる足(実態に合わせて) ○け伸び(実態に合わせて) ○補助具を使った泳ぎ(実態に合わせて) <雨天時:器械運動> ○準備体操 ○マットや跳び箱等実態に合わせた器械・器具を使い転がる等実態に合った運動をする。	○マット ○跳び箱
2	9	体づくり運動 球技 せいの学習	○体の動きを高める運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わうことができる。 ○体の動きを高める運動についての自分の課題を教師と一緒に見付けることができる。 ○体の動きを高める運動に進んで取り組み、きまりを守り、最後まで楽しく運動することができる。 ※球技の目標については、10月と同じ	体づくり運動 (8) せいの学習 (1)	<体づくり運動> ○準備体操 ○10分間ウォーキング ○短い距離の走運動 ○サーキットトレーニング	<体づくり運動> ○デジタイマー ○カラーコーン ○アンプ ○サーキットトレーニング用具
	10	球技 せいの学習	○球技の楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きを身に付け簡易化されたゲームを行うことができる。 ○球技についての自分の課題を教師と一緒に見付けることができる。 ○球技に進んで取り組み、きまりを守り最後まで楽しく運動をすることができる。	球技 (8) せいの学習 (1)	<球技> ○準備体操 ○きりしまベースボール	<球技> ○きりしまベースボール用具
	11	球技 陸上運動 体力テスト(シャトルラン) せいの学習	※球技の目標については、10月と同じ ※陸上運動の目標については、12月と同じ	球技 (2) 陸上運動 (5) せいの学習 (1)	<陸上運動> ○準備体操 ○走りにつながる動的柔軟 ○長距離走(実態に合わせた距離又は時間) ※球技の内容については、10月と同じ	<陸上運動> ○デジタイマー ○カラーコーン

	12	陸上運動 せいの学習	○長距離走の楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、決められた距離を走りきることができる。 ○長距離走についての自分の課題を教師と一緒に見付けることができる。 ○長距離走に進んで取り組み、きまりを守り、最後まで楽しく運動をすることができる。	陸上運動 (5) せいの 学習 (1)		
3	1	武道 ダンス せいの学習	<武道> ○武道の楽しさを感じることができる。 ○武道についての自分の課題を教師と一緒に見付けることができる。 ○武道のきまりや伝統的な行動の仕方を守り、進んで取り組むことができる。 <ダンス> ○ダンスの楽しさを味わうことができる。 ○曲などを聞きながら自由に表現することができる。 ○ダンスに積極的に取り組み、友達の前で踊ることができる。	武道 (3) ダンス (3) せいの 学習 (1)	<武道> ○準備体操 ○素振り ○防具体験 <ダンス> ○準備体操 ○流行曲でダンスする。	<武道> ○武道用具一式 <ダンス> ○アンプ ○ダンス音源
	2	球技 せいの学習	<球技> ○球技の楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きを身に付け簡易化されたゲームを行うことができる。 ○球技についての自分の課題を教師と一緒に見付けることができる。 ○球技に進んで取り組み、きまりを守り最後まで楽しく運動をすることができる。	球技 (7) せいの 学習 (1)	<球技> ○準備体操 ○ボッチャ	<球技> ○ボッチャ用具
	3	球技 せいの学習	<球技> ※目標については、2月と同じ	球技 (7) せいの 学習 (1)	<球技> ※内容については、2月と同じ	<球技> ※準備物については、2月と同じ

※時数については、学年体育の時数を含んだ時数とする。

※保健については、生徒の実態に応じて、せいの学習で取り扱う。

中学部 年間指導計画			第1学年	(1課程)グループ	教科・領域名 (美術)	年間指導時数	70時間
指導目標			○ 材料や用具の扱い方に親しむとともに、経験したことや思った事を表現できる。(知識・技能) ○ 材料などを基に、自分の見方や感じ方を広げることができる。(思考力・判断力・表現力) ○ 楽しく美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わうことができる。(学びに向かう力・人間性)				
学 期	月	単元(題材)	単元(題材)目標	時数	学習活動内容 指導の手立て	教材等	
I	4	オリエンテーション	○新しい学年の学習内容を確認し、1年間の学習活動への見通しをもつ。	2	○自己紹介をする。 ○美術の授業でのルールを確認する。 ○1年間の学習内容を知る。	筆記用具	
		デザイン 「色について知ろう」	○色相環や混色などについて身近な画材などを使って表現することで、色の仕組みを知る。	4	○12色相環について知る。 ○色の順番を見ながら、課題プリントに色紙を貼る。		
	5	合同作品 「ダンボールアートを作ろう」	○他の生徒と協力して、一つの巨大な作品を、制作することで、友達の表現や画材の使い方を知り、表現の楽しさを味わう。	8	○みんなで共同して合同作品を制作することを知る。 ○画用紙を切り取り、様々な形の型紙を作る。 ○ダンボールに型紙を当て、刷毛やローラーで色を塗り、合同作品を制作する。 ○いろいろな画材、道具の使い方を知る。	段ボール 刷毛、スポンジローラー ペン、ポスターカラー	
	6	写真作品・鑑賞 「お気に入りの写真を撮ろう」	○タブレットやデジタルカメラなど、様々な撮影機器の操作方法を知る。 ○レイアウトや編集など表現技法について知り、自分の表現したい方法を考えようとする事ができる。	6	○合同作品を鑑賞し、気に入った部分をデジタルカメラで写真に撮る。 ○印刷、ラミネートをし、画用紙で額を作って写真作品を制作する。展示して作品を鑑賞する。	タブレット端末 画用紙、ラミネート	
	7	絵画 「海の生き物たち」	○にじみの表現技法を知り、海のイメージの表現に生かそうとすることができる。 ○様々な海の生き物について、調べることで、描きたいモチーフを自由に表現することができる。	4	○濡らした画用紙の上に、スポイトを使って絵の具を垂らし、にじみの効果をいかした画面を作る。 ○資料をもとに、海の生き物を描く。 ○描いた海の生き物をハサミで切り取り、ラミネートして画面に貼る。	画用紙、スポイト 絵の具 図鑑、タブレット端末など ラミネート	

2	9 10	絵画 アート展コラボ作品 「ダンボールを使って表現しよう」	○アート展について、どのような作品展か、また共同制作とはどのようなものであるかを知り、テーマに沿って、友達と協力して豊かに楽しく表現しようすることができる。	12	○宮崎県立特別支援学校アート展について知る。 ○県内の特別支援学校の作品を持ち寄り、コラボ作品を制作して美術館に展示することを知る。 ○「心の雲」をイメージしてダンボールに自由に色を塗り、制作する。 ○「つながる」をテーマに、毛糸を使ってそれぞれの作品をつなげ、展示方法を工夫する。	段ボール 段ボールカッター 糊、ポスターカラー、 カラーペン 筆、刷毛、
	11	絵画 季節の絵画を描こう	○コラージュについて知り、その表現技法を作品に生かそうとすることができる。 ○画材や季節の素材（葉っぱなど）を生かして、コラージュの良さを生かした表現をしようすることができる。	8	○美術技法（コラージュ）を使って、秋をイメージした作品を制作する。 ○季節に合った色彩をいかして表現する。	画用紙 葉っぱなど季節の素材 糊、ボンド
	12	鑑賞 「校内作品展を鑑賞しよう」	○自分の作品や友達の作品を鑑賞し、良いところを見付けて、伝えたり、発表したりすることができる。	4	○自分の作品について、制作した感想などをみんなの前で発表する。 ○校内の様々な学年の作品を鑑賞し、自分の好きな作品を選んで写真を撮り、発表する。	生徒作品
	1	工芸 「張り子オブジェを作ろう」	○張り子とはどのようなものか知る。 ○制作したいイメージに合わせた形作りや着色を工夫することができる。	8	○新聞紙を丸めて好きな動物の形をイメージして、オブジェを制作する。	新聞紙、糊、ボンド セロハンテープ、障子紙、ポスターカラー
3	2	数字のデザイン 「オリジナルサイコロをつくろう」	○サイコロの特徴や用途を知る。 ○使用したい場面や状況などをイメージしながら、オリジナルのサイコロを作ることができる。	8	○1から6までの数字のデザインを考える。 ○画用紙にデザインした数字を描き、サイコロをつくる。	厚画用紙 筆記用具、カラーペン
	3	鑑賞 「みんなの作品を鑑賞しよう」	○自分の作品や友達の作品を鑑賞し、良いところを見付けて、伝えたり、発表したりすることができる。	4	○自分の作品について、制作した感想などをみんなの前で発表する。 ○友達の作品のよさや美しさを感じとって味わう。	生徒作品
		1年間のまとめ 「作品バッグをつくろう」	○作品整理をするためのバッグ作りであることを知る。 ○持ち帰る作品を整理しながら、自分の作品の良いところなどを振り返ることができる。	2	○新聞紙を使って、作品バッグを制作する。 ○好きな絵を描いて飾り付けをする。 ○作品を整理する。	新聞紙、カラーペン、 折り紙、自分の作品

中学部 年間指導計画			第2学年	(Ⅰ課程)グループ	教科・領域名 (美術)	年間指導時数	70時間
指導目標			○ 材料や用具の扱い方を理解し、身につけ、表し方を工夫しよう และสามารถทำได้。(知識・技能) ○ 経験したことや想像したこと、材料などを基に、自分の見方や感じ方を深めることができるようにする。(思考力・判断力・表現力) ○ 主体的に美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わう。(学びに向かう力、人間性など)				
学期	月	単元(題材)	単元(題材)目標	時数	学習活動内容 指導の手立て	教材等	
Ⅰ	4	オリエンテーション	○ 新しい学年の学習内容を確認し、1年間の学習活動への見通しをもつ。	1	○ 1年間の学習内容を知る。 ○ 美術の授業でのルールを確認する。	教科書 ファイル	
		デザイン 「色の仕組みを知ろう」	○ 色相環や混色などについて身近な画材などを使って表現することで、色の仕組みを知る。	1	○ 色相環について知る。 ○ 三原色の仕組みを知る。 ○ 色の違いを考え、その表現方法を工夫することができる。	水彩絵の具、教科書 筆、パレット、水 ワークシート	
	5	絵画 「運動会のポスターを作ろう」	○ ポスターの役割を知り、運動会のポスターを制作する。	4	○ これまでに経験した、運動会の様子を振り返りながら、わかりやすく、伝わりやすい絵を意識して表現する。	ハツ切画用紙 クレヨン、絵の具	
	6	絵画 「梅雨の作品」	○ 梅雨のイメージをしっかりと持ちながら、新しい技法を使って作品を制作する。	8	○ にじみの技法を使って、選択した色で着色する。 ○ 様々な素材を使って、梅雨のイメージを表現する。	四ツ切画用紙 絵の具、スポイト、	
	7	立体・鑑賞 「光をつかまえよう」	○ 透明感のある素材(カラーセロハン、トレーシングペーパーなど)を使い、光を使った作品を制作し、光から見るることができる色の表現を楽しむ。	4	○ 折り紙の折り方や、はさみを用いての切り方で、できあがりの様子が大きく変化することを知り、楽しんで作る。 ○ 素材の質感を考えながら、その扱い方について知り、工夫して表現することができる。 ○ 自分の作品の感想を書き、みんなの前で発表する。 ○ 自他の作品のよさや美しさを感じ取って、味わう。	折り紙(黒) カラーセロハン はさみ ラミネートフィルム 紐	
2	9	オリエンテーション	○ 2学期の学習内容を確認し、活動への見通しをもつ。	1	○ 2学期の美術の学習を知る。	教科書、ファイル、 筆記用具	

		絵画 「スクラッチアート」	○ スクラッチの技法やその特徴を知り、鮮やかな作品を制作する。	9	○スクラッチの技法について知る。 ○スクラッチの技法の特徴を生かした作品のテーマを自分で決め、鮮やかな作品を制作する。	クレヨン、OPテープ、画用紙、割り箸
	10	版画・鑑賞 「ドライポイント」	○ 版画技法の一つであるドライポイントに取り組むことで、新しい表現技法を知る。	8	○ ドライポイントの表現技法について知る。	ニードル、塩ビ版、版画用絵の具、用品
	11	立体・工芸 「クリスマスツリー」	○ 様々な素材の特徴を生かした季節（クリスマス）のオブジェを作り、クリスマスを楽しもうとすることができる。	8	○ クリスマスに関わる様々なものや装飾を見ながら、クリスマスが近づいていることを実感する。 ○ 様々な素材の特徴を活用した作品を制作しようとする可以尝试。	松ぼっくり、ビーズ、木の枝、木の実、木工用ボンド
	12	立体・合同作品 「門松を作ろう」	○ 日本の正月について自分の体験と結びつけながら、友達と協力して門松を制作する。	6	○ 日本に伝わる門松について学び、込められた願いや意図を知る。	空き缶、クラフトテープ、両面テープ、水引、折り紙、割り箸、ラップの芯
3	1	オリエンテーション	○ 3学期の学習内容を確認し、活動への見通しをもつ。	1	○3学期の美術の学習を知る。	ワークシート
		デザイン 「名前のデザイン」	○ 自分の名前を表す文字を自分のイメージにながるようにデザインし、表現する。	10	○フォントや絵の具を工夫して、自分の名前を画面いっぱい表現する。	クラフトボード、アクリル絵の具、筆等
	2	立体 「小さな世界（スノードーム作り）」	○ 冬をイメージさせる季節のオブジェを作成する。	4	○ 季節を感じさせる素材を使い、素材の特徴を生かした作品を制作しようとする。	ペットボトル、ラミネートフィルム、ラメ、ビーズ、洗濯のり
	3	思い出グッズを作ろう	○ 1年間の学校生活を振り返りながら、作品の整理をする。	6	○自分の好きなものをわかりやすく表現する。 ○できあがりイメージして、使いやすい形状を考える。	新聞、クラフトテープ、のり

中学部 年間指導計画			第3学年	(Ⅰ課程)グループ	教科・領域名 (美術)	年間指導時数	70時間
指導目標			○ 造形的な視点について気付き、材料や用具の扱い方を身につけ、多彩な表し方を工夫しようとすることができる。(知識・技能) ○ 経験したことや想像したこと、材料などを基に、発想し構想するとともに、自分たちの作品や美術作品に親しみ、自分の見方や感じ方を深めることができる。(思考力・判断力・表現力) ○ 主体的に美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わうことができる。(学びに向かう力・人間性)				
学期	月	単元(題材)	単元(題材)目標	時数	学習活動内容 指導の手立て	教材等	
Ⅰ	4	オリエンテーション	○ Ⅰ年間の美術の授業の流れを知るとともに、自己紹介をスムーズに行うための準備をする。	1	○Ⅰ年間の美術の授業の流れについて知る。 ○自分の好きなキャラクターや物を描き、それぞれの自己紹介をする。	アンケート用紙・画用紙・色鉛筆	
		ポスター 「運動会のポスターをつくろう」	○ 様々なお手本のイラストや画材を使用し、楽しいイメージの作品を仕上げることができる。 ○ 運動会の開催を周知するための必要な情報を、適切に盛り込んだ表現をすることができる。	3	○運動会の競技や関係する場面について知る。 ○資料を参考に、絵を描く。 ○絵の周りをマスキングテープや丸シールで装飾する。 ○ポスターで伝える題目や日時を貼る。	画用紙・色鉛筆・マスキングシール・丸シール	
	5	絵画 「梅雨の作品」	○ 梅雨を連想させる物や動物、事象などを表現に使用することができる。 ○ にじみの技法や様々な画材を使用して、水や雨を連想する作品を仕上げることができる。	8	○濡らした画用紙の上に、スポイトを使って絵の具を垂らし、にじみの効果をいかした画面を作る。 ○資料をもとに、梅雨の絵を描く。 ○描いたものをハサミで切り取り、ラミネートして画面に貼る。	画用紙、絵の具、スポイト、ローラー、ラミネート用紙、両面テープ	
	6	色彩理論	○ 色相環、三原色について、知識を深め、作品に生かそうとすることができる。	2	○色の原理、三原色、色相環について知る。	モニター・パソコン・ワークシート・折り紙・のり	
	7	デザイン(平面構成) 「カラフルな動物たち」	○ 色彩デザインの表現について、様々な技法を活用して、鮮やかな作品を仕上げようとすることができる。	8	○平面構成の作り方について知る。 ○資料をもとに、好きな動物をワークシートに描く。 ○ワークシートに描いた下書きをもとに、画用紙に描く。 ○画面上に線を引き、分割していく。 ○分割された部分ごとに異なる色を塗り、色彩効果と平面構成について学ぶ。	ワークシート・画用紙・マジック・色鉛筆	

2	9	絵画 アート展コラボ作品 「ダンボールを使って表現しよう」	○ 共同制作の趣旨を知り、一つのテーマに沿って、それぞれが制作を進めることで、一つの大きな作品が仕上がる楽しさを味わう。	10	○宮崎県立特別支援学校アート展について知る。 ○県内の特別支援学校の作品を持ち寄り、コラボ作品を制作して美術館に展示することを知る。 ○「心の雲」をイメージしてダンボールに自由に色を塗り、制作する。 ○「つながる」をテーマに、毛糸を使ってそれぞれの作品をつなげ、展示方法を工夫する。	ダンボール・ボンド・ポスターカラー・毛糸
		鑑賞 「校内作品展を鑑賞しよう」	○ 展示作品を鑑賞することで、気になる作品を見付けたり、友達の作品の良いところを見付け、感想を伝えたりすることができる。	2	○自分の作品について、制作した感想などをみんなの前で発表する。 ○校内の様々な学年の作品を鑑賞し、自分の好きな作品を選んで写真を撮り、発表する。	作品・感想用紙、iPad
	10 11	絵画 季節の絵画を描こう	○ 秋から冬にかけてのイメージ(気候や物、事象)を様々な画材や素材を生かして楽しく表現することができる。	10	○美術技法(コラージュ)を使って、冬をイメージした作品を制作する。 ○季節に合った色彩をいかして表現する。	画用紙・ポスターカラー・ボンド・ダンボール・マスキングテープ
	12	共同制作 「巨大クリスマスリースをつくろう」	○ 季節の行事をこれまでの経験に基づいてイメージし、それに合うグッズをみんなで楽しく作ろうとすることができる。	10	○新聞紙や段ボールを繋げて作った大きなリースに、様々な素材を使い、飾り付けをする。	新聞紙・画用紙・飾り(リボン・どんぐり・松ぼっくり等)・ホットボンド
		絵画 「正月飾りを作ろう」	○ 季節の行事をこれまでの経験に基づいてイメージしたり、由来を知ったりすることで、そのためのグッズを楽しく作ろうとすることができる。	2	○段ボールや厚紙など、手元にある素材の性質をうまく活用しながら、年中行事に合う作品に仕上げる。 ○来年の抱負などをそれぞれに発表する。	厚紙、折り紙、色鉛筆、ボンド、毛糸
3	1	張り子工芸 「張り子工芸(起き上がりこぼし)をつくろう」	○日本の伝統工芸について、その良さや目的などを知る。 ○色や動きなどを工夫しようとする中で、オリジナリティあふれる作品に仕上げようとする事ができる。	10	○日本の伝統工芸である張り子工芸について知る。 ○粘土を丸めたり、伸ばしたりして、立体的に表現する。 ○周りに和紙を貼る。 ○中の粘土を取り出し、おもりを入れて貼り合わせる。 ○好きな色で着色をする。 ○いろいろな教材・道具の特徴や使い方を知る。	粘土・新聞紙・和紙・ボンド・絵の具・ニス
	2	鑑賞 「みんなの作品を鑑賞しよう」	○ これまでの作品たちを改めて鑑賞することで、お互いの作品の良いところや、やってみたい表現方法など発表することができる。	2	○自分の作品について、制作した感想などをみんなの前で発表する。 ○友達の作品のよさや美しさを感じとって味わう。	制作した作品
	3	1年間のまとめ 「作品バッグをつくろう」	○ リサイクルできる素材を活用して、	2	○新聞紙を使って、作品バッグを制作する。 ○好きな絵を描いて飾り付けをする。 ○作品を整理する。	新聞紙のり 制作した作品

中学部 年間指導計画			全学年	教科・領域名 (音楽)	年間指導時数	70
指導目標			○曲名や曲の雰囲気と音楽の構造などとの関わりについて気付くとともに、音楽表現をするために必要な技能を身につけることができる。(知識及び理解) ○曲や演奏の良さなどを見いだしながら、音や音楽を味わって聞けることができる。(思考力・判断力・表現力等) ○進んで音や音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じるとともに、様々な音楽に親しんでいく態度を養う。(学びに向かう力、人間性等)			
学期	月	単元(題材)	単元(題材)目標	時数	学習活動内容 指導の手立て	教材等
1	4	新しい仲間	○友だちや先生と一緒に歌ったり、身体表現をすることの楽しさを味わう。	6	・「校歌」を歌うことで、本校への入学したこと意識を持たせる。 ・音楽に合わせて、友だちと手を叩き合ったり、歌ったり、身体表現をしたりすることで、友だちを意識するような関わりを持たせる。	・校歌 ・たのしいね ・さんぽ
	5	運動会に向けて 拍子を感じて	○歌詞や曲、音の表している様子を感じ取りながら、聴いたり、表現したりしようとする。	4	・運動会に関連した音楽では、元気よく声を出したり、大きな動きを模倣させる。	・若い力 ・せんろはつづくよ ・友だちになるために
	6	季節を感じて 響きを感じて		6	・梅雨の時期であることを伝え、雨の音に耳を傾けさせる。雨の音にもいろいろな種類があることに気付かせる。	・にじ
	7	夏の音楽(郷土の音楽)		8	・楽器や布、シャボン玉などの教具を利用し、音楽の雰囲気を味わわせる。	・各県の郷土の音楽(村祭り、東京音頭、炭坑節など)
2	9	音楽に合わせて 世界の音楽	○お互いの声や楽器の音や動きをよく見聴きしながら、一緒に歌ったり、演奏したり、身体表現をする楽しさを味わう。	12	・合唱や斉唱、合奏は、指揮者に注目し、合図をよく見て、みんなで声や音を合わせるようにさせる。 ・自分の役割を意識し、演奏部分や身体表現等の部分がしっかりと分かるようにさせる。	・だるまさんがおどった ・音楽を聴いて表現しよう ・郷土の音楽
	10	季節を感じて	○秋の歌を通して、季節を身近に感じ、秋の歌に親しむ。	5	・一般的な秋の歌を歌ったり、鑑賞をさせる。	・ハワイの音楽 ・スペインの音楽 ・赤鬼と青鬼のタ

	11	楽器の音色	○いろいろな楽器の音色の違いを感じ取り、表現の豊かさを感じ取る。	8	・曲を聴いたり、演奏場面の映像を見たりすることで、楽器の名前や音に関心を持たせる。	ンゴ ・ボラーレ ・ハロウィンの楽曲
	12	気持ちを合わせて	○年末の楽しい雰囲気を感じ、友だちと歌や表現を楽しむことができる。	5	・クリスマスに関連する衣装や装飾を使って、雰囲気を味わわせる。 ・様々な楽器を使って、曲の雰囲気や響きの美しさを味わわせる。	・クリスマスソング ・よろこびの歌
3	1	日本の伝統音楽	○日本音楽に親しむことができる。 ○日本音楽の雰囲気を感じて模擬表現することができる。 ○自由に表現することができる。	8	・和楽器に触れさせ、実際の音を経験させる。	ラデツキー行進曲 ・6段の調べ ・さくらさくら ・わらべうた
	2	心を合わせて	○歌詞の内容を知り、曲想を感じて表現することができる。 ○音楽を聞いて、情景を思い浮かべたり、雰囲気を感じたりすることができる。 ○全員での表現に興味を持つことができる。 ○歌詞の内容を感じて表現することができる。 ○気持ちを込めた表現を工夫することができる。	8	・歌詞を読んで、歌詞の内容を理解できるようにする。 ・伴奏や指揮を意識させるように促す。	・おもちゃのへいたいの行進曲 ・卒業式の歌
	3					

年間指導計画			全学年	家庭科	年間指導時数	35
指導目標			○ 家庭生活の中での自分の役割に気づき、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについての基礎的な理解を図る。(知) ○ 家族や地域の人々とのやりとりを通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫しようとする態度を養う。(思) ○ 家庭生活に必要な事柄について触れ、課題や解決策に気づき、課題を解決しようとする気持ちや解決する力の基礎を養う。(学)			
	月	単元(題材)	単元(題材) 目標	時数	学習活動内容・指導の手立て	
1	4	「家庭科で何を学習するの？」(オリエンテーション) 「家庭生活の中での自分の役割を持とう」	○家庭科の学習内容がわかる。 ○自分自身や身の回りのことに関心をもつ。 ○家庭生活に必要なことに関して、家族の一員とし自分の果たす役割に気づくことができる。	1	・自分の成長を振り返り、家庭生活の大切さについて知る学習。 ・家庭生活での役割などに関わる学習活動を通して、家庭における自分の役割や地域との関わりについて知る学習。 ・「衣服」「食事」「住居」に関わる家庭のしごと、生活の自立に必要な内容について基礎的な理解を図る学習。 ・場面に応じた日常着の着方や手入れの仕方などについて知る学習。 ・快適で安全、衛生的な住まい方に関わる学習。 ・季節の変化に合わせた快適な住まい方に気づき、工夫する学習。 ・小物作りを通して、手作りの良さ、楽しさ、達成感を味わわせる。	
	5	「洗濯名人になろう」	○日常着の手入れの仕方などについて知る。	2		
	6	「梅雨のくらし」	○季節の変化に合わせた住まい方、整理の仕方について知る。	2		
	7	「防災について考えよう」 「小物作り」 「学期末大掃除」	○用具の安全な取り扱い方について知る。 ○快適で安全、衛生的な住まい方について知る。	3 2		
2	9	「小物作り」 「防災について考えよう」 「高齢の方とお話ししよう」	○手作りの楽しさ、良さを味わうことができる。 ○幼児や高齢者と接することなどに関わる学習活動を通して、特徴や適切な関わり方に気付くことができる。	3	・裁縫道具の名称、安全な取り扱いに関する学習。 ・高齢者の特徴や過ごし方、接するとき気をつけることなどについての学習。 ・食事の大切さを知り、給食の栄養や身近な食品の栄養について調べる学習。 ・幼児の特徴や過ごし方、接するとき気をつけることなどについての学習。 ・日常着の快適な着方や手入れの仕方についての学習。 ・衣類の洗濯表示に関する学習。 ・季節の変化に合わせた住まい方、整理整頓や清掃に関する学習。	
	10	「食事の役割」 「バランスのよい食事」	○健康な生活と食事の役割について知ることができる。 ○適切な量の食事を楽しくとることの大切さに気づくことができる。	2		
	11	「小さな子どもと遊ぼう」～ 幼児の生活と家族	○TPO に応じた服装があることを知る。	2		
	12	「おしゃれをしよう」 「年末大掃除」	○季節の変化に合わせた住まい方、整理の仕方について知る。 ○学習した知識を実践しようとする、また実践することができる。	2 2		
3	1	「お正月のくらし」	○日本の文化や季節に合わせた住まい方について知る。	2	・四季折々の日本の文化についての学習。 ・生活に必要な物について考えて選ぶことや物を大切に使う工夫をする学習。 ・環境に配慮した生活に関する学習。 ・1年間を振り返り、次年度の意欲につなげる。	
	2	「上手な買い物をしよう」	○生活に必要な物の選び方、買い方、計画的な使い方などについて知ることができる。	2		
	3	「自分の将来を考えよう」 ～学習のまとめ～	○これまでの学習を振り返ることができる。	4		

中学部 年間指導計画			第1～3 年	(Ⅰ段階)グループ	教科・領域名 (国語)	年間指導時数	70
指導目標			○ 日常生活や社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しむことができるようにする。(知識及び技能) ○ 順序立てて考える力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活や社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもつことができるようにする。(思考力、判断力、表現力等) ○ 言葉がもつよさに気付くとともに、図書に親しみ、国語で考えたり伝え合ったりしようとする態度を養う。(学びに向かう力、人間性等)				
学期	月	単元(題材)	単元(題材)目標	時数	学習活動内容 指導の手立て	教材等	
Ⅰ	4	新しい学年・学級 Ⅰ学期の計画	○ 教師と一緒に、自己紹介カードを書いたり、発表したりすることができる。 ○ Ⅰ年間の目標を考え、簡単な言葉で書き示すことができる。	5	○ 自己紹介カードは実態に応じて、なぞり書き、写し書き、自分で記入するなど選択して使用する。 ○ 手本を示し、丁寧な文字で書くことができるようにする。	・自己紹介カード ・手本	
	5	運動会	○ 運動会に招待したい人を写真から選んで、相手の名前やメッセージを教師と一緒になぞることができる。 ○ 運動会を振り返り、頑張ったことや思い出に残っていることを思い出し、写真等を使って教師と一緒に発表することができる。	7	○ 模写やなぞり書きなど実態に応じたワークシートを使用する。 ○ 運動会の写真や動画を見て、思い出を振り返ることができるように準備する。	・ワークシート ・運動会の写真や動画	
	6	梅雨のくらし 前期進路体験実習	○ 梅雨の季節にちなんだ絵本を読み、季節のイメージをもつことができる。季節に関する言葉に触れる。 ○ 進路体験実習に向けて挨拶や返事の仕方を身に付けることができる。	6	○ 梅雨に関した絵本などを利用して、梅雨の様子を感じ取り、それに関したことを教師と一緒に文字に表すことができるようにする。	・絵本	
	7	夏のくらし Ⅰ学期のまとめ	○ 暑中見舞いを誰に出したいかを決める。 ○ 暑中見舞いの書き方を参考に、なぞり書きをする。 ○ Ⅰ学期を振り返り、思い出を友達や教師と一緒に考えて発表する。	8	○ お世話になった人や、身近な人、親しい人に対して、お礼の言葉を入れて書くように促す。 ○ Ⅰ学期の行事などを提示し、発表しやすい環境を作り発表する。	・はがき	

2	9	2学期の計画 清風園交流	○ 夏休みの思い出を発表する。(作文、日記、絵、写真など) ○ 交流に際して、教師と一緒に必要な物を作成し、交流先に贈ることができる。	5	○ 夏休みを振り返り、教師と一緒に整理する。 ○ 聞き手を見ながら、正しい姿勢を意識して発表する。	・夏休みの絵日記、課題、写真など
	10	都きりウィークに向けて	○ 都きりウィークについての話を、友達や教師と一緒に最後まで聞くことができる。 ○ 自分の発表場面について、表情や身振り、ICT機器等で発表することができる。	8	○ 内容が分かりやすいように、ICT 機器等などを活用する。 ○ 発表時、自分の得意な表現(言葉、ジェスチャー、文字等)でできるように工夫する。	・タブレット ・模造紙等
	11	後期進路体験実習 秋のくらし 秋の遠足	○ 教師など大人と話すときには、丁寧な言葉遣いができる。 ○ 季節の本やインターネットなどに書かれていることの大まかな内容を理解することができる。 ○ 楽しかったことや思い出に残っていることを作文に書くことができる。	7	○ 教師がモデルを示し(報告や質問等)、はじめは一緒に行い、少しずつ支援を減らすようにする。また、日常生活場面でも行うようにし、定着を図る。 ○ 秋に関すること(食べ物、動植物など)について、本やインターネット、散策などを通して調べることができるようにする。 ○ 書く順番や自分の感想が入るような手立てを行い(付箋紙の活用など)、教師と一緒に感想文を書くようにする。	・タブレット ・季節の具体物(果物、花等)、写真、本
	12	冬のくらし 2学期のまとめ	○ 年末年始の行事や風習について、教師と一緒に調べ、知ることができる。 ○ 冬の季節感について文化活動を通して、味わうことができる。	6	○ 身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を教師と一緒に選ぶ。 ○ 興味をもって友達の話の話を聞き、丁寧な話し方で、みんなに知らせることができる。	
3	1	3学期の計画 給食感謝週間	○ 冬休みの思い出について、教師と一緒に発表する。(作文、日記、絵、写真など) ○ 日頃の感謝を写真や絵などで表現することができる。	6	○ 冬休みを振り返り、楽しかったこと等を写真や絵などで表現する。 ○ 給食ができるまでの過程を見て、感謝の気持ちを写真や絵を用いて伝えるようにする。	・冬休みの絵日記、課題、写真など ・給食感謝の作品
	2	節分をしよう 卒業生を送ろう(1・2年) 進路を考えよう(3年)	○ 日本の季節の行事や風習についての簡単な説明を聞くことができる。 ○ 友達と話し合いながら、準備に協力することができる。	7	○ タブレットを使って、季節に関する行事や風習を知ることができる。 ○ タブレットを使って、教師と一緒にプログラムや招待状を作成したり、写真をまとめたりする。	・タブレット

			○ 様々な職業に関心を持ち、分かったことや感じたことを伝え合うことができる。		- ることができる。 ○ タブレットを使って様々な職業に触れることができるようにする。 ○ 分かったことを簡単にまとめることができる。	
3	卒業に向けて(3年) 1年の振り返り(1・2年)	○ 卒業や卒業式について興味・関心をもつことができる。 ○ 卒業式の内容を知り、練習に繰り返し参加することができる。 ○ 卒業の簡単な抱負を書こうとすることができる。 ○ 1年間のまとめについて興味・関心をもつことができる。 ○ 1年間を振り返り、いろいろな資料を季節ごとにまとめることができる。 ○ 1年間の簡単なまとめを書こうとすることができる。	5	○ 卒業に関する写真や映像・カードや具体物を見て、意欲を喚起することができる。 ○ 挨拶の仕方や返事等話す速度や声の大きさに気をつけて練習に取り組むことができる。 ○ 卒業の抱負を教師と一緒に考えたり、書いたり、なぞり書きをしたりすることができる。 ○ 1年間のまとめに関する写真や映像・カードや具体物を見て、意欲を喚起することができる。 ○ 1年間のまとめに関する言葉を集めたり、写真やカードとマッチングをしたりすることができる。 ○ 1年間のまとめを教師と一緒に考えたり、書いたり、なぞり書きをしたりすることができる。	・1年を振り返る写真や動画	

中学部 年間指導計画			第1～3年	(2 段階)グループ	教科・領域名 (国語)	年間指導時数	70
指導目標			○ 日常生活や社会生活、職業生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しむことができるようにする。(知識及び技能) ○ 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活や社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようにする。(思考力、判断力、表現力等) ○ 言葉がもつよさに気付くとともに、いろいろな図書に親しみ、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。(学びに向かう力、人間性等)				
学 期	月	単元(題材)	単元(題材)目標	時数	学習活動内容 指導の手立て	教材等	
Ⅰ	4	新しい学年・学級 1学期の計画	○ 自己紹介カードを記入し、それをもとに自己紹介をすることができる。 ○ 1年間の目標を考え、簡単な文章を書くことができる。	5	○ 相手に伝わりやすい声の大きさや正しい姿勢を意識して自己紹介をする。 ○ 段落を分けたり、句読点を使ったりして文章を書けるようにする。 ○ 知っている漢字を使って文章を書く。その際、漢字を確認するためにタブレットを使って検索をする。	・自己紹介カード ・1年間の目標 ・タブレット	
	5	運動会	○ 運動会の情報を整理し、招待状などに書くことができる。 ○ 運動会を振り返り、頑張ったことや思い出に残っていることを発表することができる。	7	○ ワークシートをもとに、必要な情報を整理して簡潔に招待状を書けるようにする。 ○ 原稿用紙の使い方を学び、使用する。 ○ 思い出に残ったことを、原稿用紙に書くようにする。	・ワークシート ・原稿用紙	
	6	梅雨のくらし 前期進路体験実習	○ 梅雨の季節にちなんだ物語を読み、季節のイメージをもつことができる。季節の言葉や漢字を理解する。 ○ 進路体験実習に向けて挨拶や正しい言葉遣いを身に付けることができる。	6	○ 梅雨に関する絵本などを利用して、梅雨の様子を感じ取る。 ○ 様々な場面を設定し、挨拶や言葉遣いの練習を行う。	・絵本	
	7	夏のくらし 1学期のまとめ	○ 暑中見舞いを誰に出したいかを決めて発表する。 ○ 暑中見舞いの書き方やサンプルを見て、下書きをする。	5	○ お世話になった人や、身近な人、親しい人に対して、お礼の意味を込めて書くように促す。	・はがき	

			○ 1学期を振り返り、思い出を友達や教師と話し合い発表する。		○ 1学期の行事などを提示し、発表しやすい環境を作り、考えたことを発表する。	
2	9	2学期の計画 清風園交流	○ 夏休みの思い出を発表する。(作文、日記、絵、写真など) ○ 2学期の目標を立てて発表する。 ○ 交流に際して、高齢者施設の利用者にメッセージカードやお礼状を書く。	8	○ 夏休みを振り返り、自分の言葉を簡単な文章で表現することができる。 ○ 相手に伝わりやすい声の大きさや正しい姿勢を意識して発表をする。 ○ 読み手の気持ちを考えて文章を書くことができるようにする。	・夏休みの絵日記、課題、写真など ・メッセージカード ・お礼状
	10	都きりウイークに向けて	○ 行事の目的やねらいを理解することができる。 ○ 話し合いながら、計画的に準備を進めていくことができる。	8	○ 指示や説明を最後まで静かに聞く。 ○ 発表する話題については、伝え合うために必要な事柄を整理する。 ○ 発表時、声の大きさや速さなどを工夫する。	
	11	後期進路体験実習 秋のくらし 秋の遠足	○ 季節の特徴や変化を知ることができる。 ○ 季節感のあるものを実際に体感し、日常生活に取り入れることができる。	7	○ タブレット端末や経験したことから書くことを見つけ、伝えたいことを明確に整理する。 ○ 自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞く。 ○ 相手や目的を意識して、丁寧な言葉を使って伝えたいことを進んで明確にする。	・タブレット
	12	冬のくらし 2学期のまとめ	○ 年末年始の行事や風習を知ることができる。 ○ 冬の季節感について文化活動を通して、体得することができる。	6	○ 身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶ。 ○ 興味をもって友達の話聞き、より伝わる話し方を考えながら、みんなに知らせることができる。	
3	1	3学期の計画 給食感謝週間	○ 冬休みの思い出を発表する。(作文、日記、絵、写真など) ○ 日頃の感謝を文章にし、自分の言葉を文章にすることができる。	6	○ 冬休みを振り返り、自分の言葉を簡単な文章で表現することができる。 ○ 給食ができるまでの過程を知り、作り手に感謝の気持ちを伝える。	・冬休みの絵日記、課題、写真など ・給食感謝の手紙
	2	節分をしよう 卒業生を送ろう(1・2年) 進路を考えよう(3年)	○ 日本の季節の行事や風習について知っていることを発表することができる。 ○ 計画を読んだり、思い出の作文を読んだりすることができる。	7	○ 季節に関する行事や風習についてタブレットを使って発表することができる。 ○ まとめた内容についてタブレットを使って発表したり感想を書いたりすることができる。	・タブレット

			○ 様々な職業について見聞きしたことを発表することができる。		○ タブレットを使って調べたり、調べた内容をタブレットを使って発表したりすることができる。	
	3	卒業に向けて(3年) 1年の振り返り(1・2年)	○ 卒業や卒業式について説明を聞くことができる。 ○ 卒業について自分の抱負を書くことができる。 ○ 1年間のまとめについて説明を聞くことができる。 ○ 1年間のまとめを書くことができる。	5	○ 卒業に関する言葉や文を読むことができる。 ○ 卒業の抱負を書いたりなぞり書きをしたりすることができる。 ○ 1年間のまとめについて話を聞くことができる。 ○ 1年間のまとめを書いたりなぞり書きをしたりすることができる。	・過去の問題

チャレンジ班 年間指導計画(案)

主な活動内容・・・簡単なオリジナル製品づくり、様々な体験、人と関わる活動

目標

- ・自分の得意な動きを生かして、製品作りや活動に取り組むことができる。(知識及び技能)
- ・自分なりの表現で挨拶や返事、報告を行い、教師や友達と関わるができる。(思考力・判断力・表現力等)
- ・物作りや様々な体験活動を楽しみ、達成感や連帯感を味わうことができる。(学びに向かう力・人間性等)

学期	月	活動内容	指導のねらい	備考
1	4	○ オリエンテーション	○ 仲間とあいさつをしたり、協力をして一つの物を作ったりする経験をすることができる。	・教師や生徒とコミュニケーションをとる場面を作るようにする。
	5	<活動の流れ> ・ あいさつ	○ 教師と一緒に、自分のできる動きで製作活動に取り組むことができる。	・感覚的に豊かなものを材料として選ぶようにする。
	6	・ 出欠確認 ・ 体操(ダンス、手遊び ラジオ体操など)	* 生徒の実態に合わせて、この全体の目標を基に個人の目標を考えていく。(集中する、作業体力、気持ちを重ねる、教師や友達と協力する、視線を向ける、目的毎に手を動かす、動きの工夫、達成感、材料の感触を味わう、報告、連絡、相談、活動の見通し 等)	*2学期より作業工程を分担し、仲間とのつながり(連携)を感じられるようにする。
	7	・ 紙すき製品づくり		
2	9			
	10	○ 都きり祭販売に向けて ・オリジナル製品作り (1学期に作成した和紙を使った製品の作成など) ・準備(ポスター作成・掲示、ラッピング、販売練習)	○ 都きり祭販売やその練習で、人と関わることの楽しさや表出する喜びを味わうことができる。	・販売の準備は、できる範囲で行うようにし、期待感を高められるような雰囲気作りを行う。
	11	・販売(接客、呼び込み、売り子)	* 4月～9月のねらいに同じ	*4月～9月に同じ
	12	○ 職員や保護者向けへの注文販売の製作		
3	1	○ 協同作品づくり(チャレンジ班看板など)	* 4月～9月のねらいに同じ ○ みんなで一つの大きなものを協同で作ることで仲間を意識したり、連帯感や達成感を活動の中で感じたりすることができる。 ○ 様々な材料や道具に触れ、	*4月～9月に同じ ・製品ではないので、出来栄は意識せず、生徒の動きの制限を少なくし、自由に作成できるような工夫をする。
	2	○ 家庭に持ち帰る作品作り ○ 様々な体験活動		
	3	○ 片付け ○ 1年間のまとめ		

* 作業学習3時間ではなく、自立活動1時間及び日常生活の指導1時間でカウントされている生徒もあり、生徒に合わせて自立活動6区分26項目や水分補給や排泄、体調のリズムを整える時間などを3時間の内に意識して組み込むようにする。

手工芸班 年間指導計画

目標

○仲間と一緒に、準備、作業・片付けなどの活動を行うことで、好ましい対人関係の在り方を学び、協力して活動しようとする態度を養う。(知識及び技能)

○学習したことを振り返り、課題や目標を見つけて取り組む姿勢を身に付ける。(思考力・判断力・表現力)

○基本的な作業学習の基礎となる、生活習慣の確立を図る。(学びに向かう力)

学期	月	活動内容	指導のねらい	備考
1	4	○オリエンテーション	・作業目標をたてる。	○生徒の実態等に応じて作業内容を割り振る。 ○都きり祭販売に向けて、和紙を中心としたこれまでのカレンダー(60部)とオリジナルカレンダー(60部)を作る。 目標120部 ○チャレンジ班と協力しながら、不要な和紙のシェアを行う。
	5	〔カレンダー制作〕 ○紙ちぎり○紙すき ○1月～12月カレンダー制作 ○メッセージタグなどの作成	・あいさつ、返事、報告を自分なりの方法で行う。	
	6		・作業内容を知り、持続して取り組む。	
	7		・道具の名称、使い方を覚える。 ・準備、後片付けをしっかりと行う。 ＜切り作業＞ ・型紙通りに切る。 ＜紙ちぎり＞ ・小さくちぎる。 ＜糊づけ＞ ・糊の量に気をつける。 ＜穴あけパンチ＞ ・穴の位置を揃える。	
2	9	※その年の、生徒の実態に応じて作る・作らないを検討する。		○立ち仕事が可能ない生徒については、立って作業を行い、基本的な作業態度の基礎を養う。 ※紙すき・販売等 ～小物制作(案)～ ・クルミボタン ・ときりんアイロンビーズ ・ときりんブローチ ・はがき ・ポチ袋 ・リサイクル袋 ・メッセージカード ・紙のフォトフレーム
	10	○準備(売り場設置、ポスター作成、商品陳列、販売接客練習 など) ・販売(接客、売り子) ・反省	・都きり祭販売練習において正しい言葉遣いや接し方を学ぶ。	
	11	〔カレンダー制作準備〕 ○牛乳パック切り ○ラミネートはがし ○紙ちぎり ○紙すき ○メッセージタグなどの作成	・あいさつ、返事、報告を自分なりの方法で進んで行う。	
	12		・自分の作業内容を理解し、時間いっぱい活動する。	
3	1	○小物づくり(毎年度で検討) ○1年間のまとめ	・準備、後片付けをしっかりと行う。	
	2			
	3		・1年間の活動を振り返り、次の学年で頑張ることについて考える。	

令和5年度 中学部農業班 年間指導計画

○自分の作業に責任感をもって取り組むことで、作業への集中力や持続力の向上を目指す。(知識・技能)

○挨拶、連絡、相談、報告を自分で考えて行うことができる。(思考力・判断力・表現力)

○教師や友達と協力し、意欲をもって作業に取り組むことができる。(学びに向かう力、人間性)

学期	月	活動内容			指導のねらい	備考
		播種・育苗 定植(例)	収穫・販売 (例)	整備等		
1	4	オリエンテーション・農場整備・収穫		農 場 の 整 備 ・ 土 作 り ・ 畑 畝 上 げ ・ 除 草 ・ 追 肥 等	- 指導においては、作業技能だけでなく態度面(関心・意欲、持久力等)の育成を重視する。 そのために、活動の見通しをもたせる時間、振り返りを行う時間を活動の中に位置づける。 - 活動を行う際には、事前に内容(やること、やることの意義)、方法(やり方)等を理解させ、活動のめあてを持たせる。活動後は、めあてに対して振り返りを行い、賞賛等により達成感を持たせる。また、取組に応じて次への課題を持たせる。 - 活動は、野菜栽培に伴う畑での活動、野菜の収穫、野菜の販売等、それぞれグループに分かれて行う。グループを編成する際には、どの活動を行うのか生徒に自己選択・自己決定させ、活動への主体的な取組を促す。活動内容については固定せず、多くの活動が経験できるように配慮する。ただし、重度・重複の生徒については、繰り返しの活動を入れながら活動の見通しが持てるよう活動内容に配慮する。	○ 栽培作物については生徒の意向も入れながら検討する。 ○ 可能であれば外部(大学等の専門機関、営農農家等)と連携し、助言を子どもたちの活動に還元していく。 ○ 野菜の販売については、学校職員に協力を求めるが、時期によって保護者への販売(参観日)、都きり祭での販売を行う。 ○ 地域交流も視野に入れ活動を進める。野菜販売を通しての近隣学校(幼稚園・保育園)や地域住民等、交流活動実施の可能性を模索する。
	5	スイカ・ピーマン・ナス・トマト・ミニトマト・キュウリ・カボチャ・ラッカセイ・エダマメ	ジャガイモ・ニンニク・タマネギ・ネギ			
	6	コマツナ・チンゲンサイ・サツマイモ・イチゴ	ピーマン・ナス・トマト・ミニトマト・キュウリ・カボチャ・エダマメ・スイカ			
	7					
2	9	ダイコン・ニンジン・シュンギク・ホウレンソウ・ジャガイモ・ブロッコリー・ハクサイ・キャベツ	コマツナ・チンゲンサイ	農 場 の 整 備 ・ 土 作 り ・ 畑 畝 上 げ ・ 除 草 ・ 追 肥 等	- 指導においては、作業技能だけでなく態度面(関心・意欲、持久力等)の育成を重視する。 そのために、活動の見通しをもたせる時間、振り返りを行う時間を活動の中に位置づける。 - 活動を行う際には、事前に内容(やること、やることの意義)、方法(やり方)等を理解させ、活動のめあてを持たせる。活動後は、めあてに対して振り返りを行い、賞賛等により達成感を持たせる。また、取組に応じて次への課題を持たせる。 - 活動は、野菜栽培に伴う畑での活動、野菜の収穫、野菜の販売等、それぞれグループに分かれて行う。グループを編成する際には、どの活動を行うのか生徒に自己選択・自己決定させ、活動への主体的な取組を促す。活動内容については固定せず、多くの活動が経験できるように配慮する。ただし、重度・重複の生徒については、繰り返しの活動を入れながら活動の見通しが持てるよう活動内容に配慮する。	○ 栽培作物については生徒の意向も入れながら検討する。 ○ 可能であれば外部(大学等の専門機関、営農農家等)と連携し、助言を子どもたちの活動に還元していく。 ○ 野菜の販売については、学校職員に協力を求めるが、時期によって保護者への販売(参観日)、都きり祭での販売を行う。 ○ 地域交流も視野に入れ活動を進める。野菜販売を通しての近隣学校(幼稚園・保育園)や地域住民等、交流活動実施の可能性を模索する。
	10	ハダイコン・コマツナ・タマネギ・花類(クリスマス・正月用)	サツマイモ・ナス・ダイコン・ラッカセイ			
	11	ホウレンソウ・カラシナ・マメ類	※都きり祭販売参加			
	12		シュンギク・ホウレンソウ・ジャガイモ・ブロッコリー・イチゴ・花鉢(クリスマス・正月用)			
3	1	ネギ・ニンニク・ジャガイモ	イチゴ・ニンジン・シュンギク	農 場 の 整 備 ・ 土 作 り ・ 畑 畝 上 げ ・ 除 草 ・ 追 肥 等	- 指導においては、作業技能だけでなく態度面(関心・意欲、持久力等)の育成を重視する。 そのために、活動の見通しをもたせる時間、振り返りを行う時間を活動の中に位置づける。 - 活動を行う際には、事前に内容(やること、やることの意義)、方法(やり方)等を理解させ、活動のめあてを持たせる。活動後は、めあてに対して振り返りを行い、賞賛等により達成感を持たせる。また、取組に応じて次への課題を持たせる。 - 活動は、野菜栽培に伴う畑での活動、野菜の収穫、野菜の販売等、それぞれグループに分かれて行う。グループを編成する際には、どの活動を行うのか生徒に自己選択・自己決定させ、活動への主体的な取組を促す。活動内容については固定せず、多くの活動が経験できるように配慮する。ただし、重度・重複の生徒については、繰り返しの活動を入れながら活動の見通しが持てるよう活動内容に配慮する。	○ 栽培作物については生徒の意向も入れながら検討する。 ○ 可能であれば外部(大学等の専門機関、営農農家等)と連携し、助言を子どもたちの活動に還元していく。 ○ 野菜の販売については、学校職員に協力を求めるが、時期によって保護者への販売(参観日)、都きり祭での販売を行う。 ○ 地域交流も視野に入れ活動を進める。野菜販売を通しての近隣学校(幼稚園・保育園)や地域住民等、交流活動実施の可能性を模索する。
	2		ハダイコン・コマツナ			
	3		ホウレンソウ・カラシナ・マメ類・ハクサイ・キャベツ			

木工班 年間指導計画（案）

I ねらい

- 作業内容を理解することができ、見通しをもって活動することができる。（知識・技能）
- 場に応じた正しい言葉の使い方であいさつ、報告、連絡、相談ができる。（思考力・判断力・表現力）
- 自分の役割が分かり、決められた時間まで作業活動に取り組むことができる。（主体的に学習に取り組む態度）

学期	月	活動内容	指導上の留意点	備考
1	4	○オリエンテーション	・「はじめの会」と「終わりの会」では、毎時間、流れを同じにし、準備物や材料、道具・工具の置いてある場所を知らせる。 ・作業内容や一緒に活動する友達や教師を伝える。 ・製作するものを実際に見せることで、できあがりイメージさせる。 ・作業を頑張っているときには、称賛することで成就感を味わわせる。 ・役割を決めることで責任感を持たせ、頑張ろうという気持ちを育てる。 ・教師が場面に応じて、適切な報告・連絡・相談の見本を見せ、正しい言葉の使い方を知らせることで、意識をさせる。 ・作業中に、報告や連絡をする場面を設定する。 ・「おわりの会」で、その日の感想（作業報告）を述べる時間の設定。	※作業時間の流れ 1 はじめの会 ・あいさつ ・出欠確認 ・作業内容の確認 ・身だしなみ確認 ・安全点検 ・先生の話
	5	○箱作り ・板みがき（やすりがけ） ・面取り（かんながけ） ・板の接着（ボンドづけ） ・持ち手部分穴あけ（ボール盤） ・持ち手部分みがき（スピンドルサンダー） ・組み立て（釘打ち） ・塗装		
	6			
	7			
	9			
2	10	○角材、板材の製材（自動かんな盤） ○集塵機の木くずとり	2 前半の作業	
	11	○○販売に向けて ・準備（ポスター作成・掲示、値段付け、商品陳列、販売接客練習、等） ・販売（接客、売り子）	3 休憩	
	12		4 後半の作業	
	3	1	○自分のものをつくる。 ・持ち帰れる物 ・作業学習で学んだ技術が生かせるもの	○販売に向けて ・正しい言葉使いや客への接し方を学ぶ。 ・作る、売る、買う、等の関係をわかる。
2		6 作業日誌の記入		
3		7 おわりの会 ・今日の振り返り 【生徒の感想】 ・先生の話 ・おわりのあいさつ		
		○1年間のまとめ		

窯業班 年間指導計画

主な活動内容・・・型紙や型を使って焼き物（箸置き・皿・カップ等）を作る

目標

- ・作業内容を理解することができる。（知識・理解）
- ・場面に応じた適切な挨拶や返事、報告をすることができる。（思考力・判断力・表現力）
- ・自分の役割が分かり、時間一杯活動に取り組むことができる。（学びに向かう力・人間性）

学期	月	活動内容	指導上の留意点	備考
1	4	○オリエンテーション	・作業学習の目標（挨拶、報告、丁寧）を重視する。 ・作業内容を知り、自分の割り振られた活動に取り組む。 ・準備、後片付けを協力して行う。 ・安全に作業をすることに注意させる。	○生徒の実態等に応じて作業内容を割り振り、分業でもの作りに取り組むことの理解を図る。
	5	○粘土で成形する ○乾燥した粘土にやすりがけをする		
	6	○素焼きした物に撥水剤を塗る		
	7	○釉薬をかける ○本焼きした物の底をやすりがけする これらの作業を分業し、箸置き・皿・カップ等を量産する。		
2	9			
	10	○都きり祭 バザーに向けて ・準備（売り場設置、ポスター作成・掲示、ラッピング、値段付け、商品陳列、販売接客練習、等） ・販売（接客、売り子）	・都きり祭販売練習において正しい言葉遣いや客への接し方を学ぶ。 ・作る、売る、買う、等の関係を理解する。	○作業内容に合わせたグループ編成をし連携して活動に取り組ませる。
	11	○干支にちなんだ焼き物作り・販売	・デザインを考える ・分業による製作 ・校内での販売体験	○デザインの参考に今までの作品等を掲示する。
	12			
3	1	○もの作りに関心を持ってもらうために ・自分のものをつくる	・1、2学期を振り返り、自分で作ってみたいものを決める。 ・分業ではなく、自分で取り組む。	○皿、カップ、箸置き、鉢、小物等
	2	○窯業室大清掃		
	3	○1年間のまとめ		

	11	進路体験実習（参加・事後学習） 秋の遠足	○ 計算機等を使用し、お金に興味をもつことができる。	12	○ 進路体験実習の成果等から、計算機を使ってお金（計算）に興味をもたせながら行う。	計算機 おもちゃのお金
	12	冬のくらし 2学期のまとめ				
3	1	3学期の計画 生徒会役員選挙 給食感謝週間	○ 日付や学校行事を確認し、カレンダーに興味・関心をもつことができる。時刻や時間に関する感覚を豊かにし、何分前（後）、何時間前（後）などが分かる。 ○ 天気予報などの気象データを整理することができる。 ○ かさや重さの単位や読み方を理解することができる。調理の計画を立て、かさや重さに興味をもつことができる。	6	○ 手作りカレンダーを作成し、日付や行事に興味をもたせながら活動する。時刻の読み方を知り、正しく読み取る。時間の単位を知り、正しく読み取る。 ○ 気象データをまとめたグラフを見て、特徴や変化に気づくよう言語活動を取り入れる。 ○ 材料に書かれている量を見て、かさや重さの違いを比べたり、単位について知ったり、測ったりする。	カレンダー 計量カップ 計量スプーン ペットボトル はかり
	2	入学者選考に向けて 1年間のまとめ	○ 重さ、長さの単位や読み方を理解することができる。 ○ 自分の身長、体重など長さや重さに興味をもつことができる。	8	○ 自分の身長、長さの紙テープや体重の重さのおもりなどを実際に作成したり、持ったりしながら学習を行う。長さや重さの単位を知り、測ったりする。	紙テープ メジャー 定規
	3	卒業生を送る会（参加） 卒業に向けて	○ 行事や活動に必要な時間の計画を立てることができる。 ○ 1年間の学習の振り返りをすることができる。	4	○ 生活の中で時刻の読み方を知り、時間の単位を知る。行事や活動に必要な時間（タイムスケジュール）を計画することができる。 ○ 1年間の振り返りを写真やイラスト等で振り返り、どんな学習をしたのかを考えさせながら行う。	学習プリント イラスト・写真

中学部 年間指導計画			第1～3 年	(数学)Bグループ	教科・領域名 ()	年間指導時数	
指導目標							
学 期	月	単元(題材)	単元(題材)目標	時数	学習活動内容 指導の手立て	教材等	
1	4	新しい学年・学級 1学期の計画	○ ○		○		
	5	運動会	○		○		
	6	梅雨のくらし 前期進路体験実習	○ ○		○		
	7	夏のくらし 1学期のまとめ	○ ○		○		
2	9	2学期の計画 清風園交流	○ ○		○ ○		
	10	都きりウイークに向けて 後期進路体験実習	○ ○		○		
	11	秋のくらし 秋の遠足	○ ○		○		
	12	冬のくらし 2学期のまとめ	○ ○		○		
3	1	3学期の計画 給食感謝週間	○ ○		○		
	2	節分をしよう 卒業生を送ろう(1・2年) 進路を考えよう(3年)	○ ○ ○		○		
	3	卒業に向けて(3年) 1年の振り返り(1・2年)	○ ○		○		

中学部 年間指導計画			全学年	(2段階)	教科・領域名 (数学)	年間指導時数	70
指導目標			数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解し、事象を数理的に処理する技能を身に付けるようにする。(知識及び技能) (2) 日常の事象を数理的に捉え見通しをもち筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見いだし総合的・発展的に考察する力、数理的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。(思考力、判断力、表現力等) (3) 数学的活動の楽しさや数学のよさに気付き、学習を振り返ってよりよく問題を解決しようとする態度、数学で学んだことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。(学びに向かう力、人間性等)				
学期	月	単元(題材)	単元(題材)目標	時数	学習活動内容 指導の手立て	教材等	
1	4	進級、学級づくり 学年菜園	○ カレンダーを正確に読み取ることができ、1学期の見通しをもつことができる。	10	○ カレンダーに行事を書き込む活動や、手作りカレンダーの制作を行う。 ○ 運動会の予定表をもとに、競技の時刻や休憩時間を計算する。	カレンダー 時計	
	5	運動会	○ 運動会の競技日程を見て、時刻の計算をすることができる。時刻や時間に関する感覚を豊かにし、何分前(後)、何時間前(後)などが分かる。 ○ 三角形や四角形を作図し、その面積について理解することができる。		○ 作図するための支援をしながら、その図形の特徴を理解させる。面積を求めるための公式について説明する。	三角定規 分度器	
	6	夏の暮らし 進路体験実習	○ 紙幣や硬貨の種類を理解することができ、分類することができる。	14	○ 買い物の模擬学習を行う。	おもちゃのお金	
	7	修学旅行に向けて 1学期のまとめ	○ 買い物の見通しをもち、計画性のある買い物をすることができる。		○ 買い物計画シートの作成を行う。		
2	9	2学期の計画 修学旅行	○ カレンダーを正確に読み取ることができ、2学期の見通しをもつことができる。 ○ 時刻や時間に関する感覚を豊かにし、何分前(後)、何時間前(後)などが分かる。 ○ 気象データをグラフで表したり、読み取ったりすることができる。	8	○ カレンダーに行事を書き込む活動や、手作りカレンダーの制作を行う。 ○ 旅行などの日程表を見て、見学時間などを読み取ったり、移動時間を計算したりする。 ○ 気象データを棒グラフや折れ線グラフの作成を行う。	カレンダー	
	10	都きりWeek 進路体験実習(事前学	○ レシートの情報を正確に読み取ることができる。	8	○ レシートの読み方を学習し、レシートを参考に小遣い帳を記入する。	レシート 計算機	

		習)				小遣い帳
	11	進路体験実習(参加・事後学習) 秋の遠足	○ 表やグラフから必要な情報を正確に読み取ることができる。	12	○ 進路学習実習での成果等を表やグラフにまとめたり、読みといたりする。 ○ 進路体験実習の成果等から、数と計算を活用することができる	進路体験実習の教材
	12	冬の暮らし 2学期のまとめ				
3	1	3学期の計画 生徒会役員選挙 給食感謝週間	○ カレンダーを正確に読み取ることができ、3学期の見通しをもつことができる。時刻や時間に関する感覚を豊かにし、何分前(後)、何時間前(後)などが分かる。 ○ 気象データをグラフで表したり、読み取ったりすることができる。	6	○ カレンダーに行事を書き込む活動や、手作りカレンダーの制作を行う。学校の一日の流れを知り、1年間の学校生活の流れを振り返る。 ○ 気象データを棒グラフや折れ線グラフの作成を行う。	カレンダー
	2	入学者選考に向けて 1年間のまとめ	○ 2つの数量の関係に着目して図や表、式を考えたり書いたりすることができる。	8	○ 変化の様子を表に表し、変化の様子を読み取る。表や式を使って、変化の様子を読み取る。	量り、メジャー 定規
	3	卒業生を送る会(参加) 卒業に向けて	○ 1年間の学習の振り返りをすることができる。	4	○ 1年間の学習の振り返りをした上で、それぞれが苦手な内容を確認する。	学習プリント

R4 都城きりしま支援学校 中学部 生活単元学習年間指導計画（１年）

月	行事	月・週	単元	主な内容
4	始業式 入学式 参観日・PTA総会	4月2～3週	進級・入学、学級づくり	新しい学級を知る。学校や学級での過ごし方を知る。学級目標・係を決める。
		4月4週	学年菜園	季節の野菜を植える。除草作業をする。観察をする。
5	運動会	5月1～4週	運動会	期日や日程を知る。ポスターや案内状を作る。運動会の準備をする・振り返りをする。
6	進路体験実習 進路体験事後報告会	6月1週	梅雨の暮らし	梅雨の過ごし方を知る。汗の処理の仕方を知る。
		6月2・3週	進路体験実習（事前学習・参加）	進路体験実習について知る。実習の目標を立てる。進路体験実習に参加する。
		6月4週	進路体験実習（事後学習）	動画や写真を見て、進路体験実習を振り返る。
7	1学期終業式	7月1・2週	夏の暮らし	夏の過ごし方や汗の処理の仕方 夏祭り、七夕
		7月3週	1学期のまとめ	1学期の振り返りをする。教室等の掃除をする。夏休みの計画を立てる。
9	2学期始業式 修学旅行（3年）	9月1週	2学期の計画	2学期の行事を確認する。2学期の目標を考える。2学期の係を決める。
		9月2～4週	清風園交流	交流への興味関心を高める。お年寄りに優しくする。
10	都きりWeek 進路体験実習事前学習	10月1～3週	都きりWeek	都きり祭に参加する。都きり祭の振り返りをする。
		10月4週	進路体験実習（事前学習）	前期の実習を振り返る。実習の目標を立てる。
11	進路体験実習、事後報告会 参観日 秋の遠足	11月1・2週	進路体験実習（参加・事後学習）	進路体験実習に参加する。進路体験実習を振り返る。
		11月3・4週	秋の遠足	秋の遠足について知る。友達と仲よくする方法を学ぶ。遠足を振り返る。
12	2学期終業式	12月1・2週	冬の暮らし	年末年始の行事や風習を知る。
		12月3週	2学期のまとめ	2学期の振り返りをする。教室等の掃除をする。冬休みの計画を立てる。
1	3学期始業式 参観日 給食感謝週間	1月2週	3学期の計画	3学期の行事を確認する。3学期の目標を考える。3学期の係を決める。
		1月3週	冬の遊び	伝統的な遊び、情報機器を使った遊びを知る。節分に向けて。
		1月4週	給食感謝週間	給食ができるまでの話を聞く。給食に関わる人たちへ感謝の気持ちをもつ。
2	入学者選考（3年） 学年末清掃週間	2月1・2週	生徒会役員選挙	生徒会役員について知る。投票の仕方を学び、投票する人を考え投票する。
		2月3・4週	卒業生を送る会に向けて（1・2年）	卒業生を送る会の計画を立てる。準備をする。
3	卒業式 修了式	3月1週	卒業生を送る会実施	お別れ会の準備をする。お別れ会に参加する。
		3月2・3週	1年間のまとめ（1・2年）	アルバムの整理をする。1年間の振り返りをする。

4月2・3週	単元名	入学(1年)進級(2・3年)・学級作り	
1学年 2学年 3学年	単元の目標	○ 入学や進級の意味を理解し、所属学年としての自覚をもつことができる。「学びに向かう力、人間性」 ○ 新しい学級や校内の施設に興味・関心をもち、施設の利用の仕方或使用目的を知る。「知識及び技能」 ○ 新しい学級に慣れ、自分の意思や考えを主張することができる。「思考力・表現力・判断力」	
学習内容		教材・教具	学習活動内容 指導の手立て(主体的・対話的・深める)
○ 新しい学級を知ろう - 自己紹介をしよう - 先生や友達の名前を覚えよう - 自分の机、靴箱、ロッカー、給食の場所を覚えよう - 教科書等に記名しよう		自己紹介に必要なもの ネームペン 顔写真 名前シール	・教師と一緒に、一人でなど、自分の得意な方法を選んで自己紹介をする。 主 ・①友達や教師の顔を覚える、②友達や教師の名前を言える、③友達や教師の名前を書ける 実態に合わせて学習を深める。 深 ・教師と一緒に自分の使う靴箱やロッカー、給食の席などを確認し、自分で行くことができるように練習をする。 主 ・①名前シールを貼る、②名前ラベルに記名して貼る、③直接記名する 実態に合わせて準備する。 ・学校探検では、生徒同士で話し合いながら道筋を考えたり、使用する教室について教え合ったりすることで校内の理解を深める。 対・深 ・学級や学年で「みんなで仲良くなるためのゲーム」について話し合いをする。 対 ・ゲームのルールを考え、楽しくゲームをすることができるようにする。 深
○ 友達や先生と仲良くなろう - 学校探検をしよう - ゲームをしよう		校内の地図、写真 シール	
○ 学校や学級での過ごし方を知ろう - 一日の過ごし方を知ろう 1年間の行事を確認しよう		時間割の台紙 年間予定表	・一日の生活の流れを文字カードや写真カード、スライドを見て確認する。 ・一年間の行事を文字カードや写真カード、スライドを見て確認する。

4月・4週	単元名	学年菜園	
1 学年 2 学年 3 学年	単元の目標	○ 季節に適した野菜を調べ、自分たちで植えることができる。 「学びに向かう力、人間性」 ○ 発芽、開花、結実といった一連の成長の様子を言葉や絵で表現し、伝えることができる。「知識及び技能」 ○ 菜園の整地・苗植え・成長の見守り・除草・追肥・収穫など、今後の見通しを考え、積極的に行動する。 「思考力・表現力・判断力」	
学習内容		教材・教具	学習活動内容 指導の手立て(主体的・対話的・学びを深める)
各学年での学習 ○1年間の活動内容を知ろう。		写真 プレゼン TVモニター パソコン HDMI ipad	- 写真やプレゼンの映像で、一年間の活動の話を聞く。 - 菜園づくりに必要な道具を考える。 主 - 道具を写真や映像で見て、名称を読んだり答えたりする。 - 自分が経験したことや見聞きしたことを 簡単な言葉で話したり書いたりする。 対 深 - 植えたい野菜をipadでインターネット検索し、季節に適した野菜を調べ発表する。 主 対
○サツマイモの育て方を知ろう。		育て方の資料プリント	『サツマイモ』について知っていることを発表する。 主 対 - どんなふうに料理した物を食べたことがあるか思い出してみる。 主 深 - サツマイモの育て方について経験したことや見聞きしたことを 簡単な言葉で話したり書いたりする。 対 深 - サツマイモを育てる計画を立てる。 主 対 深

5月1週	単元名	運動会 ①「運動会を成功させよう」	
1学年 2学年 3学年	単元の目標	○ 昨年の運動会を振り返り、今年の運動会に向けて意欲的に取り組むことができる。「学びに向かう力、人間性」 ○ 運動会について知り、期日、自分や友達の団の色がわかる。「知識及び技能」 ○ 運動会で自分が出場する種目や、希望する係を発表する。「思考力・表現力・判断力」	
学習内容		教材・教具	学習活動内容 指導の手立て(主体的・対話的・学びを深める)
○運動会を振り返ろう		写真やビデオ パソコンやモニター	・昨年の運動会の写真や動画を見る。 主 ・昨年の運動会の参加種目や係等覚えていることを発表する。 主
○運動会について知ろう ・期日や日程を知ろう ・自分や友達の団の色を知ろう ・自分の出場種目を知ろう		カレンダー、絵カードや写真 ○シール	・運動会の期日や曜日が言える。または、教師と一緒に運動会の写真やマークをカレンダーに貼り、期日を知る。 深 ・教師と一緒に自分や友達の写真に赤や白のシールを貼り、団の色を知る。 ・おおまかな練習日程を知る。
○運動会の係を決めよう		写真、具体物(例:お手玉等)	・写真や具体物、絵を見て自分の出場種目を知る。 主 ・自分のしたい係を考え、みんなで係を決める。 主・対 ・みんなの前で自分の出場種目や係などについて頑張りたいことを発表する。 主・深

5月2週	単元名	運動会②「運動会を成功させよう」	
全学年	単元の目標	○運動会の練習を通して集団の決まりや、協力し合うことの大切さに関心を持つ。「学びに向かう力、人間性」 ○運動会に必要な道具を考え、準備することができる。「知識及び技能」 ○校内掲示用のポスターや、保護者への招待状を作成する。「思考力・表現力・判断力」	
学習内容		教材・教具	学習活動内容 指導の手立て(主体的・対話的・学びを深める)
○運動会の練習での行動の決まりや、安全面の注意を知ろう。		寸劇または紙芝居	・運動会での良い行動・悪い行動の例を見て、○か×かを話し合う。 対 ・集団で行動する際の決まりや安全について気を付けることを知る。 深
○運動会の練習をしよう ・団技や徒走の内容を知ろう ・団技や徒走のルールやきまりを知ろう ・練習しよう		ビデオや写真	・模範演技を見て団技の内容や徒走の要領を知る。 ・教師の説明を聞き、集団でのルールや決まりを考え、していいこと・いけないことを発表する。 主・深 ・集団でのルールや決まりを守り練習に取り組む。 主・深
○運動会の準備をしよう		写真、絵カード 製作材料	・写真や絵などを見て、教師と一緒に運動会に必要な道具を考える。 主 ・教師や友達と協力して、団の装飾や応援グッズ、団技で使う道具を作り、運動会への気持ちを高める。 対・深
○ポスターや招待状を作ろう		色画用紙、絵の具等の画材 ぬりえ、のり、はさみ	・期日、場所、出場種目や出番を正しく覚えることができる 主 ・自分なりのイメージや表現でポスターを作る。 ・応援に来てくれる家族のことを思いながら、わかりやすく書くことができる。 対・深

5月・3週	単元名	運動会③「運動会を成功させよう」	
1 学年 2 学年 3 学年	単元の目標	○ 運動会本番に向けて、1 つの行事を成功させようと一生懸命取り組もうとする。「学びに向かう力、人間性」 ○ 運動会を成功させるためにはどんなことが必要かを考え、友達と協力することができる。「知識及び技能」 ○ 競技や応援、係など自分の役割を理解し、これまでの練習の成果を発揮する場として気持ちを高めることができる。 「思考力・表現力・判断力」	
学習内容		教材・教具	学習活動内容 指導の手立て(主体的・対話的・学びを深める)
○ 本番で頑張りたいこと(目標)を決めよう ・ 運動会当日について確認しよう ・ 自分の役割を確認しよう ・ 目標を決めよう ・ 自分の目標を発表したり、友達の目標を聞いたりしよう		目標を書く紙 ペン	・運動会はいつか、当日に必要なものは何かを確認する。 ・自分はどんな競技に出るのか、何団に属しているか、係は何かを確認する。 深 ・一番頑張りたいことを決めて書く。 主 ・友達の目標を聞いて、お互いに運動会を成功させようとする気持ちを高める。 対・深
○ 応援の練習をしよう ・ どんな応援の仕方があるか確認しよう ・ 応援練習をしよう		応援グッズ	・運動会が盛り上がるための応援をするためには、どうしたらよいか、どんなことを頑張ったらよいかを話し合う。 対 ・団長やリーダーに従って、しっかり応援の種類やリズムなどを覚える。 ・しっかり声を出して応援練習をして、当日に向けて雰囲気を盛り上げる。

5月・4週	単元名	運動会④「運動会の振り返りをしよう」	
1 学年 2 学年 3 学年	単元の目標	○ 運動会を振り返り、来年の運動会に向けて新たな目標を持つことができる。「学びに向かう力、人間性」 ○ ビデオや写真で自分の行動を振り返ることによって、自分の姿を客観的に見る力を身に付ける。「知識及び技能」 ○ 運動会を振り返り、感想や反省を発表する。「思考力・表現力・判断力」	
学習内容		教材・教具	学習活動内容 指導の手立て(主体的・対話的・学びを深める)
○ 運動会を思い出そう - 運動会のビデオや写真を見て思い出そう。 - 運動会で楽しかったことや頑張ったことを発表しよう。 - 友達の発表を聞いて、よかったところをたたえよう。 - 来年の運動会はどうなことを頑張りたいか考えよう。		ビデオや写真 パソコンやモニター	- 運動会を映像や写真で振り返る。 - 自分が一番楽しかったこと、頑張ったことを発表する。主・深 - 友達の発表を聞いて、友達の頑張りを認め合い、自信を持てるようにする。対 - 来年の目標を考えさせ、今年よりもステップアップできるようにする。深
○ 運動会の思い出をまとめよう - 自分の思い出に残った写真を選んで、そのことについて感想を書こう。 - 運動会での反省点を話し合う。 - 競技の結果や優勝した団を表などにまとめる。 - 思い出を作文にしたり、絵に描いたりして発表する。 - まとめたものを掲示する。		作文用紙 まとめる紙 画用紙 絵の具やクレパスなど	- 自分で書くことが難しい生徒には文章表現の仕方をいくつか示し、そこから選んで自分の気持ちに合う表現を選ばせ、文章化していく。主・深 - 反省点を出し合い、それに対する解決策も考えさせ、次につながるようにする。対・深 - まとめる際には、写真を貼ったり絵を描いたりして分かりやすくなるように工夫する。

6月・1週	単元名	梅雨の暮らし	
1 学年 2 学年 3 学年	単元の目標	○ 梅雨の季節の特徴に気づき、天気や気候の変化に関心をもつことができる。 「学びに向かう力、人間性」 ○ 梅雨の時期に必要な道具や適切な過ごし方への知識を深める。 「知識及び技能」 ○ 梅雨の時期に関することについて知っていることや話し合ったことなどを発表することができる。 「思考力・表現力・判断力」	
学習内容		教材・教具	学習活動内容 指導の手立て(主体的・対話的・学びを深める)
○ 梅雨について知ろう。 ・梅雨の時期は雨の日が多いことを知ろう。 ○ 梅雨の時期の過ごし方を知ろう。 ・雨の日の特徴を考え、発表しよう。 ・雨の日の過ごし方について知ろう。 ・快適な過ごし方について知ろう。 ○ 雨具の適切な扱い方を知ろう。 ・どのような雨具があるかを知ろう。 ・雨具を使用する際に、気を付けなければならないことを知ろう。		・降水量の表 ・タブレット端末 ・カッパ ・雨靴 ・傘(折り畳み傘)	・1 年間の降水量を教師が示し、どの部分が梅雨にあたるのか生徒同士で話し合いながら考え発表する。主・対 ・雨の日を思い出しながら、雨の日の教室の床や廊下の状態を考える。主 ・分かったことから、雨の日の過ごし方(室内での遊びとルール、廊下の歩き方)について話し合う。主・対 ・雨の日の気温や湿度についてタブレット端末を活用し、教師や友達と協力して調べる ・快適に過ごすための道具や器具を考え発表する。主・対 ・どのような雨具があるか考え発表する。主・対 ・雨具を使う際に気を付けることを生徒同士で話し合い、実際に使用して確認する。 主・対・深

[illegible]

6月4週	単元名	前期進路体験実習事後学習(報告会)	
第1、2、3学年	単元の目標	○ お互いの頑張りを認め合い、進路や働くことへの関心をもち、今後の作業学習への意欲を高めることができる。 「学びに向かう力、人間性」 ○ 他班の活動の様子を知ったり、自分の実習への取り組みを振り返ったりすることができる。「知識及び技能」 ○ 今後の進路や就労に向けた課題について考えることができる。「思考力・表現力・判断力」	
学習内容		教材・教具	学習活動内容 指導の手立て(主体的・対話的・学びを深める)
○ 実習報告をしよう ・自分の班の取り組みを発表しよう ・他班の発表を聞こう ○ 修了証書を受け取ろう ○ 学校長の話を聞こう ○ 解散式をしよう ・修了証書を受け取ろう (代表で修了証書を受け取った生徒以外) ・今後の作業学習や学校生活に向けて、チーフの先生からコメントをもらおう		動画上映のためのパソコンまたはiPad 修了証書	・それぞれの班の報告会用動画を見て、他班の活動の様子を知ることができるようにする。 深 ・代表で発表する生徒については、一週間、頑張ったことやできるようになったこと、今後の課題などを大きな声で分かりやすく報告をする。 主・対 ・代表で修了証書を受け取る生徒は、前方に一例に並び、堂々とした態度で修了証書を受け取る。 主 ・代表で修了証書を受け取る生徒以外の生徒については、大きな拍手をしてねぎらう。 主・対 ・校長先生の話聞いて自分の実習への取り組みを振り返り、今後の進路や就労に向けた課題に対する意識を深める。 深 ・各班に分かれて修了証書を受け取り、お互いの頑張りを認め合う。 対 ・チーフの先生の話聞き、今後の作業学習や学校生活への意欲を高める。 主

[illegible]

11月1・2週	単元名	後期進路体験実習事後学習（報告会）
第1、2、3学年	単元の目標	○ お互いの頑張りを認め合い、進路や働くことへの関心をもち、今後の作業学習への意欲を高めることができる。 「学びに向かう力、人間性」 ○ 他班の活動の様子を知ったり、自分の実習への取り組みを振り返ったりすることができる。「知識及び技能」 ○ 今後の進路や就労に向けた課題について考えることができる。「思考力・表現力・判断力」
学習内容		教材・教具
		学習活動内容
		指導の手立て(主体的・対話的・学びを深める)
○ 実習報告をしよう ・自分の班の取り組みを発表しよう ・他班の発表を聞こう	動画上映のためのパソコンまたはiPad	・それぞれの班の報告会用動画を見て、他班の活動の様子を知ることができるようにする。深 ・代表で発表する生徒については、一週間、頑張ったことやできるようになったこと、今後の課題などを大きな声で分かりやすく報告をする。主・対
○ 修了証書を受け取ろう	修了証書	・代表で修了証書を受け取る生徒は、前方に一直列に並び、堂々とした態度で修了証書を受け取る。主 ・代表で修了証書を受け取る生徒以外の生徒については、大きな拍手をしてねぎらう。主・対
○ 学校長の話进行聞こう		・校長先生の話进行聞いて自分の実習への取り組みを振り返り、今後の進路や就労に向けた課題に対する意識を深める。深
○ 解散式をしよう ・修了証書を受け取ろう (代表で修了証書を受け取った生徒以外) ・今後の作業学習や学校生活に向けて、チーフの先生からコメントをもらおう		・各班に分かれて修了証書を受け取り、お互いの頑張りを認め合う。対 ・チーフの先生の話进行聞き、今後の作業学習や学校生活への意欲を高める。主

7月1・2週	単元名	夏の暮らし	
1 年	単元の目標	○ 夏の季節の特徴が分かり、夏の遊び等に意欲的に取り組むことができる 「学びに向かう力、人間性」 ○ 日本の文化について知り、夏の行事への知識を深める。 「知識及び技能」 ○ 行事を通して自分の意思や希望を表現することができる。 「思考力・表現力・判断力」	
学習内容		教材・教具	学習活動内容 指導の手立て(主体的・対話的・学びを深める)
○ セタについて知ろう。 ・セタの期日や内容を知る。 ・セタの願い事を書いて発表する。 ・セタ飾りを制作する。 ・セタ飾りを楽しむ。		・短冊 ・笹 ・ペン ・飾り制作に必要な材料	・絵本や動画等を視聴しセタの行事について説明する。 ・1人または教師と一緒に、短冊に書く願い事を考える。主 ・生徒の実態に応じた方法で発表する。対 ・友達と協力したり、見せ合ったりしながらセタ飾りの制作をする。対
○ 夏の遊び・活動・植物や生き物について知ろう。 ・夏の遊びを考え、友達と一緒に楽しむ。 ・夏の時期の食べ物に触れる。 ・夏の植物や虫について知る。 ・水遊び ・涼を感じる遊び		・活動内容に必要な物を準備する	・夏の遊びの例を教師が示し、どんな夏の遊びをしたいか生徒同士で話し合いながら選ぶ。主・対 ・選んだ活動のルールや気をつけることを生徒同士で話し合う。対 ・活動のルールを意識しながら夏の遊びに取り組む。主・深
○ 夏祭りを楽しむもう。 ・夏祭りの話を聞き、ゲームの内容を話し会って役割を決める。 ・夏祭りの準備をする。 ・夏祭りに参加する。 ・夏祭りの片付けをする。 ・写真や動画を見て、夏祭りの振り返りをする。		・活動内容に必要な物を準備する	・選んだ活動のルールや気をつけることを生徒同士で話し合う。対 ・夏祭り当日までの流れを確認する。 ・活動に必要な物を自分たちで準備する。主 ・活動の様子を動画や写真で確認し、振り返り、自分の感想や友達の頑張りを発表する。主・深

7月・3週	単元名	1学期のまとめをしよう	
1 学年 2 学年 3 学年	単元の目標	○ 1学期の思い出や目標を振り返り、自分自身の成長を知る。 「学びに向かう力、人間性」 ○ 夏休み中の生活について話し合い、見通しをもって生活できるように夏休みの計画を立てる。 「知識及び技能」 ○ 1学期の反省や夏休みの計画について考えたことを発表する。 「思考力・表現力・判断力」	
学習内容	教材・教具	学習活動内容 指導の手立て(主体的・対話的・学びを深める)	
1学期のまとめ	パソコン、タブレット等 パワーポイントによる資料 清掃用具	(1) 1学期の思い出を振り返ろう ① 思い出のビデオやアルバムを見て1学期の活動を振り返る。主 ② 写真や作品を整理し、1学期の行事や学習を振り返る。主・深 (2) 身の回りの整理をしよう ① 学期の終わりに片付けや整理することを知る。深 ② 身の回りのものの片付けや整理をする。主 ③ 夏休みに持って帰る作品や学習帳の整理をする。主・深 (3) 教室や特別教室の掃除をしよう ① 学期の終わりに自分たちで使った教室や特別教室などを掃除することを知る。主 ② 教室や特別教室などを教師と一緒に掃除する。主・対 ③ 教室や特別教室などを自分たちで掃除する。主・対	
夏休みの計画	カレンダー 夏休みのしおり	(1) 夏休みの過ごし方 ① 1学期の目標について教師と共に振り返る。主・深 ② 夏休み中の過ごし方のよい例・悪い例を見てどうすれば良いか考える。主・深 ③ 家庭での過ごし方や家庭での自分の役割、どんな手伝いができるか考え発表する。主・対 (2) 夏休みの計画を立てよう ① カレンダーなどで夏休みの行事を確認する。主 ② カレンダーなどに夏休みの行事を書き込む。主・深 ③ 夏休みにしたいこと・行きたいところを考え、発表する。主・対 ④ 夏休み期間のスケジュールを作る。主	

9月1週	単元名	2学期の計画
1学年 2学年 3学年	単元の目標 2学期の計画	○ 夏休みの終わりを確認し、2学期の始まりを意識することができる。「学びに向かう力、人間性」 ○ 夏休みに体験したことを学校生活の中で生かすことができる。「知識及び技能」 ○ 夏休みの思い出を発表することができる。 ○ 2学期の行事について理解することで、2学期の学校生活に見通しをもつ。「思考力・表現力・判断力」
学習内容		教材・教具
		学習活動内容 指導の手立て(主体的・対話的・学びを深める)
夏休みを振り返ろう 夏休みの思い出を発表しよう 2学期の行事を確認しよう 2学期の目標を立てよう		夏休みの課題 (歯磨きカード等) 絵日記等 カレンダー 作品、写真 夏休みの課題、写真、絵日記 カレンダー 行事表 夏休みの課題等で教師と一緒に夏休みを振り返る。 主 対 深 夏休みはいつから始まり、いつ終わったのかをカレンダーなどで確認する。 主 楽しかったことを課題や作品、写真で思い出す。 主 夏休みの課題や絵日記、写真などを使い教師と一緒に発表する。 主 対 夏休みの課題や絵日記、写真等を使い自分で発表する。 主 深 行事がいつ頃あるのか、どんな順番で行われるのかカレンダーに印を付けるなどしながら確認し、2学期の大まかな流れを理解する。 主 (1)1学期の反省を確認しよう ○1学期の目標や学校生活を振り返りながら、教師と一緒に反省を確認する。 主 対 ○1学期の反省を参考にしながら2学期に頑張りたいことなどを考える。 主 (2)2学期の目標を考えよう ○2学期にがんばりたいことを教師と一緒に考える。 主 対 ○2学期にがんばりたいことを自分で考える。 主 ○目標を教師と一緒に、または自分で発表する。 主 (3)2学期の係を決めよう ○1学期にしていた係を思い出す。 主 ○1学期にしていた係活動を反省し、2学期の係を決める。 主 対

9月2～4週	単元名	清風園交流	
1学年	単元の目標	○高齢者との交流の意味を理解し、地域への関心を深めることができる。「学びに向かう力、人間性」 ○高齢者に対して思いやりをもち、制作活動に取り組むことができる。「知識及び技能」 ○高齢者とのやりとりの仕方を考え、喜ばれる内容について自分の意思や考えを伝えることができる。 「思考力・表現力・判断力」	
学習内容		教材・教具	学習活動内容 指導の手立て(主体的・対話的・学びを深める)
○高齢者との交流について学習しよう。		パワーポイント・Ipad	・これまでの高齢者との活動の様子を写真や動画で確認する。 ・どんな内容で交流するのかを知る。主 ・どのような準備があるのかを把握する。主
○地域の高齢者施設について知ろう。		パワーポイント・Ipad	・自分たち的高齢者に対するイメージを伝え合う。対 ・交流先の施設や場所、その施設で過ごす人達について知る。深
○自分たちの学校について紹介しよう。		模造紙・マジック・ペン 写真・Ipad 等	・模造紙にまとめる。動画に撮影する。主 ・聞き取りやすい声の大きさや話すスピードについて考え、紹介の時に意識できるようにする。主・深
○交流むけて制作活動に取り組もう。		パワーポイント・Ipad	・グループに分かれて、制作する。主 ・どのようなことをするのかアイデアを出し合い、実態に応じて練習する。主・対
○高齢者との接し方について学習しよう。			・高齢者とどのような態度で接すれば良いかを学習する。主 ・どのような態度が望ましいか。自分たちの考えをまとめる。主・対

10月・1～3週	単元名	都きり祭 WEEK	
1 学年 2 学年 3 学年	単元の目標	○ 都きり祭 WEEK の準備や参加を通して、自分のこれまでの学習を振り返ったり友達を認めたりする。「学びに向かう力、人間性」 ○ カレンダーで予定を管理したり、招待状やポスターで集客をしたりすることができる。「知識及び技能」 ○ 家族や地域に都きり祭 WEEK について発信するためにどうしたらよいか考え、発信することができる。(Ⅰ 課程)「思考力・表現力・判断力」 ○ 作品作りの中で季節や自分の好きな物を表現し、楽しんで作品を作ることができる。(Ⅱ・Ⅲ課程)「思考力・表現力・判断力」	
学習内容		教材・教具	学習活動内容 指導の手立て(主体的・対話的・学びを深める)
○ 都きり祭 WEEK について知ろう。		カレンダー 過去の動画や写真	・都きり祭 WEEK の日時や内容を知る。 主 ・過去の内容を写真や動画で振り返る。 主 ・実施の日までの予定を立て、見通しをもつ。 主
○ ポスターや招待状を作ろう。		画用紙やタブレット等、ポスターや招待状作成に必要な物	・自分達の作品や販売などの予定を確認する。 主 ・ポスターや招待状の意味や役割を知る。 主 ・PR したい内容や相手を話し合い、ポスターや招待状を作る。 主 ・都きり祭 WEEK や学校についてより地域の人に知ってもらうには、どうしたらよいか考える。(Ⅰ 課程) 主・対
○ ポスターや招待状を配ったり送ったりして、都きり祭 WEEK について発信しよう。		iPad や必要に応じて学校 HP など	・関係機関や地域にポスターを配布し、掲示してもらう。 対 ・家庭や関係機関に招待状を配布したり持参したりする。 対
○ 作品作り(Ⅱ・Ⅲ課程)		画用紙等、作品に必要な物	・季節や自分の好きな物などを作品にして表現する。 主
○ 都きり祭 WEEK に参加する。		販売に必要な物	・販売や作品展示の準備に取り組む。 主 ・自分の役割がわかり、リハーサルをするなどして役割を果たす準備をする。 主・深 ・呼び込みや会計など自分の役割を果たすことができる。 主
○ 都きり祭 WEEK を振り返る。		当日の写真や動画	・自分や周囲の友達の役割を果たす姿を認め、賞賛しあう。 主・対

[illegible]

11月1・2週	単元名	後期進路体験実習事後学習（報告会）
第1、2、3学年	単元の目標	○ お互いの頑張りを認め合い、進路や働くことへの関心をもち、今後の作業学習への意欲を高めることができる。 「学びに向かう力、人間性」 ○ 他班の活動の様子を知ったり、自分の実習への取り組みを振り返ったりすることができる。「知識及び技能」 ○ 今後の進路や就労に向けた課題について考えることができる。「思考力・表現力・判断力」
学習内容		教材・教具 学習活動内容 指導の手立て（主体的・対話的・学びを深める）
○ 実習報告をしよう ・自分の班の取り組みを発表しよう ・他班の発表を聞こう ○ 修了証書を受け取ろう ○ 学校長の話进行聞こう ○ 解散式をしよう ・修了証書を受け取ろう （代表で修了証書を受け取った生徒以外） ・今後の作業学習や学校生活に向けて、チーフの先生からコメントをもらおう		動画上映のためのパソコンまたはiPad 修了証書 ・それぞれの班の報告会用動画を見て、他班の活動の様子を知ることができるようにする。深 ・代表で発表する生徒については、一週間、頑張ったことやできるようになったこと、今後の課題などを大きな声で分かりやすく報告をする。主・対 ・代表で修了証書を受け取る生徒は、前方に1列に並び、堂々とした態度で修了証書を受け取る。主 ・代表で修了証書を受け取る生徒以外の生徒については、大きな拍手をしてねぎらう。主・対 ・校長先生の話进行聞いて自分の実習への取り組みを振り返り、今後の進路や就労に向けた課題に対する意識を深める。深 ・各班に分かれて修了証書を受け取り、お互いの頑張りを認め合う。対 ・チーフの先生の話进行聞き、今後の作業学習や学校生活への意欲を高める。主

11月3・4週	単元名	秋の遠足に行こう	
1学年 2学年 3学年	単元の目標	○ 秋の遠足の日程や目的を知り、多くの友達と触れ合うことに興味・関心を持って取り組むことができる。 「学びに向かう力、人性」 ○ 集団活動を通して必要なルールやマナーを守ることができる。 「知識及び技能」 ○ 遠足後のまとめを通して、自分の意思や考えを発表することができる。 「思考力・表現力・判断力」	
学習内容		教材・教具	学習活動内容 指導の手立て(主体的・対話的・学びを深める)
1 秋の遠足について知ろう (1) 秋の遠足の目的を知る。 (2) 期日や場所、交通手段について知る。 (3) 参加人数や参加者を知る。 (4) 去年の秋の遠足の様子を知る。		パワーポイント資料 動画 顔写真	1 秋の遠足について知ろう ・秋の遠足の目的を知り、楽しみにしている気持ちを表現したりする。 主・対 ・カレンダーに印をつけて、あと何日かを数える。 主 ・友達や先生の顔写真を使って、一緒に行く人を確認する。 深 ・ビデオを観て去年の秋の遠足の様子を知る。 深
2 活動内容について知ろう (1) 秋の遠足の日程について知る。 (2) レクリエーションについて知る。 (3) レクリエーションでの決まりをについて知る。		パワーポイント資料 ビデオ動画等 顔写真 タブレット	2 活動内容について知ろう ・秋の遠足の日程を知り、活動内容を理解する。 主 ・友達や先生の顔写真を使って、同じレクリエーションの人を確認する。 深 ・去年の動画や写真を使って様子を確認する。 深 ・活動場所での過ごし方や交通ルールについて資料を見て確認する。 深・対
1 秋の遠足を振り返ろう (1) 写真や動画を見て、思い出し振り返る。 (2) 遠足の感想文や絵を書いて、まとめをする。 (3) まとめたものを発表する。		パワーポイント資料 動画 写真 ワークシート	1 秋の遠足を振り返ろう ・写真や動画を見て、楽しかったことや思い出に残っていることを振り返る。 主・対 ・動画を見た後に、周りの友達と思い出を話し合う。 対 ・感想文や絵を描いてまとめをする。 主・深 ・ワークシートをもとに、思い出発表をする。 対・深

12月1・2週	単元名	冬の暮らし①	
1 年	単元の目標	○ 年末年始の行事や風習を知ること、家庭等で実践しようとする気持ちや意欲をもつことができる。 「学びに向かう力、人間性」 ○ 冬の季節に関する事柄や行事について知ることができる。 「知識及び技能」 ○ 冬の季節に関することや行事について、知っていること、調べたこと、経験したことなどを発表することができる。 「思考力・表現力・判断力」	
学習内容		教材・教具	学習活動内容 指導の手立て(主体的・対話的・学びを深める)
○ お楽しみ会の準備をしよう。 ・飾りをつくろう ・計画を立てよう ・準備をしよう		のり はさみ 色紙 模造紙 お菓子の材料 調理道具	・お楽しみ会で必要な飾りを作る。飾る。主 ・プログラム表をつくる。どのような係があるか考え、役割をきめる。主 対 ・タブレット端末でお菓子の作り方を調べる。主 深 ・手作りケーキやおかしなどを作ったり、トッピングをしたりする。主 深 ・材料を買いに行く。主 深 ・道具を準備する。主
○ お楽しみ会をしよう。		モニター、マイク、CD、 タブレット端末 レクリエーションの道具	・お楽しみ会をみんなで楽しむ。主 対 ・出し物を披露したり、プレゼント交換をしたりする。主 ・レクリエーションをする。主
○ 冬の季節の過ごし方を考えよう。 ・衣服について考えよう ・健康面について考えよう		・手袋、マフラー、マスク ・カイロ ・温度計、湿度計	・冬に着る衣服の種類を発表する。寒くないように身に着けるものを考える。主 対 ・暖くなるための道具などを考え発表する。主 対 ・冬の季節の特徴を知る。乾燥しないための方法を実践する。主 深 ・冬の季節、健康に過ごすために大切なことを考え発表したり、確認したりする。主 対 ・温度計や湿度計の読み方を確認する。主

12月・2週	単元名	冬の暮らし② 【通常1時間 重複3時間】	
○学年 1年	単元の目標	○ 年末年始の行事や風習を知ること、家庭等で実際に実践しようとする気持ちや意欲をもつことができる。 「学びに向かう力、人間性」 ○ 冬の季節に関する事柄や行事について知ることができる。 「知識及び技能」 ○ 冬の季節に関することや行事について、知っていること、調べたこと、経験したことなどを発表することができる。 「思考力・表現力・判断力」	
学習内容		教材・教具	学習活動内容 指導の手立て(主体的・対話的・学びを深める)
○ 年賀状をおくろう ・年賀状の意味(お世話になった人など) ・年賀状の書き方、 ・年賀状の出し方 ・郵便物が届くまで(年賀状の買い方) ・年賀状のくじ面 ・干支を確認しよう ○ 年末年始の行事を知ろう ・大掃除について ・おおみそかについて ・正月について ・七草がゆ、鏡開きについて		年賀状、ペン、イラスト集 タブレット端末、スタンプなど 掃除道具 タブレット端末など	・年賀状の例を色々見せて、自分なりの年賀状を作る。主・深 ・住所、郵便番号、名前などの書き方を知り、練習をする。主・深 ・年賀状を出す意義や、由来を知る。主 ・年賀状を出しに行く。深 ・出した年賀場が、どのようにして相手先に届くかを知る。郵便局の仕組みを、動画やネットで調べて、知る。主 ・干支の由来や来年の干支を知る。自分や家族の干支を発表する。主・対 ・当選番号の調べ方を知る。景品を確認する。主 ・大掃除の意味を考える。掃除の仕方を確認する。実際に教室や廊下を掃除する。 主・深 ・年末年始の過ごし方を紹介しあう。対 ・大みそかの意味を知る。(除夜の鐘、第九、年越しそば)などの由来を調べる。主 ・正月の意味を知る。(門松、しめ縄、お年玉、初詣、おせち、初日の出)などの由来を知る。主 ・七草がゆや、鏡開きの意味や由来を知る。主

1 2 月・3 週	単元名	2 学期のまとめをしよう	
1 学年 2 学年 3 学年	単元の目標	○ 2 学期の思い出や目標を振り返り、自分自身の成長を知る。 「学びに向かう力、人間性」 ○ 冬休み中の生活について話し合い、見通しをもって生活できるように冬休みの計画を立てる。 「知識及び技能」 ○ 2 学期の反省や冬休みの計画について考えたことを発表する。 「思考力・表現力・判断力」	
学習内容	教材・教具	学習活動内容 指導の手立て(主体的・対話的・学びを深める)	
2 学期のまとめ	パソコン、タブレット等 パワーポイントによる資料 清掃用具	(1) 2 学期の思い出を振り返ろう ① 思い出のビデオやアルバムを見て 2 学期の活動を振り返る。主 ② 写真や作品を整理し、2 学期の行事や学習を振り返る。主・深 (2) 身の回りの整理をしよう ① 学期の終わりに片付けや整理することを知る。深 ② 身の回りのものの片付けや整理をする。主 ③ 冬休みに持って帰る作品や学習帳の整理をする。主・深 (3) 教室や特別教室の掃除をしよう ① 学期の終わりに自分たちで使った教室や特別教室などを掃除することを知る。主 ② 教室や特別教室などを教師と一緒に掃除する。主・対 ③ 教室や特別教室などを自分たちで掃除する。主・対	
冬休みの計画	カレンダー 冬休みのしおり	(1) 冬休みの過ごし方 ① 2 学期の目標について教師と共に振り返る。主・深 ② 年の変わる休みに入ることを確認する。主・深 ③ 年末年始の過ごし方のよい例・悪い例を見てどうすれば良いか考える。主・対 ④ 家庭での過ごし方や家庭での自分の役割、どんな手伝いができるか考え発表する。主・対 (2) 冬休みの計画を立てよう ① カレンダーなどで冬休みの行事を確認する。主 ② カレンダーなどに冬休みの行事を書き込む。主・深 ③ 冬休みにしたいこと・行きたいところを考え、発表する。主・対 ④ 冬休み期間のスケジュールを作る。主	

1月1週	単元名	3学期の計画	
1学年 2学年 3学年	単元の目標	○ 冬休みの終わりを確認し、3学期の始まりを意識する。 「学びに向かう力、人間性」 ○ 冬休みの思い出を発表する。 「知識及び技能」 ○ 正月の遊びを通して日本の伝統的な遊びを知り、友達と仲良く遊ぶことができる。 「思考力・表現力・判断力」	
学習内容		教材・教具	学習活動内容 指導の手立て(主体的・対話的・学びを深める)
1 冬休みを振り返ろう		冬休みの課題 写真 年賀状	(1) 冬休みを思い出そう ○冬休みの宿題の作品・年賀状を通して、冬休みに行ったことを話したりして振り返る。 主 対 深
2 3学期の目標を立てよう		画用紙 マジック	(1) 目標を立てよう ○今年度最後の学期である事、そして新しい年である事を意識して、がんばりたいことを考え、目標を立てる。 主 ○考えた目標を発表する。 主 (2) 教室に目標を掲示しよう ○目標を紙に書いたりして教室や廊下に掲示する。 主
3 正月の遊び			(1) 正月の遊び(凧揚げ、こま回し、はねつき、すごろく、福笑いなど)を知りいっしょに友達と遊ぶ。

1月3週	単元名	冬の遊び	
1年	単元の目標	○ 冬の自然や行事に関心を持ち、伝統的な遊びを通して友達と競ったり、一緒に遊んだりする楽しさを味わうことができる。 「学びに向かう力、人間性」 ○ ルールを理解し、見通しをもってゲームに参加することができる。 「知識及び技能」 ○ 季節の変化や遊びを工夫する面白さにふれ、友達とコミュニケーションを通して自分や友達の成長に気付くことができる。 「思考力・表現力・判断力」	
学習内容		教材・教具	学習活動内容 指導の手立て(主体的・対話的・学びを深める)
○ 冬の遊びを知ろう ・冬の遊びについて話を聞こう ・冬の遊びについて知っていることを発表しよう ・冬の遊びについて調べよう ・調べたことを発表しよう ○ 冬の遊びをやってみよう ・カルタ遊び ・すごろく遊び ・竹馬 ・けん玉 ・お手玉 ・こま ・おはじき ・あやとり		書籍 タブレット端末 ルールや約束事の掲示物 冬遊びに使う道具	・これまでを振り返りながら、冬の遊びについて知っていることを発表する。 主・対 ・冬の遊びについて、書籍やタブレット端末を活用し教師と調べたり、友達と協力して調べたりする。 対・主 ・タブレット端末を活用し、動画で検索して視聴することで、視覚的に冬の遊びを知る。 ・友達との話し合いを通して、知っている遊びを他者に伝える。 主・深 ・冬遊びで調べた中から、みんなで楽しめる遊びを考える。 対・深 ・学級や学年で「みんなで仲良くなるためのゲーム」について話し合う。 対 ・ゲームのルールを考え、楽しくゲームができるようにする。 深 ・感染症対策が必要な時はタブレット端末のアプリを使ってカルタやすごろくをして、冬遊びにふれる。 ・ルールや約束事を掲示し、ゲームをしている最中も確認する。 ・遊んでいる道具を渡すときに「はい、どうぞ」と直接次の人に手渡すことで、友達と関わる機会をつくる。 対 ・活動後は、掲示してあるルールや約束事を守って楽しむことができたかを振り返る。 深

1月・4週	単元名	「給食感謝週間」	
1学年 2学年 3学年	単元の目標	○ 給食や給食を支えてくださっている方々へ感謝の気持ちを持ち、伝えようとするができる。「学びに向かう力、人間性」 ○ 給食に関わる様々な職種の方々やその方々の仕事や思いについて知る。「知識及び技能」 ○ 給食への思いや感謝を手紙や作品で表現することができる「思考力・表現力・判断力」	
学習内容		教材・教具	学習活動内容 指導の手立て(主体的・対話的・学びを深める)
○給食感謝週間について知る。		カレンダー	・給食感謝週間の日時や意義について知る。 主
○給食について考える。		日頃の給食の様子の写真や動画 給食カード	・日頃の給食の様子を写真や動画などから振り返り、好きなメニューを挙げたり、給食にまつわるエピソードなどを挙げたりして、給食が楽しく、健やかな生活を支えていることを確認する。 主・対
○給食を支えてくださっている方について知る。		栄養士の先生作成の PP	・給食がどのように出来たり、どのように片付けられたり想像したり、調べたりする。 深
○給食を支えてくださっている方にお礼の手紙を書いたりや作品を作ったりする。		手紙 作品製作用の画用紙等	・日頃の給食の様子を振り返りながら、手紙や作品を作る。 主 ・書いた手紙や、作品を栄養士の先生や調理員さんに届けたり、作品を掲示したりする。 主・対

2月 3・4週	単元名	卒業生を送る会に向けて(準備)(1・2年)	
1 学年 2 学年	単元の目標	○ 卒業生送る会に関心をもち、卒業生と過ごした日々を思い出す。「学びに向かう力、人間性」 ○ 卒業生を送る会を理解し、期日を知る。自分のできる準備内容を知り協力して取り組む。「知識及び技能」 ○ 卒業生を送る会の計画や準備を通じて、自分たちの進路にむけ関連づけて考える力を身につける。「思考力・表現力・判断力」	
学習内容		教材・教具	学習活動内容 指導の手立て(主体的・対話的・学びを深める)
○ 卒業生を送る会のことについて知ってみよう。 ・ 卒業生お別れ会について調べて発表しよう。		タブレット端末 プリンター	・卒業生を送る会について、どんな事をするか調べて発表する。 主 ① タブレット端末等で、卒業生を送る会では、どのような事をするのか、協力して調べる。 主・対 ② 卒業生送る会では何が出来るか取り組む際、工夫することを調べる。 主対 タブレット端末等で調べたことを、プリントにわかりやすく整理する。 主 ③ 整理した内容をわかりやすくまとめ発表する。 深
○ 卒業生を送る会を準備しよう。 ・ 卒業生へのプレゼント作りをしよう。 ・ 卒業生へ贈る歌を歌ってみよう。		のり 両面テープ 画用紙 ペン シール はさみ	・卒業生を送る会について調べた内容を取り入れながら計画・準備する。 主 ① 卒業式を送る会の期日を知る。 主 ② 自分のできる準備内容を知り、協力して取り組む。 主・対 ③ 卒業生へのプレゼントづくりを協力して、分担しながら作る。 主・対 ④ 卒業生を祝う気持ちで心を込めて歌の練習を行う。 主・対 ⑤ 自分たちの歌を録音して鑑賞し、感想を発表し合う。 対・深

2月1・2週	単元名	生徒会役員選挙について知ろう	
1学年 2学年 3学年	単元の目標	○ 生徒会の仕組みや活動を知り、生徒会役員選挙への意欲を高めることができる。 「学びに向かう力、人間性」 ○ 選挙の方法を知り、生徒会役員の公平な選び方を学ぶことができる。 「知識及び技能」 ○ 生徒会役員選挙の候補者の演説を聴き、投票者を考えることができる。 「思考力・表現力・判断力」	
学習内容		教材・教具	学習活動内容 指導の手立て(主体的・対話的・学びを深める)
1 生徒会役員選挙について知ろう (1) 生徒会役員選挙の目的について知る。 (2) 生徒会の仕組みや活動について知る。 (3) 生徒会役員選挙の立候補者を確認する。 (4) 去年の生徒会役員選挙の動画や写真を見て、振り返る。		パワーポイント資料 動画 顔写真 投票用紙	1 生徒会役員選挙について知ろう ・生徒会役員選挙の目的を知り、生徒会の仕組みや活動を理解する。 深 ・立候補者の友達の顔写真を使って、立候補者を確認する。 深 ・動画を観て去年の生徒会役員選挙の様子を知る。 深
2 選挙の方法について知ろう (1) 生徒会役員選挙の日程について知る。 (2) 生徒会役員選挙の立候補者の演説を聴く。 (3) 演説を聴き、候補者を考える。 (4) 模擬投票を行う。		パワーポイント資料 投票用紙	2 選挙の方法について知ろう ・選挙の日程を知り、活動内容を理解する。 主 ・立候補者の演説を聴き、自分で候補者を考える。 主 ・投票用紙に投票したい人を書き、投票するまでの模擬練習を行う。 対・深

3月1週	単元名	卒業生を送る会実施(1・2年)	
1 学年 2 学年	単元の目標	○ 卒業生送る会に関心をもち、卒業生と過ごした日々を思い出す。「学びに向かう力、人間性」 ○ 卒業生を送る会を理解し、期日を知る。自分のできる準備内容を知り協力して取り組む。「知識及び技能」 ○ 卒業生を送る会の計画や準備を通じて、自分たちの進路にむけ関連づけて考える力を身につける。「思考力・表現力・判断力」	
学習内容		教材・教具	学習活動内容 指導の手立て(主体的・対話的・学びを深める)
○ 卒業生を送る会を準備しよう。 ・ 卒業生へのプレゼントを完成しよう。 ・ 卒業会場の飾り付けをしよう。 ○ 卒業生を送る会に参加しよう。 ・ 卒業生へプレゼントを渡そう。 ・ 卒業生へ贈る歌をみんなで聴いてみよう。		シール はさみ りぼん ビニール袋 色紙 タブレット端末 モニター 紙テープ テープ	・卒業生を送る会の準備をする。主 ① プレゼントのラッピングをする。主 ② 会場の飾り付けをみんなで協力して行う。主・対 ③ 完成した飾り付けについて感想を発表する。対・深 ・卒業生を送る会に参加する。主 ☐ ① プログラムに従って、楽しくみんなで協力して会を進める。主・対 ② 卒業生に感謝を込めてプレゼントをわたす。主 ③ 卒業生へ贈る歌をみんなでさく。主・対 ④ 楽しい雰囲気の中にもルールや決まりのあることを知る。深 ⑤ 卒業会を送る会に参加した感想・意見を話す。対・深

3月2週	単元名	1年間のまとめ②	
1学年 2学年	単元の目標	○ 進級することに希望をもつとともに、今後の学習及び生活への意欲をもつことができる「学びに向かう力、人間性」 ○ 現学年を振り返るとともに次学年のことを知ることもできる。「知識及び技能」 ○ 次学年でがんばりたいことや楽しみにしていることについて考えたことを発表することができる。 「思考力・表現力・判断力」	
学習内容		教材・教具	学習活動内容 指導の手立て(主体的・対話的・学びを深める)
○ 現学年を振り返り、次の学年を知ろう。 ・各教科で担当してもらった先生を振り返ろう。 ・次学年や行事を知ろう。 ・次学年で頑張りたいことや楽しみにしていることを考え、発表しよう。		・写真	・各教科で担当してもらった先生を思い出す。主 ・教師と一緒に写真を使って名前と顔を一致させながら確認する。主・対 ・次は何年生になるか、どんな行事があるのかを考え、教師と一緒に確認する。 主・対 ・生徒の実態に応じた方法で発表する。対
○ 身の回りの整理整頓をしよう。 ・身の回りの物を片付けよう。 ・学校に置いておくものと家に持って帰るものを整理しよう。 ・教室を整理し、隅々まで掃除しよう。 ・次の学年への準備をしよう。		・整理できるケース等 ・ゴミ箱 ・掃除道具	・必要な物、不必要な物を確認しながら、自分の物を整理する。(難しい生徒は教師と一緒に) 主・対・深 ・掃除の仕方を確認し、教室を掃除する。主・深
○ クラスの茶話会をしよう ・アルバムや動画を見ながら、茶話会を行おう。		・アルバム ・パソコンまたはタブレット端末 ・モニター ・お菓子や飲み物等	・茶話会を行い、みんなで楽しむ。主・対 ・生徒の実態に応じてお菓子や飲み物を準備する。

R4 都城きりしま支援学校 中学部 生活単元学習年間指導計画 (2年)

月	行事	月・週	単元	主な内容
4	始業式 入学式 参観日・PTA総会	4月2～3週	進級・入学、学級づくり	新しい学級を知る。学校や学級での過ごし方を知る。学級目標・係を決める。
		4月4週	学年菜園	季節の野菜を植える。除草作業をする。観察をする。
5	運動会	5月1～4週	運動会	期日や日程を知る。ポスターや案内状を作る。運動会の準備をする・振り返りをする。
6	進路体験実習 進路体験事後報告会	6月1週	梅雨の暮らし	梅雨の過ごし方を知る。汗の処理の仕方を知る。
		6月2・3週	進路体験実習（事前学習・参加）	進路体験実習について知る。実習の目標を立てる。進路体験実習に参加する。
		6月4週	進路体験実習（事後学習）	動画や写真を見て、進路体験実習を振り返る。
7	1学期終業式	7月1・2週	夏の暮らし	水遊び、七夕、夏祭りの準備
		7月3週	1学期のまとめ	1学期の振り返りをする。教室等の掃除をする。夏休みの計画を立てる。
9	2学期始業式 修学旅行（3年）	9月1週	2学期の計画	2学期の行事を確認する。2学期の目標を考える。2学期の係を決める。
		9月2～4週	人に優しく	敬老の日、高齢者との関わり（清風園交流のこす?）いろいろな人との関わり
		9月2～4週	修学旅行（3年）	修学旅行の事前学習（見学地・ルール・係決め・準備など）をする。事後学習をする。
10	都きりWeek 進路体験実習事前学習	10月1～3週	都きりWeek	都きり祭に参加する。都きり祭の振り返りをする。
		10月4週	進路体験実習（事前学習）	前期の実習を振り返る。実習の目標を立てる。
11	進路体験実習、事後報告会 参観日 秋の遠足	11月1・2週	進路体験実習（参加・事後学習）	進路体験実習に参加する。進路体験実習を振り返る。
		11月3・4週	秋の遠足	秋の遠足について知る。友達と仲よくする方法を学ぶ。遠足を振り返る。
12	2学期終業式	12月1・2週	冬の暮らし	お楽しみ会、年賀状、大掃除、校外学習（買い物学習）
		12月3週	2学期のまとめ	2学期の振り返りをする。教室等の掃除をする。冬休みの計画を立てる。
1	3学期始業式 参観日 給食感謝週間	1月2週	3学期の計画	3学期の行事を確認する。3学期の目標を考える。3学期の係を決める。
		1月3週	生徒会役員選挙	生徒会役員について知る。投票の仕方を学び、投票する人を考え投票する。
		1月4週	給食感謝週間	給食ができるまでの話を聞く。給食に関わる人たちへ感謝の気持ちをもつ。
2	入学者選考（3年） 学年末清掃週間	2月1・2週	おめでとう、ありがとう	節分、ありがとうを伝えよう（バレンタインデー）
		2月3・4週	卒業生を送る会に向けて（1・2年）	卒業生を送る会の計画を立てる。準備をする。
3	卒業式 修了式	3月1週	卒業生を送る会実施	お別れ会の準備をする。お別れ会に参加する。
		3月2・3週	1年間のまとめ（1・2年）	アルバムの整理をする。1年間の振り返りをする。

4月2・3週	単元名	入学(1年)進級(2・3年)・学級作り	
1学年 2学年 3学年	単元の目標	○ 入学や進級の意味を理解し、所属学年としての自覚をもつことができる。「学びに向かう力、人間性」 ○ 新しい学級や校内の施設に興味・関心をもち、施設の利用の仕方或使用目的を知る。「知識及び技能」 ○ 新しい学級に慣れ、自分の意思や考えを主張することができる。「思考力・表現力・判断力」	
学習内容		教材・教具	学習活動内容 指導の手立て(主体的・対話的・深める)
○ 新しい学級を知ろう - 自己紹介をしよう - 先生や友達の名前を覚えよう - 自分の机、靴箱、ロッカー、給食の場所を覚えよう - 教科書等に記名しよう		自己紹介に必要なもの ネームペン 顔写真 名前シール	・教師と一緒に、一人でなど、自分の得意な方法を選んで自己紹介をする。 主 ・①友達や教師の顔を覚える、②友達や教師の名前を言える、③友達や教師の名前を書ける 実態に合わせて学習を深める。 深 ・教師と一緒に自分の使う靴箱やロッカー、給食の席などを確認し、自分で行くことができるように練習をする。 主 ・①名前シールを貼る、②名前ラベルに記名して貼る、③直接記名する 実態に合わせて準備する。 ・学校探検では、生徒同士で話し合いながら道筋を考えたり、使用する教室について教え合ったりすることで校内の理解を深める。 対・深 ・学級や学年で「みんなで仲良くなるためのゲーム」について話し合いをする。 対 ・ゲームのルールを考え、楽しくゲームをすることができるようにする。 深
○ 友達や先生と仲良くなろう - 学校探検をしよう - ゲームをしよう		校内の地図、写真 シール	
○ 学校や学級での過ごし方を知ろう - 一日の過ごし方を知ろう 1年間の行事を確認しよう		時間割の台紙 年間予定表	・一日の生活の流れを文字カードや写真カード、スライドを見て確認する。 ・一年間の行事を文字カードや写真カード、スライドを見て確認する。

4月・4週	単元名	学年菜園	
1 学年 2 学年 3 学年	単元の目標	○ 季節に適した野菜を調べ、自分たちで植えることができる。 「学びに向かう力、人間性」 ○ 発芽、開花、結実といった一連の成長の様子を言葉や絵で表現し、伝えることができる。「知識及び技能」 ○ 菜園の整地・苗植え・成長の見守り・除草・追肥・収穫など、今後の見通しを考え、積極的に行動する。 「思考力・表現力・判断力」	
学習内容		教材・教具	学習活動内容 指導の手立て(主体的・対話的・学びを深める)
各学年での学習 ○1年間の活動内容を知ろう。		写真 プレゼン TVモニター パソコン HDMI ipad	- 写真やプレゼンの映像で、一年間の活動の話を聞く。 - 菜園づくりに必要な道具を考える。 主 - 道具を写真や映像で見て、名称を読んだり答えたりする。 - 自分が経験したことや見聞きしたことを 簡単な言葉で話したり書いたりする。 対 深 - 植えたい野菜をipadでインターネット検索し、季節に適した野菜を調べ発表する。 主 対
○サツマイモの育て方を知ろう。		育て方の資料プリント	『サツマイモ』について知っていることを発表する。 主 対 - どんなふうに料理した物を食べたことがあるか思い出してみる。 主 深 - サツマイモの育て方について経験したことや見聞きしたことを 簡単な言葉で話したり書いたりする。 対 深 - サツマイモを育てる計画を立てる。 主 対 深

5月1週	単元名	運動会 ①「運動会を成功させよう」	
1学年 2学年 3学年	単元の目標	○ 昨年の運動会を振り返り、今年の運動会に向けて意欲的に取り組むことができる。「学びに向かう力、人間性」 ○ 運動会について知り、期日、自分や友達の団の色がわかる。「知識及び技能」 ○ 運動会で自分が出場する種目や、希望する係を発表する。「思考力・表現力・判断力」	
学習内容		教材・教具	学習活動内容 指導の手立て(主体的・対話的・学びを深める)
○運動会を振り返ろう		写真やビデオ パソコンやモニター	・昨年の運動会の写真や動画を見る。 主 ・昨年の運動会の参加種目や係等覚えていることを発表する。 主
○運動会について知ろう ・期日や日程を知ろう ・自分や友達の団の色を知ろう ・自分の出場種目を知ろう		カレンダー、絵カードや写真 ○シール	・運動会の期日や曜日が言える。または、教師と一緒に運動会の写真やマークをカレンダーに貼り、期日を知る。 深 ・教師と一緒に自分や友達の写真に赤や白のシールを貼り、団の色を知る。 ・おおまかな練習日程を知る。
○運動会の係を決めよう		写真、具体物(例:お手玉等)	・写真や具体物、絵を見て自分の出場種目を知る。 主 ・自分のしたい係を考え、みんなで係を決める。 主・対 ・みんなの前で自分の出場種目や係などについて頑張りたいことを発表する。 主・深

5月2週	単元名	運動会②「運動会を成功させよう」	
全学年	単元の目標	○運動会の練習を通して集団の決まりや、協力し合うことの大切さに関心を持つ。「学びに向かう力、人間性」 ○運動会に必要な道具を考え、準備することができる。「知識及び技能」 ○校内掲示用のポスターや、保護者への招待状を作成する。「思考力・表現力・判断力」	
学習内容		教材・教具	学習活動内容 指導の手立て(主体的・対話的・学びを深める)
○運動会の練習での行動の決まりや、安全面の注意を知ろう。		寸劇または紙芝居	・運動会での良い行動・悪い行動の例を見て、○か×かを話し合う。 対 ・集団で行動する際の決まりや安全について気を付けることを知る。 深
○運動会の練習をしよう ・団技や徒走の内容を知ろう ・団技や徒走のルールやきまりを知ろう ・練習しよう		ビデオや写真	・模範演技を見て団技の内容や徒走の要領を知る。 ・教師の説明を聞き、集団でのルールや決まりを考え、していいこと・いけないことを発表する。 主・深 ・集団でのルールや決まりを守り練習に取り組む。 主・深
○運動会の準備をしよう		写真、絵カード 製作材料	・写真や絵などを見て、教師と一緒に運動会に必要な道具を考える。 主 ・教師や友達と協力して、団の装飾や応援グッズ、団技で使う道具を作り、運動会への気持ちを高める。 対・深
○ポスターや招待状を作ろう		色画用紙、絵の具等の画材 ぬりえ、のり、はさみ	・期日、場所、出場種目や出番を正しく覚えることができる 主 ・自分なりのイメージや表現でポスターを作る。 ・応援に来てくれる家族のことを思いながら、わかりやすく書くことができる。 対・深

5月・3週	単元名	運動会③「運動会を成功させよう」	
1 学年 2 学年 3 学年	単元の目標	○ 運動会本番に向けて、1 つの行事を成功させようと一生懸命取り組もうとする。「学びに向かう力、人間性」 ○ 運動会を成功させるためにはどんなことが必要かを考え、友達と協力することができる。「知識及び技能」 ○ 競技や応援、係など自分の役割を理解し、これまでの練習の成果を発揮する場として気持ちを高めることができる。 「思考力・表現力・判断力」	
学習内容		教材・教具	学習活動内容 指導の手立て(主体的・対話的・学びを深める)
○ 本番で頑張りたいこと(目標)を決めよう ・ 運動会当日について確認しよう ・ 自分の役割を確認しよう ・ 目標を決めよう ・ 自分の目標を発表したり、友達の目標を聞いたりしよう		目標を書く紙 ペン	・運動会はいつか、当日に必要なものは何かを確認する。 ・自分はどんな競技に出るのか、何団に属しているか、係は何かを確認する。 深 ・一番頑張りたいことを決めて書く。 主 ・友達の目標を聞いて、お互いに運動会を成功させようとする気持ちを高める。 対・深
○ 応援の練習をしよう ・ どんな応援の仕方があるか確認しよう ・ 応援練習をしよう		応援グッズ	・運動会が盛り上がるための応援をするためには、どうしたらよいか、どんなことを頑張ったらよいかを話し合う。 対 ・団長やリーダーに従って、しっかり応援の種類やリズムなどを覚える。 ・しっかり声を出して応援練習をして、当日に向けて雰囲気を盛り上げる。

5月・4週	単元名	運動会④「運動会の振り返りをしよう」	
1 学年 2 学年 3 学年	単元の目標	○ 運動会を振り返り、来年の運動会に向けて新たな目標を持つことができる。「学びに向かう力、人間性」 ○ ビデオや写真で自分の行動を振り返ることによって、自分の姿を客観的に見る力を身に付ける。「知識及び技能」 ○ 運動会を振り返り、感想や反省を発表する。「思考力・表現力・判断力」	
学習内容		教材・教具	学習活動内容 指導の手立て(主体的・対話的・学びを深める)
○ 運動会を思い出そう - 運動会のビデオや写真を見て思い出そう。 - 運動会で楽しかったことや頑張ったことを発表しよう。 - 友達の発表を聞いて、よかったところをたたえよう。 - 来年の運動会はどんなことを頑張りたいか考えよう。		ビデオや写真 パソコンやモニター	- 運動会を映像や写真で振り返る。 - 自分が一番楽しかったこと、頑張ったことを発表する。主・深 - 友達の発表を聞いて、友達の頑張りを認め合い、自信を持てるようにする。対 - 来年の目標を考えさせ、今年よりもステップアップできるようにする。深
○ 運動会の思い出をまとめよう - 自分の思い出に残った写真を選んで、そのことについて感想を書こう。 - 運動会での反省点を話し合う。 - 競技の結果や優勝した団を表などにまとめる。 - 思い出を作文にしたり、絵に描いたりして発表する。 - まとめたものを掲示する。		作文用紙 まとめる紙 画用紙 絵の具やクレパスなど	- 自分で書くことが難しい生徒には文章表現の仕方をいくつか示し、そこから選んで自分の気持ちに合う表現を選ばせ、文章化していく。主・深 - 反省点を出し合い、それに対する解決策も考えさせ、次につながるようにする。対・深 - まとめる際には、写真を貼ったり絵を描いたりして分かりやすくなるように工夫する。

6月・1週	単元名	梅雨の暮らし	
1 学年 2 学年 3 学年	単元の目標	○ 梅雨の季節の特徴に気づき、天気や気候の変化に関心をもつことができる。 「学びに向かう力、人間性」 ○ 梅雨の時期に必要な道具や適切な過ごし方への知識を深める。 「知識及び技能」 ○ 梅雨の時期に関することについて知っていることや話し合ったことなどを発表することができる。 「思考力・表現力・判断力」	
学習内容		教材・教具	学習活動内容 指導の手立て(主体的・対話的・学びを深める)
○ 梅雨について知ろう。 ・梅雨の時期は雨の日が多いことを知ろう。 ○ 梅雨の時期の過ごし方を知ろう。 ・雨の日の特徴を考え、発表しよう。 ・雨の日の過ごし方について知ろう。 ・快適な過ごし方について知ろう。 ○ 雨具の適切な扱い方を知ろう。 ・どのような雨具があるかを知ろう。 ・雨具を使用する際に、気を付けなければならないことを知ろう。		・降水量の表 ・タブレット端末 ・カッパ ・雨靴 ・傘(折り畳み傘)	・1 年間の降水量を教師が示し、どの部分が梅雨にあたるのか生徒同士で話し合いながら考え発表する。主・対 ・雨の日を思い出しながら、雨の日の教室の床や廊下の状態を考える。主 ・分かったことから、雨の日の過ごし方(室内での遊びとルール、廊下の歩き方)について話し合う。主・対 ・雨の日の気温や湿度についてタブレット端末を活用し、教師や友達と協力して調べる ・快適に過ごすための道具や器具を考え発表する。主・対 ・どのような雨具があるか考え発表する。主・対 ・雨具を使う際に気を付けることを生徒同士で話し合い、実際に使用して確認する。 主・対・深

[illegible]

6月4週	単元名	前期進路体験実習事後学習（報告会）	
第1、2、3学年	単元の目標	○ お互いの頑張りを認め合い、進路や働くことへの関心をもち、今後の作業学習への意欲を高めることができる。 「学びに向かう力、人間性」 ○ 他班の活動の様子を知ったり、自分の実習への取り組みを振り返ったりすることができる。「知識及び技能」 ○ 今後の進路や就労に向けた課題について考えることができる。「思考力・表現力・判断力」	
学習内容		教材・教具	学習活動内容 指導の手立て（主体的・対話的・学びを深める）
○ 実習報告をしよう ・自分の班の取り組みを発表しよう ・他班の発表を聞こう		動画上映のためのパソコンまたはiPad	・それぞれの班の報告会用動画を見て、他班の活動の様子を知ることができるようにする。深 ・代表で発表する生徒については、一週間、頑張ったことやできるようになったこと、今後の課題などを大きな声で分かりやすく報告をする。主・対
○ 修了証書を受け取ろう		修了証書	・代表で修了証書を受け取る生徒は、前方に一直列に並び、堂々とした態度で修了証書を受け取る。主 ・代表で修了証書を受け取る生徒以外の生徒については、大きな拍手をしてねぎらう。主・対
○ 学校長の話を聞こう			・校長先生の話聞いて自分の実習への取り組みを振り返り、今後の進路や就労に向けた課題に対する意識を深める。深
○ 解散式をしよう ・修了証書を受け取ろう （代表で修了証書を受け取った生徒以外） ・今後の作業学習や学校生活に向けて、チーフの先生からコメントをもらおう			・各班に分かれて修了証書を受け取り、お互いの頑張りを認め合う。対 ・チーフの先生の話聞き、今後の作業学習や学校生活への意欲を高める。主

[illegible]

11月1・2週	単元名	後期進路体験実習事後学習(報告会)	
第1、2、3学年	単元の目標	○ お互いの頑張りを認め合い、進路や働くことへの関心をもち、今後の作業学習への意欲を高めることができる。 「学びに向かう力、人間性」 ○ 他班の活動の様子を知ったり、自分の実習への取り組みを振り返ったりすることができる。「知識及び技能」 ○ 今後の進路や就労に向けた課題について考えることができる。「思考力・表現力・判断力」	
学習内容		教材・教具	学習活動内容 指導の手立て(主体的・対話的・学びを深める)
○ 実習報告をしよう ・自分の班の取り組みを発表しよう ・他班の発表を聞こう ○ 修了証書を受け取ろう ○ 学校長の話を知ろう ○ 解散式をしよう ・修了証書を受け取ろう (代表で修了証書を受け取った生徒以外) ・今後の作業学習や学校生活に向けて、チーフの先生からコメントをもらおう		動画上映のためのパソコンまたはiPad 修了証書	・それぞれの班の報告会用動画を見て、他班の活動の様子を知ることができるようにする。深 ・代表で発表する生徒については、一週間、頑張ったことやできるようになったこと、今後の課題などを大きな声で分かりやすく報告をする。主・対 ・代表で修了証書を受け取る生徒は、前方に列に並び、堂々とした態度で修了証書を受け取る。主 ・代表で修了証書を受け取る生徒以外の生徒については、大きな拍手をしてねぎらう。主・対 ・校長先生の話を知て自分の実習への取り組みを振り返り、今後の進路や就労に向けた課題に対する意識を深める。深 ・各班に分かれて修了証書を受け取り、お互いの頑張りを認め合う。対 ・チーフの先生の話を知き、今後の作業学習や学校生活への意欲を高める。主

7月・1週2週	単元名	夏の暮らし～夏祭りをやってみよう～	
2学年	単元の目標	○ 祭りの準備や運営を通して、友達や教師と楽しみながら適切なコミュニケーションを図ることができる。「学びに向かう力、人間性」 ○ 季節の行事に関心を持ち、地域の行事や祭りに込められた願いを知る。「知識及び技能」 ○ 任された役割を、友達や教師と一緒に協力しながら果たすことができる。「思考力・表現力・判断力」	
学習内容		教材・教具	学習活動内容 指導の手立て(主体的・対話的・学びを深める)
① 夏祭りについて知ろう(1/6) ・ 夏祭りとは何かを知る。 ・ 都城の祭りについて知る。 ・ 夏祭りでは何をするのか知る。		・PP スライド(お祭り動画、都城商工会 HP) ・お祭り道具(神輿、屋台のグッズ)	・ 居住地の行事や祭りの紹介を通して、自分の経験を振り返りながら祭りに込められた願いを知ることができるようにする。(対・深) ・ 自分のやってみたい模擬店やお祭りを考え、発表する。(主・対) ・ グループごとに分かれ、やりたいお祭り、話し合いながら模擬店を決める(主・対) ・ 当日と当日までの準備の役割を決めて、任された準備を必要に応じて教師と一緒にを行う。(主・対)
② 夏祭りの準備をしよう(2・3・4/6) ・ グループごとの準備をする ・ 役割分担について知る。 ・ 会場設営、用具準備・作成をする。		・各グループごとの準備物(釣り遊び、射的など) ・タブレット端末 ・地域の広報誌	・ ルールをわかりやすく説明できるようにグループで話し合う。ルールがわかりやすくなるような用具の準備について考える。(対・深) ・ 準備物で必要なものを書籍やタブレット端末、地域の広報誌を用いて調べたり、取り入れたりするために教師に依頼することができる。(主・対・深) ・ 一人一役ができるように話し合いながら係分担をする。(主・対)
③ 夏祭りを楽しもう(5・6/6) ・ 祭りの流れ、時間配分、役割を確認する。 ・ 夏祭りを開催する。		・各グループの準備物 ・祭りの BGM	※ 会場の最終準備は、当日朝の活動及びふれあいタイムで行う。 ・ お客さんが楽しめるような雰囲気づくりと、呼び込みを意欲的にすることで、お客さんとの対話を楽しめるようにする。(主・対) ・ 終了後、プレイルームに集合し、工夫したところ、楽しかったことなどを発表する。(主・対)

7月・3週	単元名	1学期のまとめをしよう	
1 学年 2 学年 3 学年	単元の目標	○ 1学期の思い出や目標を振り返り、自分自身の成長を知る。 「学びに向かう力、人間性」 ○ 夏休み中の生活について話し合い、見通しをもって生活できるように夏休みの計画を立てる。 「知識及び技能」 ○ 1学期の反省や夏休みの計画について考えたことを発表する。 「思考力・表現力・判断力」	
学習内容	教材・教具	学習活動内容 指導の手立て(主体的・対話的・学びを深める)	
1学期のまとめ	パソコン、タブレット等 パワーポイントによる資料 清掃用具	(1) 1学期の思い出を振り返ろう ① 思い出のビデオやアルバムを見て1学期の活動を振り返る。主 ② 写真や作品を整理し、1学期の行事や学習を振り返る。主・深 (2) 身の回りの整理をしよう ① 学期の終わりに片付けや整理することを知る。深 ② 身の回りのものの片付けや整理をする。主 ③ 夏休みに持って帰る作品や学習帳の整理をする。主・深 (3) 教室や特別教室の掃除をしよう ① 学期の終わりに自分たちで使った教室や特別教室などを掃除することを知る。主 ② 教室や特別教室などを教師と一緒に掃除する。主・対 ③ 教室や特別教室などを自分たちで掃除する。主・対	
夏休みの計画	カレンダー 夏休みのしおり	(1) 夏休みの過ごし方 ① 1学期の目標について教師と共に振り返る。主・深 ② 夏休み中の過ごし方のよい例・悪い例を見てどうすれば良いか考える。主・深 ③ 家庭での過ごし方や家庭での自分の役割、どんな手伝いができるか考え発表する。主・対 (2) 夏休みの計画を立てよう ① カレンダーなどで夏休みの行事を確認する。主 ② カレンダーなどに夏休みの行事を書き込む。主・深 ③ 夏休みにしたいこと・行きたいところを考え、発表する。主・対 ④ 夏休み期間のスケジュールを作る。主	

9月1週	単元名	2学期の計画
1学年 2学年 3学年	単元の目標 2学期の計画	○ 夏休みの終わりを確認し、2学期の始まりを意識することができる。「学びに向かう力、人間性」 ○ 夏休みに体験したことを学校生活の中で生かすことができる。「知識及び技能」 ○ 夏休みの思い出を発表することができる。 ○ 2学期の行事について理解することで、2学期の学校生活に見通しをもつ。「思考力・表現力・判断力」
学習内容		教材・教具
		学習活動内容 指導の手立て(主体的・対話的・学びを深める)
夏休みを振り返ろう 夏休みの思い出を発表しよう 2学期の行事を確認しよう 2学期の目標を立てよう		夏休みの課題 (歯磨きカード等) 絵日記等 カレンダー 作品、写真 夏休みの課題、写真、絵日記 カレンダー 行事表 夏休みの課題等で教師と一緒に夏休みを振り返る。 主 対 深 夏休みはいつから始まり、いつ終わったのかをカレンダーなどで確認する。 主 楽しかったことを課題や作品、写真で思い出す。 主 夏休みの課題や絵日記、写真などを使い教師と一緒に発表する。 主 対 夏休みの課題や絵日記、写真等を使い自分で発表する。 主 深 行事がいつ頃あるのか、どんな順番で行われるのかカレンダーに印を付けるなどしながら確認し、2学期の大まかな流れを理解する。 主 (1)1学期の反省を確認しよう ○1学期の目標や学校生活を振り返りながら、教師と一緒に反省を確認する。 主 対 ○1学期の反省を参考にしながら2学期に頑張りたいことなどを考える。 主 (2)2学期の目標を考えよう ○2学期にがんばりたいことを教師と一緒に考える。 主 対 ○2学期にがんばりたいことを自分で考える。 主 ○目標を教師と一緒に、または自分で発表する。 主 (3)2学期の係を決めよう ○1学期にしていた係を思い出す。 主 ○1学期にしていた係活動を反省し、2学期の係を決める。 主 対

9月・2～4週	単元名	思いやりの心～清風園交流（間接交流）をとおして～	
2学年	単元の目標	○清風園交流に関する学習を通して、主体的に学習に取り組む態度を培う。「学びに向かう力、人間性」 ○高齢者との接し方で大切なことを知るとともに高齢者に向けた制作活動に取り組むことができる。「知識及び技能」 ○思いやりの心について考え、自分の意思や考えを伝えることができるとともに、いろいろな人との関わりに生かすことができる。「思考力・表現力・判断力」	
学習内容		教材・教具	学習活動内容 指導の手立て（主体的・対話的・学びを深める）
○清風園交流について知ろう。		パワーポイント・Ipad	・昨年までの交流の写真や動画を見て、清風園で生活している高齢者について知る。 主 ・スライドを見て交流の日時や内容を知る。 主
○高齢者との接し方で大切なことを知ろう。		パワーポイント・Ipad	・高齢者の体験グッズを使って、高齢者の疑似体験をする。 深 ・思いやりの心について学習する。 主 ・高齢者と接する上で、大切なことについて話し合い、まとめる。 対
○制作活動に取り組もう。		筆記用具・その他制作活動に必要な物	・清風園の生活に必要なものについて高齢者に対してアンケートを取り、集計した中で制作物を決めてグループに分かれて制作する。 主・深 （事前にアンケート調査を実施。3グループに分かれて活動）
○まとめをしよう。		これまで学習で用いた物等	・グループごとに完成した制作物を発表する。 対 ・本単元での感想をワークシートにまとめ発表する。 主・対・深 （発表内容は、生徒の実態に応じた内容にする。） ・高齢者との関わりの中で気づいたり感じたりした「思いやりの心」について意見交換をして単元のまとめをする。 主・対・深

10月・1～3週	単元名	都きり祭 WEEK	
1 学年 2 学年 3 学年	単元の目標	○ 都きり祭 WEEK の準備や参加を通して、自分のこれまでの学習を振り返ったり友達を認めたりする。「学びに向かう力、人間性」 ○ カレンダーで予定を管理したり、招待状やポスターで集客をしたりすることができる。「知識及び技能」 ○ 家族や地域に都きり祭 WEEK について発信するためにどうしたらよいか考え、発信することができる。(I 課程)「思考力・表現力・判断力」 ○ 作品作りの中で季節や自分の好きな物を表現し、楽しんで作品を作ることができる。(Ⅱ・Ⅲ課程)「思考力・表現力・判断力」	
学習内容		教材・教具	学習活動内容 指導の手立て(主体的・対話的・学びを深める)
○ 都きり祭 WEEK について知ろう。		カレンダー 過去の動画や写真	・都きり祭 WEEK の日時や内容を知る。 主 ・過去の内容を写真や動画で振り返る。 主 ・実施の日までの予定を立て、見通しをもつ。 主
○ ポスターや招待状を作ろう。		画用紙やタブレット等、ポスターや招待状作成に必要な物	・自分達の作品や販売などの予定を確認する。 主 ・ポスターや招待状の意味や役割を知る。 主 ・PR したい内容や相手を話し合い、ポスターや招待状を作る。 主 ・都きり祭 WEEK や学校についてより地域の人に知ってもらうには、どうしたらよいか考える。(I 課程) 主・対
○ ポスターや招待状を配ったり送ったりして、都きり祭 WEEK について発信しよう。		iPad や必要に応じて学校 HP など	・関係機関や地域にポスターを配布し、掲示してもらう。 対 ・家庭や関係機関に招待状を配布したり持参したりする。 対
○ 作品作り(Ⅱ・Ⅲ課程)		画用紙等、作品に必要な物	・季節や自分の好きな物などを作品にして表現する。 主
○ 都きり祭 WEEK に参加する。		販売に必要な物	・販売や作品展示の準備に取り組む。 主 ・自分の役割がわかり、リハーサルをするなどして役割を果たす準備をする。 主・深 ・呼び込みや会計など自分の役割を果たすことができる。 主
○ 都きり祭 WEEK を振り返る。		当日の写真や動画	・自分や周囲の友達の役割を果たす姿を認め、賞賛しあう。 主・対

[illegible]

11月1・2週	単元名	後期進路体験実習事後学習（報告会）
第1、2、3学年	単元の目標	○ お互いの頑張りを認め合い、進路や働くことへの関心をもち、今後の作業学習への意欲を高めることができる。 「学びに向かう力、人間性」 ○ 他班の活動の様子を知ったり、自分の実習への取り組みを振り返ったりすることができる。「知識及び技能」 ○ 今後の進路や就労に向けた課題について考えることができる。「思考力・表現力・判断力」
学習内容		教材・教具 学習活動内容 指導の手立て（主体的・対話的・学びを深める）
○ 実習報告をしよう ・自分の班の取り組みを発表しよう ・他班の発表を聞こう ○ 修了証書を受け取ろう ○ 学校長の話进行聞こう ○ 解散式をしよう ・修了証書を受け取ろう （代表で修了証書を受け取った生徒以外） ・今後の作業学習や学校生活に向けて、チーフの先生からコメントをもらおう		動画上映のためのパソコンまたはiPad 修了証書 ・それぞれの班の報告会用動画を見て、他班の活動の様子を知ることができるようにする。深 ・代表で発表する生徒については、一週間、頑張ったことやできるようになったこと、今後の課題などを大きな声で分かりやすく報告をする。主・対 ・代表で修了証書を受け取る生徒は、前方に1列に並び、堂々とした態度で修了証書を受け取る。主 ・代表で修了証書を受け取る生徒以外の生徒については、大きな拍手をしてねぎらう。主・対 ・校長先生の話进行聞いて自分の実習への取り組みを振り返り、今後の進路や就労に向けた課題に対する意識を深める。深 ・各班に分かれて修了証書を受け取り、お互いの頑張りを認め合う。対 ・チーフの先生の話进行聞き、今後の作業学習や学校生活への意欲を高める。主

11月3・4週	単元名	秋の遠足に行こう	
1学年 2学年 3学年	単元の目標	○ 秋の遠足の日程や目的を知り、多くの友達と触れ合うことに興味・関心を持って取り組むことができる。 「学びに向かう力、人性」 ○ 集団活動を通して必要なルールやマナーを守ることができる。 「知識及び技能」 ○ 遠足後のまとめを通して、自分の意思や考えを発表することができる。 「思考力・表現力・判断力」	
学習内容		教材・教具	学習活動内容 指導の手立て(主体的・対話的・学びを深める)
1 秋の遠足について知ろう (1) 秋の遠足の目的を知る。 (2) 期日や場所、交通手段について知る。 (3) 参加人数や参加者を知る。 (4) 去年の秋の遠足の様子を知る。		パワーポイント資料 動画 顔写真	1 秋の遠足について知ろう ・秋の遠足の目的を知り、楽しみにしている気持ちを表現したりする。 主・対 ・カレンダーに印をつけて、あと何日かを数える。 主 ・友達や先生の顔写真を使って、一緒に行く人を確認する。 深 ・ビデオを観て去年の秋の遠足の様子を知る。 深
2 活動内容について知ろう (1) 秋の遠足の日程について知る。 (2) レクリエーションについて知る。 (3) レクリエーションでの決まりをについて知る。		パワーポイント資料 ビデオ動画等 顔写真 タブレット	2 活動内容について知ろう ・秋の遠足の日程を知り、活動内容を理解する。 主 ・友達や先生の顔写真を使って、同じレクリエーションの人を確認する。 深 ・去年の動画や写真を使って様子を確認する。 深 ・活動場所での過ごし方や交通ルールについて資料を見て確認する。 深・対
1 秋の遠足を振り返ろう (1) 写真や動画を見て、思い出し振り返る。 (2) 遠足の感想文や絵を書いて、まとめをする。 (3) まとめたものを発表する。		パワーポイント資料 動画 写真 ワークシート	1 秋の遠足を振り返ろう ・写真や動画を見て、楽しかったことや思い出に残っていることを振り返る。 主・対 ・動画を見た後に、周りの友達と思い出を話し合う。 対 ・感想文や絵を描いてまとめをする。 主・深 ・ワークシートをもとに、思い出発表をする。 対・深

12月・1・2週	単元名	冬のくらし	
2学年	単元の目標	○冬の季節感を感じとり、気候の変化を自分達の生活と関連づけて考える力を身につける。「学びに向かう力、人間性」 ○年末年始の行事や風習を知り、実際に体験することで、日本の伝統文化に親しむ。「知識及び技能」 ○体験した思い出を発表し、聞いたことを自らの生活に取り入れ実際に取り組むことができる。「思考力・表現力・判断力」	
学習内容		教材・教具	学習活動内容 指導の手立て(主体的・対話的・学びを深める)
○学年年始の行事を知ろう。 ・お楽しみ会、大掃除、年賀状を調べて発表しよう。 ・年賀状・大掃除について体験しよう。		タブレット端末 プリンター 年賀状はがき ほうき ちりとり 雑巾 バケツ 家庭用清掃洗剤 のり 両面テープ 模造紙 ペン シール 色紙 マスキングテープ はさみ シュートレン	・学年を3グループ(クリスマス班 大掃除班 年賀状班)に分け、年末年始の行事を調べて発表する。 主 ① タブレット端末で各行事が始まった歴史を各グループで協力して調べる。 主・対 ② 各行事の取り組み方や楽しみ方などについてタブレット端末を使って調べる。 主・対 ③ タブレット端末を使って調べたことを、プリントに整理する。 主 ④ 整理した内容をわかりやすくまとめ発表する。 対・深 ・年賀状作成に取り組む。 主 ① 年賀状について調べ学習の内容を参考にしながら作成する。 主 ② 年賀状にオリジナリティーが含まれる作品に仕上げる。 深 ③ それぞれ各自の年賀状を持ち寄り、披露して感想を発表する。 対・深 ・大掃除について取り組む。 主 ① 普段の清掃について、学校と家庭に分けてどのようなことに取り組んでいるか話し合って整理する。 対 ② 学校で大掃除に取り組む際、必要な清掃用具と清掃箇所、清掃分担を話し合う。 主・対 ③ グループごとに協力して大清掃に取り組む。 深 ・クリスマスについて調べた内容を取り入れながら制作する。 主 ① クリスマスツリーをグループで工夫した作品に仕上げる。 深 ② それぞれ各班のクリスマスツリーについて感想を発表する。 対・深 ③ クリスマスの楽しみ方や雰囲気を体験する。 深
○年末のイベント(お楽しみ会)を計画しよう。 ・クリスマスツリーを作ろう。 ・お楽しみ会を体験しよう。			

1月1週	単元名	3学期の計画	
1学年 2学年 3学年	単元の目標	○ 冬休みの終わりを確認し、3学期の始まりを意識する。 「学びに向かう力、人間性」 ○ 冬休みの思い出を発表する。 「知識及び技能」 ○ 正月の遊びを通して日本の伝統的な遊びを知り、友達と仲良く遊ぶことができる。 「思考力・表現力・判断力」	
学習内容		教材・教具	学習活動内容 指導の手立て(主体的・対話的・学びを深める)
1 冬休みを振り返ろう		冬休みの課題 写真 年賀状	(1) 冬休みを思い出そう ○冬休みの宿題の作品・年賀状を通して、冬休みに行ったことを話したりして振り返る。 主 対 深
2 3学期の目標を立てよう		画用紙 マジック	(1) 目標を立てよう ○今年度最後の学期である事、そして新しい年である事を意識して、がんばりたいことを考え、目標を立てる。 主 ○考えた目標を発表する。 主 (2) 教室に目標を掲示しよう ○目標を紙に書いたりして教室や廊下に掲示する。 主
3 正月の遊び			(1) 正月の遊び(凧揚げ、こま回し、はねつき、すごろく、福笑いなど)を知りいっしょに友達と遊ぶ。

1 2 月・3 週	単元名	2 学期のまとめをしよう	
1 学年 2 学年 3 学年	単元の目標	○ 2 学期の思い出や目標を振り返り、自分自身の成長を知る。 「学びに向かう力、人間性」 ○ 冬休み中の生活について話し合い、見通しをもって生活できるように冬休みの計画を立てる。 「知識及び技能」 ○ 2 学期の反省や冬休みの計画について考えたことを発表する。 「思考力・表現力・判断力」	
学習内容	教材・教具	学習活動内容 指導の手立て(主体的・対話的・学びを深める)	
2 学期のまとめ	パソコン、タブレット等 パワーポイントによる資料 清掃用具	(1) 2 学期の思い出を振り返ろう ① 思い出のビデオやアルバムを見て 2 学期の活動を振り返る。主 ② 写真や作品を整理し、2 学期の行事や学習を振り返る。主・深 (2) 身の回りの整理をしよう ① 学期の終わりに片付けや整理することを知る。深 ② 身の回りのものの片付けや整理をする。主 ③ 冬休みに持って帰る作品や学習帳の整理をする。主・深 (3) 教室や特別教室の掃除をしよう ① 学期の終わりに自分たちで使った教室や特別教室などを掃除することを知る。主 ② 教室や特別教室などを教師と一緒に掃除する。主・対 ③ 教室や特別教室などを自分たちで掃除する。主・対	
冬休みの計画	カレンダー 冬休みのしおり	(1) 冬休みの過ごし方 ① 2 学期の目標について教師と共に振り返る。主・深 ② 年の変わる休みに入ることを確認する。主・深 ③ 年末年始の過ごし方のよい例・悪い例を見てどうすれば良いか考える。主・対 ④ 家庭での過ごし方や家庭での自分の役割、どんな手伝いができるか考え発表する。主・対 (2) 冬休みの計画を立てよう ① カレンダーなどで冬休みの行事を確認する。主 ② カレンダーなどに冬休みの行事を書き込む。主・深 ③ 冬休みにしたいこと・行きたいところを考え、発表する。主・対 ④ 冬休み期間のスケジュールを作る。主	

1月3週	単元名	生徒会役員選挙について知ろう	
1学年 2学年 3学年	単元の目標	○ 生徒会の仕組みや活動を知り、生徒会役員選挙への意欲を高めることができる。 「学びに向かう力、人間性」 ○ 選挙の方法を知り、生徒会役員の公平な選び方を学ぶことができる。 「知識及び技能」 ○ 生徒会役員選挙の候補者の演説を聴き、投票者を考えることができる。 「思考力・表現力・判断力」	
学習内容		教材・教具	学習活動内容 指導の手立て(主体的・対話的・学びを深める)
1 生徒会役員選挙について知ろう (1) 生徒会役員選挙の目的について知る。 (2) 生徒会の仕組みや活動について知る。 (3) 生徒会役員選挙の立候補者を確認する。 (4) 去年の生徒会役員選挙の動画や写真を見て、振り返る。		パワーポイント資料 動画 顔写真 投票用紙	1 生徒会役員選挙について知ろう ・生徒会役員選挙の目的を知り、生徒会の仕組みや活動を理解する。 深 ・立候補者の友達の顔写真を使って、立候補者を確認する。 深 ・動画を観て去年の生徒会役員選挙の様子を知る。 深
2 選挙の方法について知ろう (1) 生徒会役員選挙の日程について知る。 (2) 生徒会役員選挙の立候補者の演説を聴く。 (3) 演説を聴き、候補者を考える。 (4) 模擬投票を行う。		パワーポイント資料 投票用紙	2 選挙の方法について知ろう ・選挙の日程を知り、活動内容を理解する。 主 ・立候補者の演説を聴き、自分で候補者を考える。 主 ・投票用紙に投票したい人を書き、投票するまでの模擬練習を行う。 対・深

1月・4週	単元名	「給食感謝週間」	
1学年 2学年 3学年	単元の目標	○ 給食や給食を支えてくださっている方々へ感謝の気持ちを持ち、伝えようとするができる。「学びに向かう力、人間性」 ○ 給食に関わる様々な職種の方々やその方々の仕事や思いについて知る。「知識及び技能」 ○ 給食への思いや感謝を手紙や作品で表現することができる「思考力・表現力・判断力」	
学習内容		教材・教具	学習活動内容 指導の手立て(主体的・対話的・学びを深める)
○給食感謝週間について知る。		カレンダー	・給食感謝週間の日時や意義について知る。 主
○給食について考える。		日頃の給食の様子の写真や 動画 給食カード	・日頃の給食の様子を写真や動画などから振り返り、好きなメニューを挙げたり、給食にまつわるエピソードなどを挙げたりして、給食が楽しく、健やかな生活を支えていることを確認する。 主・対
○給食を支えてくださっている方について知る。		栄養士の先生作成の PP	・給食がどのように出来たり、どのように片付けられたり想像したり、調べたりする。 深
○給食を支えてくださっている方にお礼の手紙を書いたりや作品を作ったりする。		手紙 作品製作用の画用紙等	・日頃の給食の様子を振り返りながら、手紙や作品を作る。 主 ・書いた手紙や、作品を栄養士の先生や調理員さんに届けたり、作品を掲示したりする。 主・対

2月1・2週	単元名	「いままでと、これから」	
2学年	単元の目標	○ 2年生での学習や取り組みを振り返りながら、自分の将来やこれからを考えることができる。「学びに向かう力、人間性」 ○ 自分や友達について言葉で表現したり、伝えたりすることができる。「知識及び技能」 ○ 自分の気持ちを考えたり、将来をイメージしたりして、日々の自分の行動を改善することができる。「思考力・表現力・判断力」	
学習内容		教材・教具	学習活動内容 指導の手立て(主体的・対話的・学びを深める)
○ 今までの自分を振り返ろう ・自分の中の鬼退治 ・福の神を呼ぼう		節分グッズ ワークシート(自分の変えたところ・退治したい鬼) ワークシート(自分の幸せ・良いところ・福の神)	・節分の機会に自分の変えたいところを考える。 主 ・自分の中の幸せな気持ちや感覚、自分のいいところを考える。 主 ・ワークシートの発表を通して、友達の幸せな気持ちや感覚、自分の良いと思っているところを知り、多様性を感じたり、考えたりする。 深
○ 憧れの人を探そう ・憧れの人を探す。 ・友達の良いところを考え、お互いに伝え合う。 ・20歳の自分を考える。		ワークシート	・上級生や周囲の大人の中で、なりたい自分をイメージして、メモに書く。 主 ・友達の良いところを考え、お互いに伝え合う中で、お互いを認め合うことを確認する。 対 ・20歳の自分をイメージして、メモに書く。 主 ・なりたい自分において、これから自分ができていることを書き出す。 主
○ 自分の花を咲かそう。 ・なりたい自分になったか日々振り返る機会を作る。(花を貼る) ・日々、友達のよいところや努力を称賛し、花をプレゼントする。		画用紙 花(シールなど)	・なりたい自分に近づく行動ができたら、花を貼っていく。 主 ・友達のよいところや努力を称賛し、花をプレゼントする。 対 ・ 深

2月 3・4週	単元名	卒業生を送る会に向けて(準備)(1・2年)	
1 学年 2 学年	単元の目標	○ 卒業生送る会に関心をもち、卒業生と過ごした日々を思い出す。「学びに向かう力、人間性」 ○ 卒業生を送る会を理解し、期日を知る。自分のできる準備内容を知り協力して取り組む。「知識及び技能」 ○ 卒業生を送る会の計画や準備を通じて、自分たちの進路にむけ関連づけて考える力を身につける。「思考力・表現力・判断力」	
学習内容		教材・教具	学習活動内容 指導の手立て(主体的・対話的・学びを深める)
○ 卒業生を送る会のことについて知ってみよう。 ・ 卒業生お別れ会について調べて発表しよう。		タブレット端末 プリンター	・卒業生を送る会について、どんな事をするか調べて発表する。 主 ① タブレット端末等で、卒業生を送る会では、どのような事をするのか、協力して調べる。 主・対 ② 卒業生送る会では何が出来るか取り組む際、工夫することを調べる。 主対 タブレット端末等で調べたことを、プリントにわかりやすく整理する。 主 ③ 整理した内容をわかりやすくまとめ発表する。 深
○ 卒業生を送る会を準備しよう。 ・ 卒業生へのプレゼント作りをしよう。 ・ 卒業生へ贈る歌を歌ってみよう。		のり 両面テープ 画用紙 ペン シール はさみ	・卒業生を送る会について調べた内容を取り入れながら計画・準備する。 主 ① 卒業式を送る会の期日を知る。 主 ② 自分のできる準備内容を知り、協力して取り組む。 主・対 ③ 卒業生へのプレゼントづくりを協力して、分担しながら作る。 主・対 ④ 卒業生を祝う気持ちで心を込めて歌の練習を行う。 主・対 ⑤ 自分たちの歌を録音して鑑賞し、感想を発表し合う。 対・深

3月1週	単元名	卒業生を送る会実施(1・2年)	
1 学年 2 学年	単元の目標	○ 卒業生送る会に関心をもち、卒業生と過ごした日々を思い出す。「学びに向かう力、人間性」 ○ 卒業生を送る会を理解し、期日を知る。自分のできる準備内容を知り協力して取り組む。「知識及び技能」 ○ 卒業生を送る会の計画や準備を通じて、自分たちの進路にむけ関連づけて考える力を身につける。「思考力・表現力・判断力」	
学習内容		教材・教具	学習活動内容 指導の手立て(主体的・対話的・学びを深める)
○ 卒業生を送る会を準備しよう。 ・ 卒業生へのプレゼントを完成しよう。 ・ 卒業会場の飾り付けをしよう。 ○ 卒業生を送る会に参加しよう。 ・ 卒業生へプレゼントを渡そう。 ・ 卒業生へ贈る歌をみんなで聴いてみよう。		シール はさみ りぼん ビニール袋 色紙 タブレット端末 モニター 紙テープ テープ	・卒業生を送る会の準備をする。主 ① プレゼントのラッピングをする。主 ② 会場の飾り付けをみんなで協力して行う。主・対 ③ 完成した飾り付けについて感想を発表する。対・深 ・卒業生を送る会に参加する。主 ☐ ① プログラムに従って、楽しくみんなで協力して会を進める。主・対 ② 卒業生に感謝を込めてプレゼントをわたす。主 ③ 卒業生へ贈る歌をみんなでさく。主・対 ④ 楽しい雰囲気の中にもルールや決まりのあることを知る。深 ⑤ 卒業会を送る会に参加した感想・意見を話す。対・深

3月2週	単元名	1年間のまとめ②	
1学年 2学年	単元の目標	○ 進級することに希望をもつとともに、今後の学習及び生活への意欲をもつことができる「学びに向かう力、人間性」 ○ 現学年を振り返るとともに次学年のことを知る。「知識及び技能」 ○ 次学年でがんばりたいことや楽しみにしていることについて考えたことを発表することができる。 「思考力・表現力・判断力」	
学習内容		教材・教具	学習活動内容 指導の手立て(主体的・対話的・学びを深める)
○ 現学年を振り返り、次の学年を知ろう。 ・各教科で担当してもらった先生を振り返ろう。 ・次学年や行事を知ろう。 ・次学年で頑張りたいことや楽しみにしていることを考え、発表しよう。		・写真	・各教科で担当してもらった先生を思い出す。主 ・教師と一緒に写真を使って名前と顔を一致させながら確認する。主・対 ・次は何年生になるか、どんな行事があるのかを考え、教師と一緒に確認する。 主・対 ・生徒の実態に応じた方法で発表する。対
○ 身の回りの整理整頓をしよう。 ・身の回りの物を片付けよう。 ・学校に置いておくものと家に持って帰るものを整理しよう。 ・教室を整理し、隅々まで掃除しよう。 ・次の学年への準備をしよう。		・整理できるケース等 ・ゴミ箱 ・掃除道具	・必要な物、不必要な物を確認しながら、自分の物を整理する。(難しい生徒は教師と一緒に) 主・対・深 ・掃除の仕方を確認し、教室を掃除する。主・深
○ クラスの茶話会をしよう ・アルバムや動画を見ながら、茶話会を行おう。		・アルバム ・パソコンまたはタブレット端末 ・モニター ・お菓子や飲み物等	・茶話会を行い、みんなで楽しむ。主・対 ・生徒の実態に応じてお菓子や飲み物を準備する。

R4 都城きりしま支援学校 中学部 生活単元学習年間指導計画（3年）

月	行事	月・週	単元	主な内容
4	始業式 入学式 参観日・PTA総会	4月2～3週	進級・入学、学級づくり	新しい学級を知る。学校や学級での過ごし方を知る。学級目標・係を決める。
		4月4週	学年菜園	季節の野菜を植える。除草作業をする。観察をする。
5	運動会	5月1～4週	運動会	期日や日程を知る。ポスターや案内状を作る。運動会の準備をする・振り返りをする。
6	進路体験実習 進路体験事後報告会	6月1週	夏の暮らし	梅雨の過ごし方を知る。汗の処理の仕方を知る。
		6月2・3週	進路体験実習（事前学習・参加）	進路体験実習について知る。実習の目標を立てる。進路体験実習に参加する。
		6月4週	進路体験実習（事後学習）	動画や写真を見て、進路体験実習を振り返る。
7	1学期終業式	7月1・2週	修学旅行に向けて	校外学習、食事のマナー、入浴の仕方、公共交通機関の利用の仕方
		7月3週	1学期のまとめ	1学期の振り返りをする。教室等の掃除をする。夏休みの計画を立てる。
9	2学期始業式 修学旅行（3年）	9月1週	2学期の計画	2学期の行事を確認する。2学期の目標を考える。2学期の係を決める。
		9月2～4週	修学旅行（3年）	修学旅行の事前学習（見学地・ルール・係決め・準備など）をする。事後学習をする。
10	都きりWeek 進路体験実習事前学習	10月1～3週	都きりWeek	都きり祭に参加する。都きり祭の振り返りをする。
		10月4週	進路体験実習（事前学習）	前期の実習を振り返る。実習の目標を立てる。
11	進路体験実習、事後報告会 参観日 秋の遠足	11月1・2週	進路体験実習（参加・事後学習）	進路体験実習に参加する。進路体験実習を振り返る。
		11月3・4週	秋の遠足	秋の遠足について知る。友達と仲よくする方法を学ぶ。遠足を振り返る。
12	2学期終業式	12月1・2週	冬の暮らし	冬の過ごし方について学ぶ。防寒対策について学ぶ。
		12月3週	2学期のまとめ	2学期の振り返りをする。教室等の掃除をする。冬休みの計画を立てる。
1	3学期始業式 参観日 給食感謝週間	1月2週	3学期の計画	3学期の行事を確認する。3学期の目標を考える。3学期の係を決める。
		1月3週	生徒会役員選挙	生徒会役員について知る。投票の仕方を学び、投票する人を考え投票する。
		1月4週	給食感謝週間	給食ができるまでの話を聞く。給食に関わる人たちへ感謝の気持ちを持ち、お礼の作品を作る。
2	入学者選考（3年） 学年末清掃週間	2月1・2週	入学者選考に向けて	面接練習、高等部で必要な力について知る。
		2月3・4週	1年間のまとめ	アルバムの整理をする。1年間の振り返りをする。
3	卒業式 修了式	3月1週	卒業生を送る会実施	お別れ会の準備をする。お別れ会に参加する。
		3月2・3週	卒業に向けて（3年）	卒業の思い出をつくる。お世話になった人へ感謝を伝える。

4月2・3週	単元名	入学(1年)進級(2・3年)・学級作り	
1学年 2学年 3学年	単元の目標	○ 入学や進級の意味を理解し、所属学年としての自覚をもつことができる。「学びに向かう力、人間性」 ○ 新しい学級や校内の施設に興味・関心をもち、施設の利用の仕方或使用目的を知る。「知識及び技能」 ○ 新しい学級に慣れ、自分の意思や考えを主張することができる。「思考力・表現力・判断力」	
学習内容		教材・教具	学習活動内容 指導の手立て(主体的・対話的・深める)
○ 新しい学級を知ろう - 自己紹介をしよう - 先生や友達の名前を覚えよう - 自分の机、靴箱、ロッカー、給食の場所を覚えよう - 教科書等に記名しよう		自己紹介に必要なもの ネームペン 顔写真 名前シール	・教師と一緒に、一人でなど、自分の得意な方法を選んで自己紹介をする。 主 ・①友達や教師の顔を覚える、②友達や教師の名前を言える、③友達や教師の名前を書ける 実態に合わせて学習を深める。 深 ・教師と一緒に自分の使う靴箱やロッカー、給食の席などを確認し、自分で行くことができるように練習をする。 主 ・①名前シールを貼る、②名前ラベルに記名して貼る、③直接記名する 実態に合わせて準備する。 ・学校探検では、生徒同士で話し合いながら道筋を考えたり、使用する教室について教え合ったりすることで校内の理解を深める。 対・深 ・学級や学年で「みんなで仲良くなるためのゲーム」について話し合いをする。 対 ・ゲームのルールを考え、楽しくゲームをすることができるようにする。 深
○ 友達や先生と仲良くなろう - 学校探検をしよう - ゲームをしよう		校内の地図、写真 シール	
○ 学校や学級での過ごし方を知ろう - 一日の過ごし方を知ろう 1年間の行事を確認しよう		時間割の台紙 年間予定表	・一日の生活の流れを文字カードや写真カード、スライドを見て確認する。 ・一年間の行事を文字カードや写真カード、スライドを見て確認する。

4月・4週	単元名	学年菜園	
1 学年 2 学年 3 学年	単元の目標	○ 季節に適した野菜を調べ、自分たちで植えることができる。 「学びに向かう力、人間性」 ○ 発芽、開花、結実といった一連の成長の様子を言葉や絵で表現し、伝えることができる。「知識及び技能」 ○ 菜園の整地・苗植え・成長の見守り・除草・追肥・収穫など、今後の見通しを考え、積極的に行動する。 「思考力・表現力・判断力」	
学習内容		教材・教具	学習活動内容 指導の手立て(主体的・対話的・学びを深める)
各学年での学習 ○1年間の活動内容を知ろう。		写真 プレゼン TVモニター パソコン HDMI ipad	- 写真やプレゼンの映像で、一年間の活動の話を聞く。 - 菜園づくりに必要な道具を考える。 主 - 道具を写真や映像で見て、名称を読んだり答えたりする。 - 自分が経験したことや見聞きしたことを 簡単な言葉で話したり書いたりする。 対 深 - 植えたい野菜をipadでインターネット検索し、季節に適した野菜を調べ発表する。 主 対
○サツマイモの育て方を知ろう。		育て方の資料プリント	『サツマイモ』について知っていることを発表する。 主 対 - どんなふうに料理した物を食べたことがあるか思い出してみる。 主 深 - サツマイモの育て方について経験したことや見聞きしたことを 簡単な言葉で話したり書いたりする。 対 深 - サツマイモを育てる計画を立てる。 主 対 深

5月1週	単元名	運動会 ①「運動会を成功させよう」	
1学年 2学年 3学年	単元の目標	○ 昨年の運動会を振り返り、今年の運動会に向けて意欲的に取り組むことができる。「学びに向かう力、人間性」 ○ 運動会について知り、期日、自分や友達の団の色がわかる。「知識及び技能」 ○ 運動会で自分が出場する種目や、希望する係を発表する。「思考力・表現力・判断力」	
学習内容		教材・教具	学習活動内容 指導の手立て(主体的・対話的・学びを深める)
○運動会を振り返ろう		写真やビデオ パソコンやモニター	・昨年の運動会の写真や動画を見る。 主 ・昨年の運動会の参加種目や係等覚えていることを発表する。 主
○運動会について知ろう ・期日や日程を知ろう ・自分や友達の団の色を知ろう ・自分の出場種目を知ろう		カレンダー、絵カードや写真 ○シール	・運動会の期日や曜日が言える。または、教師と一緒に運動会の写真やマークをカレンダーに貼り、期日を知る。 深 ・教師と一緒に自分や友達の写真に赤や白のシールを貼り、団の色を知る。 ・おおまかな練習日程を知る。
○運動会の係を決めよう		写真、具体物(例:お手玉等)	・写真や具体物、絵を見て自分の出場種目を知る。 主 ・自分のしたい係を考え、みんなで係を決める。 主・対 ・みんなの前で自分の出場種目や係などについて頑張りたいことを発表する。 主・深

5月2週	単元名	運動会②「運動会を成功させよう」	
全学年	単元の目標	○運動会の練習を通して集団の決まりや、協力し合うことの大切さに関心を持つ。「学びに向かう力、人間性」 ○運動会に必要な道具を考え、準備することができる。「知識及び技能」 ○校内掲示用のポスターや、保護者への招待状を作成する。「思考力・表現力・判断力」	
学習内容		教材・教具	学習活動内容 指導の手立て(主体的・対話的・学びを深める)
○運動会の練習での行動の決まりや、安全面の注意を知ろう。		寸劇または紙芝居	・運動会での良い行動・悪い行動の例を見て、○か×かを話し合う。 対 ・集団で行動する際の決まりや安全について気を付けることを知る。 深
○運動会の練習をしよう ・団技や徒走の内容を知ろう ・団技や徒走のルールやきまりを知ろう ・練習しよう		ビデオや写真	・模範演技を見て団技の内容や徒走の要領を知る。 ・教師の説明を聞き、集団でのルールや決まりを考え、していいこと・いけないことを発表する。 主・深 ・集団でのルールや決まりを守り練習に取り組む。 主・深
○運動会の準備をしよう		写真、絵カード 製作材料	・写真や絵などを見て、教師と一緒に運動会に必要な道具を考える。 主 ・教師や友達と協力して、団の装飾や応援グッズ、団技で使う道具を作り、運動会への気持ちを高める。 対・深
○ポスターや招待状を作ろう		色画用紙、絵の具等の画材 ぬりえ、のり、はさみ	・期日、場所、出場種目や出番を正しく覚えることができる 主 ・自分なりのイメージや表現でポスターを作る。 ・応援に来てくれる家族のことを思いながら、わかりやすく書くことができる。 対・深

5月・3週	単元名	運動会③「運動会を成功させよう」	
1 学年 2 学年 3 学年	単元の目標	○ 運動会本番に向けて、1 つの行事を成功させようと一生懸命取り組もうとする。「学びに向かう力、人間性」 ○ 運動会を成功させるためにはどんなことが必要かを考え、友達と協力することができる。「知識及び技能」 ○ 競技や応援、係など自分の役割を理解し、これまでの練習の成果を発揮する場として気持ちを高めることができる。 「思考力・表現力・判断力」	
学習内容		教材・教具	学習活動内容 指導の手立て(主体的・対話的・学びを深める)
○ 本番で頑張りたいこと(目標)を決めよう ・ 運動会当日について確認しよう ・ 自分の役割を確認しよう ・ 目標を決めよう ・ 自分の目標を発表したり、友達の目標を聞いたりしよう		目標を書く紙 ペン	・運動会はいつか、当日に必要なものは何かを確認する。 ・自分はどんな競技に出るのか、何団に属しているか、係は何かを確認する。 深 ・一番頑張りたいことを決めて書く。 主 ・友達の目標を聞いて、お互いに運動会を成功させようとする気持ちを高める。 対・深
○ 応援の練習をしよう ・ どんな応援の仕方があるか確認しよう ・ 応援練習をしよう		応援グッズ	・運動会が盛り上がるための応援をするためには、どうしたらよいか、どんなことを頑張ったらよいかを話し合う。 対 ・団長やリーダーに従って、しっかり応援の種類やリズムなどを覚える。 ・しっかり声を出して応援練習をして、当日に向けて雰囲気を盛り上げる。

5月・4週	単元名	運動会④「運動会の振り返りをしよう」	
1 学年 2 学年 3 学年	単元の目標	○ 運動会を振り返り、来年の運動会に向けて新たな目標を持つことができる。「学びに向かう力、人間性」 ○ ビデオや写真で自分の行動を振り返ることによって、自分の姿を客観的に見る力を身に付ける。「知識及び技能」 ○ 運動会を振り返り、感想や反省を発表する。「思考力・表現力・判断力」	
学習内容		教材・教具	学習活動内容 指導の手立て(主体的・対話的・学びを深める)
○ 運動会を思い出そう - 運動会のビデオや写真を見て思い出そう。 - 運動会で楽しかったことや頑張ったことを発表しよう。 - 友達の発表を聞いて、よかったところをたたえよう。 - 来年の運動会はどうなことを頑張りたいか考えよう。		ビデオや写真 パソコンやモニター	- 運動会を映像や写真で振り返る。 - 自分が一番楽しかったこと、頑張ったことを発表する。主・深 - 友達の発表を聞いて、友達の頑張りを認め合い、自信を持てるようにする。対 - 来年の目標を考えさせ、今年よりもステップアップできるようにする。深
○ 運動会の思い出をまとめよう - 自分の思い出に残った写真を選んで、そのことについて感想を書こう。 - 運動会での反省点を話し合う。 - 競技の結果や優勝した団を表などにまとめる。 - 思い出を作文にしたり、絵に描いたりして発表する。 - まとめたものを掲示する。		作文用紙 まとめる紙 画用紙 絵の具やクレパスなど	- 自分で書くことが難しい生徒には文章表現の仕方をいくつか示し、そこから選んで自分の気持ちに合う表現を選ばせ、文章化していく。主・深 - 反省点を出し合い、それに対する解決策も考えさせ、次につながるようにする。対・深 - まとめる際には、写真を貼ったり絵を描いたりして分かりやすくなるように工夫する。

6月・1週	単元名	梅雨の暮らし	
1 学年 2 学年 3 学年	単元の目標	○ 梅雨の季節の特徴に気づき、天気や気候の変化に関心をもつことができる。 「学びに向かう力、人間性」 ○ 梅雨の時期に必要な道具や適切な過ごし方への知識を深める。 「知識及び技能」 ○ 梅雨の時期に関することについて知っていることや話し合ったことなどを発表することができる。 「思考力・表現力・判断力」	
学習内容		教材・教具	学習活動内容 指導の手立て(主体的・対話的・学びを深める)
○ 梅雨について知ろう。 ・梅雨の時期は雨の日が多いことを知ろう。 ○ 梅雨の時期の過ごし方を知ろう。 ・雨の日の特徴を考え、発表しよう。 ・雨の日の過ごし方について知ろう。 ・快適な過ごし方について知ろう。 ○ 雨具の適切な扱い方を知ろう。 ・どのような雨具があるかを知ろう。 ・雨具を使用する際に、気を付けなければならないことを知ろう。		・降水量の表 ・タブレット端末 ・カッパ ・雨靴 ・傘(折り畳み傘)	・1 年間の降水量を教師が示し、どの部分が梅雨にあたるのか生徒同士で話し合いながら考え発表する。主・対 ・雨の日を思い出しながら、雨の日の教室の床や廊下の状態を考える。主 ・分かったことから、雨の日の過ごし方(室内での遊びとルール、廊下の歩き方)について話し合う。主・対 ・雨の日の気温や湿度についてタブレット端末を活用し、教師や友達と協力して調べる ・快適に過ごすための道具や器具を考え発表する。主・対 ・どのような雨具があるか考え発表する。主・対 ・雨具を使う際に気を付けることを生徒同士で話し合い、実際に使用して確認する。 主・対・深

[illegible]

6月4週	単元名	前期進路体験実習事後学習(報告会)	
第1、2、3学年	単元の目標	○ お互いの頑張りを認め合い、進路や働くことへの関心をもち、今後の作業学習への意欲を高めることができる。 「学びに向かう力、人間性」 ○ 他班の活動の様子を知ったり、自分の実習への取り組みを振り返ったりすることができる。「知識及び技能」 ○ 今後の進路や就労に向けた課題について考えることができる。「思考力・表現力・判断力」	
学習内容		教材・教具	学習活動内容 指導の手立て(主体的・対話的・学びを深める)
○ 実習報告をしよう ・自分の班の取り組みを発表しよう ・他班の発表を聞こう ○ 修了証書を受け取ろう ○ 学校長の話を知ろう ○ 解散式をしよう ・修了証書を受け取ろう (代表で修了証書を受け取った生徒以外) ・今後の作業学習や学校生活に向けて、チーフの先生からコメントをもらおう		動画上映のためのパソコンまたはiPad 修了証書	・それぞれの班の報告会用動画を見て、他班の活動の様子を知ることができるようにする。深 ・代表で発表する生徒については、一週間、頑張ったことやできるようになったこと、今後の課題などを大きな声で分かりやすく報告をする。主・対 ・代表で修了証書を受け取る生徒は、前方に一例に並び、堂々とした態度で修了証書を受け取る。主 ・代表で修了証書を受け取る生徒以外の生徒については、大きな拍手をしてねぎらう。主・対 ・校長先生の話を知て自分の実習への取り組みを振り返り、今後の進路や就労に向けた課題に対する意識を深める。深 ・各班に分かれて修了証書を受け取り、お互いの頑張りを認め合う。対 ・チーフの先生の話を知き、今後の作業学習や学校生活への意欲を高める。主

[illegible]

11月1・2週	単元名	後期進路体験実習事後学習（報告会）	
第1、2、3学年	単元の目標	○ お互いの頑張りを認め合い、進路や働くことへの関心をもち、今後の作業学習への意欲を高めることができる。 「学びに向かう力、人間性」 ○ 他班の活動の様子を知ったり、自分の実習への取り組みを振り返ったりすることができる。「知識及び技能」 ○ 今後の進路や就労に向けた課題について考えることができる。「思考力・表現力・判断力」	
学習内容		教材・教具	学習活動内容 指導の手立て(主体的・対話的・学びを深める)
○ 実習報告をしよう ・自分の班の取り組みを発表しよう ・他班の発表を聞こう ○ 修了証書を受け取ろう ○ 学校長の話进行聞こう ○ 解散式をしよう ・修了証書を受け取ろう (代表で修了証書を受け取った生徒以外) ・今後の作業学习や学校生活に向けて、チーフの先生からコメントをもらおう		動画上映のためのパソコンまたはiPad 修了証書	・それぞれの班の報告会用動画を見て、他班の活動の様子を知ることができるようにする。【深】 ・代表で発表する生徒については、一週間、頑張ったことやできるようになったこと、今後の課題などを大きな声で分かりやすく報告をする。【主・対】 ・代表で修了証書を受け取る生徒は、前方にー列に並び、堂々とした態度で修了証書を受け取る。【主】 ・代表で修了証書を受け取る生徒以外の生徒については、大きな拍手をしてねぎらう。【主・対】 ・校長先生の話进行聞いて自分の実習への取り組みを振り返り、今後の進路や就労に向けた課題に対する意識を深める。【深】 ・各班に分かれて修了証書を受け取り、お互いの頑張りを認め合う。【対】 ・チーフの先生の話进行聞き、今後の作業学习や学校生活への意欲を高める。【主】

7月1・2週	単元名	校外学習に行こう 修学旅行に向けて	
3学年	単元の目標	○ 校外学習を通して、体験することの楽しさや喜びを味わうとともに、修学旅行に向けての意欲を高める。 「学びに向かう力、人間性」 ○ 集団活動を伴う体験学習を通して、集団生活に必要な社会性の習得を図るとともに、社会参加に向けて必要な知識・技能を身に付ける。 「知識及び技能」 ○ 様々な施設の見学やバスや電車等の公共交通機関の利用を通して、生活経験を豊かにし、公共のマナーを身に付ける。 「思考力・表現力・判断力」	
学習内容		教材・教具	学習活動内容 指導の手立て(主体的・対話的・学びを深める)
1 校外学習に行こう (1) 日程を知ろう (2) 見学場所を確認しよう (3) バスや電車の乗り方やマナーを確認しよう (4) 食事のマナーを覚えよう		パワーポイント資料 動画 ワークシート タブレット等	1 校外学習に行こう ・校外学習の日程や見学地をパワーポイントや動画を見て確認する。主 ・パンフレットや資料を使って見学地や昼食場所を知る。主 ・カレンダーに印をつけ、あと何日かを数える。主 ・ビデオを見て今年の校外学習の様子を知る。主 ・校外学習で楽しみにしていることを話し合う。対 ・動画や写真を見ながら、見学地やバスの中、食事のルールやマナーについて知る。主 ・ロールプレイ等で正しい行動の仕方を練習する。深・対
2 修学旅行について確認しよう(詳しくは2学期で) (1) 日程を知ろう (2) 見学場所を確認しよう		パワーポイント資料 動画 ワークシート タブレット等	2 修学旅行について確認しよう(詳しくは2学期で) ・修学旅行の日程や見学地をパワーポイント資料や写真、今年の動画を見て確認する。主 ・パンフレットや資料を使って見学地や宿泊場所を知る。主 ・カレンダーに印をつけ、あと何日かを数える。主 ・ビデオを見て今年の修学旅行の様子を知る。主 ・一緒に行く先生の顔写真を使って、名前を確認する。主

7月・3週	単元名	1学期のまとめをしよう	
1 学年 2 学年 3 学年	単元の目標	○ 1学期の思い出や目標を振り返り、自分自身の成長を知る。 「学びに向かう力、人間性」 ○ 夏休み中の生活について話し合い、見通しをもって生活できるように夏休みの計画を立てる。 「知識及び技能」 ○ 1学期の反省や夏休みの計画について考えたことを発表する。 「思考力・表現力・判断力」	
学習内容	教材・教具	学習活動内容 指導の手立て(主体的・対話的・学びを深める)	
1学期のまとめ	パソコン、タブレット等 パワーポイントによる資料 清掃用具	(1) 1学期の思い出を振り返ろう ① 思い出のビデオやアルバムを見て1学期の活動を振り返る。主 ② 写真や作品を整理し、1学期の行事や学習を振り返る。主・深 (2) 身の回りの整理をしよう ① 学期の終わりに片付けや整理することを知る。深 ② 身の回りのものの片付けや整理をする。主 ③ 夏休みに持って帰る作品や学習帳の整理をする。主・深 (3) 教室や特別教室の掃除をしよう ① 学期の終わりに自分たちで使った教室や特別教室などを掃除することを知る。主 ② 教室や特別教室などを教師と一緒に掃除する。主・対 ③ 教室や特別教室などを自分たちで掃除する。主・対	
夏休みの計画	カレンダー 夏休みのしおり	(1) 夏休みの過ごし方 ① 1学期の目標について教師と共に振り返る。主・深 ② 夏休み中の過ごし方のよい例・悪い例を見てどうすれば良いか考える。主・深 ③ 家庭での過ごし方や家庭での自分の役割、どんな手伝いができるか考え発表する。主・対 (2) 夏休みの計画を立てよう ① カレンダーなどで夏休みの行事を確認する。主 ② カレンダーなどに夏休みの行事を書き込む。主・深 ③ 夏休みにしたいこと・行きたいところを考え、発表する。主・対 ④ 夏休み期間のスケジュールを作る。主	

9月1週	単元名	2学期の計画
1学年 2学年 3学年	単元の目標 2学期の計画	○ 夏休みの終わりを確認し、2学期の始まりを意識することができる。「学びに向かう力、人間性」 ○ 夏休みに体験したことを学校生活の中で生かすことができる。「知識及び技能」 ○ 夏休みの思い出を発表することができる。 ○ 2学期の行事について理解することで、2学期の学校生活に見通しをもつ。「思考力・表現力・判断力」
学習内容		教材・教具
		学習活動内容 指導の手立て(主体的・対話的・学びを深める)
夏休みを振り返ろう 夏休みの思い出を発表しよう 2学期の行事を確認しよう 2学期の目標を立てよう		夏休みの課題 (歯磨きカード等) 絵日記等 カレンダー 作品、写真 夏休みの課題、写真、絵日記 カレンダー 行事表 夏休みの課題等で教師と一緒に夏休みを振り返る。 主 対 深 夏休みはいつから始まり、いつ終わったのかをカレンダーなどで確認する。 主 楽しかったことを課題や作品、写真で思い出す。 主 夏休みの課題や絵日記、写真などを使い教師と一緒に発表する。 主 対 夏休みの課題や絵日記、写真等を使い自分で発表する。 主 深 行事がいつ頃あるのか、どんな順番で行われるのかカレンダーに印を付けるなどしながら確認し、2学期の大まかな流れを理解する。 主 (1)1学期の反省を確認しよう ○1学期の目標や学校生活を振り返りながら、教師と一緒に反省を確認する。 主 対 ○1学期の反省を参考にしながら2学期に頑張りたいことなどを考える。 主 (2)2学期の目標を考えよう ○2学期にがんばりたいことを教師と一緒に考える。 主 対 ○2学期にがんばりたいことを自分で考える。 主 ○目標を教師と一緒に、または自分で発表する。 主 (3)2学期の係を決めよう ○1学期にしていた係を思い出す。 主 ○1学期にしていた係活動を反省し、2学期の係を決める。 主 対

9月2週	単元名	修学旅行②(3年)	
3学年	単元の目標	○ 修学旅行の日程や内容を知ることにより、今後の学習に意欲を持って取り組むことができる。 「学びに向かう力、人間性」 ○ 修学旅行の学習を通して集団生活に必要な決まりを守ることができる。 「知識及び技能」 ○ 見学地の内容をまとめ、楽しみにしていることを発表することができる。 「思考力・表現力・判断力」	
学習内容		教材・教具	学習活動内容 指導の手立て(主体的・対話的・学びを深める)
1 修学旅行について知ろう (1) 修学旅行の目的を知る。 (2) 期日や見学場所、宿泊場所、交通手段(乗り物)について知る。 (3) 参加人数や参加者を知る。 (4) 去年の修学旅行の様子を知る。		パワーポイント資料 動画 ワークシート パンフレット等 顔写真 しおり	1 修学旅行について知ろう ・修学旅行の目的を知り、自分なりに目標を立てたり、楽しみにしている気持ちを表現したりする。 主 ・カレンダーに印をつけて、あと何日かを数える。 主 ・パンフレットや資料を使って見学地や宿泊場所を知る。 深 ・友達や先生の顔写真を使って、一緒に行く人を確認する。 深 ・ビデオを観て去年の修学旅行の様子を知る。 深
2 見学地について知ろう (1) 修学旅行の日程について知る。 (2) 見学地について知る。 (3) 見学地での決まりをについて知る。		修学旅行学習計画等 しおり パワーポイント資料 ビデオ動画等 ワークシート タブレット バスの座席表 文字カード 時計 地図 パンフレット等	2 見学地について知ろう ・ワークシートや写真カードを使い、見学する順番に並べ替える。 深 ・文字カードを使ったり、字を書いたりして見学地の名前を書く。 主 ・時計を使って、見学する時間について知る。 深 ・去年のビデオ等を使って様子を確認する。 深 ・パンフレットや地図帳、タブレット等を使って見学地の場所を調べる。 主 ・見学地で取り組みたい内容や特に興味をもっている場所について話し合い、発表する。 対 ・見学地での過ごし方について映像や資料を見て知る。 主

9月3週	単元名	修学旅行④(3年)	
3学年	単元の目標	○ 宿泊先での過ごし方、荷物の準備やお土産の買い方について学習し、修学旅行に意欲的に参加しようとする態度を高める。 「学びに向かう力、人間性」 ○ 望ましい食事のマナーや入浴の仕方、バスのマナーや買い物の仕方について知る。 「知識及び技能」 ○ 自分のほしい品物を選び、買い物をすることができる。 「思考力・表現力・判断力」	
学習内容		教材・教具	学習活動内容 指導の手立て(主体的・対話的・学びを深める)
1 ホテルの過ごし方について知ろう (1) 宿泊先について知る。 (2) 部屋割りについて知る。 (3) 食事のマナーについて知る。 (4) 入浴について知る。		しおり パワーポイント資料 動画 ワークシート タブレット バスの座席表 文字カード 写真カード 計算機	1 ホテルでの過ごし方について知ろう ・しおりや日程表を使って、宿泊する日と宿泊地の確認をする。主 ・宿泊地の名前を知り、ワークシートに書いたり、なぞったりする。深 ・写真カードを使って、同じ部屋に泊まる友達や先生を確認する。対 ・しおりや写真カードを使って、部屋割り表をつくる。深 ・映像やしおりを使って、食事の時の座席やマナーについて確認する。主 ・ワークシートを使って、メニューを絵で描いたり、文字で書いたりしてメニュー表を作る。深 ・資料を使って、入浴する順番について知る。主 ・映像や資料を使って浴室での注意や洗い方を知る。必要に応じて練習する。深 2 バスでの過ごし方について知ろう ・座る場所を話し合う。対 ・自分の座る場所に写真カードを貼る。深 ・バスに乗るときの決まりについて映像や資料を見て知る。主 3 荷物の準備をしよう ・実際に荷物を確認しながら足りない物はないか、名前が書いてあるかどうか確認する。主 ・着替え、タオル、財布など用途ごとに取り出しやすいように詰め替える。主 4 買い物の練習をしよう ・家庭で記入してもらったリストを見て、誰に何を買うのか確認する。主 ・簡単な模擬店を設け、商品の買い方、お金の払い方、レシートの受け取り方の練習をする。主

9月4週	単元名	修学旅行④(3年)	
3学年	単元の目標	○ 修学旅行を思い出すことでまとめやお礼の学習に意欲的に取り組むことができる。 「学びに向かう力、人間性」 ○ 修学旅行を振り返ることで、友達との思い出を振り返り、集団行動の大切さに気づく。「知識及び技能」 ○ 修学旅行の思い出を作文や絵、写真を使った壁新聞などで表現することができる。 「思考力・表現力・判断力」	
学習内容		教材・教具	学習活動内容 指導の手立て(主体的・対話的・学びを深める)
1 修学旅行のまとめをしよう。 (1) 修学旅行を振り返ろう		しおり パワーポイント資料 ビデオ動画 ワークシート はがき 封筒 便せん	1 修学旅行のまとめをしよう ・修学旅行のビデオや写真を見て振り返る。主 ・修学旅行のしおりやお土産、体験学習の作品を見て振り返る。深 ・修学旅行の思い出を、みんなの前で発表する。対 ・修学旅行の思い出を、絵や作文で表す。深 ・修学旅行の思い出をまとめて、みんなで壁新聞を作る。対 ・公共施設や乗り物を利用するときのマナーについて自己評価する。深 ・計画的に買い物ができたか、お小遣い帳を見て振り返る。深
2 お礼の手紙を書こう (1) 修学旅行でお世話になった人にお礼をしよう。			2 お礼の手紙を書こう ・お世話になった人達にお礼の手紙を書いたり、作品を作ったりする。主 ・郵便局やポストに手紙を出しに行く。主

10月・1～3週	単元名	都きり祭 WEEK	
1 学年 2 学年 3 学年	単元の目標	○ 都きり祭 WEEK の準備や参加を通して、自分のこれまでの学習を振り返ったり友達を認めたりする。「学びに向かう力、人間性」 ○ カレンダーで予定を管理したり、招待状やポスターで集客をしたりすることができる。「知識及び技能」 ○ 家族や地域に都きり祭 WEEK について発信するためにどうしたらよいか考え、発信することができる。(Ⅰ 課程)「思考力・表現力・判断力」 ○ 作品作りの中で季節や自分の好きな物を表現し、楽しんで作品を作ることができる。(Ⅱ・Ⅲ課程)「思考力・表現力・判断力」	
学習内容		教材・教具	学習活動内容 指導の手立て(主体的・対話的・学びを深める)
○ 都きり祭 WEEK について知ろう。		カレンダー 過去の動画や写真	・都きり祭 WEEK の日時や内容を知る。 主 ・過去の内容を写真や動画で振り返る。 主 ・実施の日までの予定を立て、見通しをもつ。 主
○ ポスターや招待状を作ろう。		画用紙やタブレット等、ポスターや招待状作成に必要な物	・自分達の作品や販売などの予定を確認する。 主 ・ポスターや招待状の意味や役割を知る。 主 ・PR したい内容や相手を話し合い、ポスターや招待状を作る。 主 ・都きり祭 WEEK や学校についてより地域の人に知ってもらうには、どうしたらよいか考える。(Ⅰ 課程) 主・対
○ ポスターや招待状を配ったり送ったりして、都きり祭 WEEK について発信しよう。		iPad や必要に応じて学校 HP など	・関係機関や地域にポスターを配布し、掲示してもらう。 対 ・家庭や関係機関に招待状を配布したり持参したりする。 対
○ 作品作り(Ⅱ・Ⅲ課程)		画用紙等、作品に必要な物	・季節や自分の好きな物などを作品にして表現する。 主
○ 都きり祭 WEEK に参加する。		販売に必要な物	・販売や作品展示の準備に取り組む。 主 ・自分の役割がわかり、リハーサルをするなどして役割を果たす準備をする。 主・深 ・呼び込みや会計など自分の役割を果たすことができる。 主
○ 都きり祭 WEEK を振り返る。		当日の写真や動画	・自分や周囲の友達の役割を果たす姿を認め、賞賛しあう。 主・対

[illegible]

11月1・2週	単元名	後期進路体験実習事後学習（報告会）
第1、2、3学年	単元の目標	○ お互いの頑張りを認め合い、進路や働くことへの関心をもち、今後の作業学習への意欲を高めることができる。 「学びに向かう力、人間性」 ○ 他班の活動の様子を知ったり、自分の実習への取り組みを振り返ったりすることができる。「知識及び技能」 ○ 今後の進路や就労に向けた課題について考えることができる。「思考力・表現力・判断力」
学習内容		教材・教具 学習活動内容 指導の手立て（主体的・対話的・学びを深める）
○ 実習報告をしよう ・自分の班の取り組みを発表しよう ・他班の発表を聞こう ○ 修了証書を受け取ろう ○ 学校長の話进行聞こう ○ 解散式をしよう ・修了証書を受け取ろう （代表で修了証書を受け取った生徒以外） ・今後の作業学習や学校生活に向けて、チーフの先生からコメントをもらおう		動画上映のためのパソコンまたはiPad 修了証書 ・それぞれの班の報告会用動画を見て、他班の活動の様子を知ることができるようにする。深 ・代表で発表する生徒については、一週間、頑張ったことやできるようになったこと、今後の課題などを大きな声で分かりやすく報告をする。主・対 ・代表で修了証書を受け取る生徒は、前方に1列に並び、堂々とした態度で修了証書を受け取る。主 ・代表で修了証書を受け取る生徒以外の生徒については、大きな拍手をしてねぎらう。主・対 ・校長先生の話进行聞いて自分の実習への取り組みを振り返り、今後の進路や就労に向けた課題に対する意識を深める。深 ・各班に分かれて修了証書を受け取り、お互いの頑張りを認め合う。対 ・チーフの先生の話进行聞き、今後の作業学習や学校生活への意欲を高める。主

11月3・4週	単元名	秋の遠足に行こう	
1学年 2学年 3学年	単元の目標	○ 秋の遠足の日程や目的を知り、多くの友達と触れ合うことに興味・関心を持って取り組むことができる。 「学びに向かう力、人性」 ○ 集団活動を通して必要なルールやマナーを守ることができる。 「知識及び技能」 ○ 遠足後のまとめを通して、自分の意思や考えを発表することができる。 「思考力・表現力・判断力」	
学習内容		教材・教具	学習活動内容 指導の手立て(主体的・対話的・学びを深める)
1 秋の遠足について知ろう (1) 秋の遠足の目的を知る。 (2) 期日や場所、交通手段について知る。 (3) 参加人数や参加者を知る。 (4) 去年の秋の遠足の様子を知る。		パワーポイント資料 動画 顔写真	1 秋の遠足について知ろう ・秋の遠足の目的を知り、楽しみにしている気持ちを表現したりする。 主・対 ・カレンダーに印をつけて、あと何日かを数える。 主 ・友達や先生の顔写真を使って、一緒に行く人を確認する。 深 ・ビデオを観て去年の秋の遠足の様子を知る。 深
2 活動内容について知ろう (1) 秋の遠足の日程について知る。 (2) レクリエーションについて知る。 (3) レクリエーションでの決まりをについて知る。		パワーポイント資料 ビデオ動画等 顔写真 タブレット	2 活動内容について知ろう ・秋の遠足の日程を知り、活動内容を理解する。 主 ・友達や先生の顔写真を使って、同じレクリエーションの人を確認する。 深 ・去年の動画や写真を使って様子を確認する。 深 ・活動場所での過ごし方や交通ルールについて資料を見て確認する。 深・対
1 秋の遠足を振り返ろう (1) 写真や動画を見て、思い出し振り返る。 (2) 遠足の感想文や絵を書いて、まとめをする。 (3) まとめたものを発表する。		パワーポイント資料 動画 写真 ワークシート	1 秋の遠足を振り返ろう ・写真や動画を見て、楽しかったことや思い出に残っていることを振り返る。 主・対 ・動画を見た後に、周りの友達と思い出を話し合う。 対 ・感想文や絵を描いてまとめをする。 主・深 ・ワークシートをもとに、思い出発表をする。 対・深

12月1・2週	単元名	冬の暮らし	
3学年	単元の目標	○ 寒い季節に関心をもち、学習した内容を日常生活につなげることができる。「学びに向かう力、人間性」 ○ 寒い時期の過ごし方や衣服について考えることができる。「知識及び技能」 ○ 寒い時期の過ごし方や衣服について考え、友達と意見を共有することができる。「思考力・表現力・判断力」	
学習内容		教材・教具	学習活動内容 指導の手立て(主体的・対話的・学びを深める)
○ 寒い季節の体調管理について考えよう。 ・ 感染症対策について考えよう。 ・ 防寒具について考えよう。 ・ 防寒具以外で体を温められる方法を考えよう。 ○ 冬の過ごし方について知ろう。 ・ 冬の行事について調べよう。 ・ 調べた内容をまとめよう。 ・ 調べた内容を発表しよう。 ・ お正月の遊びを体験しよう。		テレビモニター スライド ワークシート テレビモニター スライド タブレット端末 ワークシート	・ 冬に流行するインフルエンザの予防策について、みんなで意見を出し合い、手洗い、うがいの練習をする。主・対 ・ 寒い季節は、どのような服装がよいか、写真やイラスト、スライドを見て確認する。 ・ 服装以外の防寒具を考え、その内容をみんなで共有する。対・深 ・ 体を温められる方法(温かい飲み物、お風呂)をみんなで考え、ワークシートにまとめ発表する。対・深 ・ 冬の行事についてみんなで意見を出し合い、その日程や行事の慣習を調べる。主・対 ・ 調べた内容をワークシートにまとめる。主・深 ・ ワークシートにまとめた内容を発表する。対 ・ かるたや福笑いなどお正月の遊びをみんなで体験する。深

1 2 月・3 週	単元名	2 学期のまとめをしよう	
1 学年 2 学年 3 学年	単元の目標	○ 2 学期の思い出や目標を振り返り、自分自身の成長を知る。 「学びに向かう力、人間性」 ○ 冬休み中の生活について話し合い、見通しをもって生活できるように冬休みの計画を立てる。 「知識及び技能」 ○ 2 学期の反省や冬休みの計画について考えたことを発表する。 「思考力・表現力・判断力」	
学習内容	教材・教具	学習活動内容 指導の手立て(主体的・対話的・学びを深める)	
2 学期のまとめ	パソコン、タブレット等 パワーポイントによる資料 清掃用具	(1) 2 学期の思い出を振り返ろう ① 思い出のビデオやアルバムを見て 2 学期の活動を振り返る。主 ② 写真や作品を整理し、2 学期の行事や学習を振り返る。主・深 (2) 身の回りの整理をしよう ① 学期の終わりに片付けや整理することを知る。深 ② 身の回りのものの片付けや整理をする。主 ③ 冬休みに持って帰る作品や学習帳の整理をする。主・深 (3) 教室や特別教室の掃除をしよう ① 学期の終わりに自分たちで使った教室や特別教室などを掃除することを知る。主 ② 教室や特別教室などを教師と一緒に掃除する。主・対 ③ 教室や特別教室などを自分たちで掃除する。主・対	
冬休みの計画	カレンダー 冬休みのしおり	(1) 冬休みの過ごし方 ① 2 学期の目標について教師と共に振り返る。主・深 ② 年の変わる休みに入ることを確認する。主・深 ③ 年末年始の過ごし方のよい例・悪い例を見てどうすれば良いか考える。主・対 ④ 家庭での過ごし方や家庭での自分の役割、どんな手伝いができるか考え発表する。主・対 (2) 冬休みの計画を立てよう ① カレンダーなどで冬休みの行事を確認する。主 ② カレンダーなどに冬休みの行事を書き込む。主・深 ③ 冬休みにしたいこと・行きたいところを考え、発表する。主・対 ④ 冬休み期間のスケジュールを作る。主	

1月1週	単元名	3学期の計画	
1学年 2学年 3学年	単元の目標	○ 冬休みの終わりを確認し、3学期の始まりを意識する。 「学びに向かう力、人間性」 ○ 冬休みの思い出を発表する。 「知識及び技能」 ○ 正月の遊びを通して日本の伝統的な遊びを知り、友達と仲良く遊ぶことができる。 「思考力・表現力・判断力」	
学習内容		教材・教具	学習活動内容 指導の手立て(主体的・対話的・学びを深める)
1 冬休みを振り返ろう		冬休みの課題 写真 年賀状	(1) 冬休みを思い出そう ○冬休みの宿題の作品・年賀状を通して、冬休みに行ったことを話したりして振り返る。 主 対 深
2 3学期の目標を立てよう		画用紙 マジック	(1) 目標を立てよう ○今年度最後の学期である事、そして新しい年である事を意識して、がんばりたいことを考え、目標を立てる。 主 ○考えた目標を発表する。 主 (2) 教室に目標を掲示しよう ○目標を紙に書いたりして教室や廊下に掲示する。 主
3 正月の遊び			(1) 正月の遊び(凧揚げ、こま回し、はねつき、すごろく、福笑いなど)を知りいっしょに友達と遊ぶ。

1月3週	単元名	生徒会役員選挙について知ろう	
1学年 2学年 3学年	単元の目標	○ 生徒会の仕組みや活動を知り、生徒会役員選挙への意欲を高めることができる。 「学びに向かう力、人間性」 ○ 選挙の方法を知り、生徒会役員の公平な選び方を学ぶことができる。 「知識及び技能」 ○ 生徒会役員選挙の候補者の演説を聴き、投票者を考えることができる。 「思考力・表現力・判断力」	
学習内容		教材・教具	学習活動内容 指導の手立て(主体的・対話的・学びを深める)
1 生徒会役員選挙について知ろう (1) 生徒会役員選挙の目的について知る。 (2) 生徒会の仕組みや活動について知る。 (3) 生徒会役員選挙の立候補者を確認する。 (4) 去年の生徒会役員選挙の動画や写真を見て、振り返る。		パワーポイント資料 動画 顔写真 投票用紙	1 生徒会役員選挙について知ろう ・生徒会役員選挙の目的を知り、生徒会の仕組みや活動を理解する。 深 ・立候補者の友達の顔写真を使って、立候補者を確認する。 深 ・動画を観て去年の生徒会役員選挙の様子を知る。 深
2 選挙の方法について知ろう (1) 生徒会役員選挙の日程について知る。 (2) 生徒会役員選挙の立候補者の演説を聴く。 (3) 演説を聴き、候補者を考える。 (4) 模擬投票を行う。		パワーポイント資料 投票用紙	2 選挙の方法について知ろう ・選挙の日程を知り、活動内容を理解する。 主 ・立候補者の演説を聴き、自分で候補者を考える。 主 ・投票用紙に投票したい人を書き、投票するまでの模擬練習を行う。 対・深

1月・4週	単元名	「給食感謝週間」	
1学年 2学年 3学年	単元の目標	○ 給食や給食を支えてくださっている方々へ感謝の気持ちを持ち、伝えようとするができる。「学びに向かう力、人間性」 ○ 給食に関わる様々な職種の方々やその方々の仕事や思いについて知る。「知識及び技能」 ○ 給食への思いや感謝を手紙や作品で表現することができる「思考力・表現力・判断力」	
学習内容		教材・教具	学習活動内容 指導の手立て(主体的・対話的・学びを深める)
○給食感謝週間について知る。		カレンダー	・給食感謝週間の日時や意義について知る。 主
○給食について考える。		日頃の給食の様子の写真や動画 給食カード	・日頃の給食の様子を写真や動画などから振り返り、好きなメニューを挙げたり、給食にまつわるエピソードなどを挙げたりして、給食が楽しく、健やかな生活を支えていることを確認する。 主・対
○給食を支えてくださっている方について知る。		栄養士の先生作成の PP	・給食がどのように出来たり、どのように片付けられたり想像したり、調べたりする。 深
○給食を支えてくださっている方にお礼の手紙を書いたりや作品を作ったりする。		手紙 作品製作用の画用紙等	・日頃の給食の様子を振り返りながら、手紙や作品を作る。 主 ・書いた手紙や、作品を栄養士の先生や調理員さんに届けたり、作品を掲示したりする。 主・対

2月1・2週	単元名	入学者選考に向けて	
3学年	単元の目標	○ 高等部の様子や授業内容を知ること、進路決定の参考にし、進路についての意識をもたせる。「学びに向かう力、人間性」 ○ 挨拶や面接などの練習を通して、進学や就職、受検の心構えをつくる。「知識及び技能」 ○ 入学者選考に向けて、見通しをもち準備に取り組む事ができる。「思考力・表現力・判断力」	
学習内容		教材・教具	学習活動内容 指導の手立て(主体的・対話的・学びを深める)
○ 高等部について知ろう。 ・授業内容や時間割、現場実習等について学習する。 ・制服や作業着の違いについて学習しよう。		○ PC ○ プリント ○ 筆記用具 ○ 高等部の制服、作業着	・ 高等部の授業(作業学習・教科など)、現場実習の様子を写真・ビデオで見て、行事などを知り、様子を見て感じたことを発表する。(主・対) ・ 高等部の先輩たちの卒業後の就職先を知る。(深) ・ 高等部と中学部の違いについて話し合う。(対) ・ 高等部に進学するためには何が大切かを考え発表する。(主) ・ 高等部に進学希望の生徒は、高等部入学志願者選考会の日程や内容について知る。(深)
○ 入学者選考内容について知ろう。 ・ 試験日、試験内容、時間、持ち物、注意することについて学習する。		○ PC ○ 受験票 ○ 筆記用具	
○ 面接の練習をする。 ・ 入室の仕方、声の大きさ、言葉遣い、態度等について学習する。		○ 面接室 ○ カード	・ 入室の仕方や挨拶の練習をする。(主) ・ 自分の住所、家族構成、長所・短所など言えるよう練習し、自己紹介ができるようにする。(主) ・ 受検を希望した理由(何をしたいかなど)を言えるようにする。(主) 清潔な身だしなみについて考え実践する。(深)

2月3・4週	単元名	1年間のまとめ	
3学年	単元の目標	○ 1年間の思い出を振り返り、学校行事や友達の発表に関心をもつことができる。 「学びに向かう力、人間性」 ○ 自分の考えや気持ちを文章にして相手に伝えることができる。 「知識及び技能」 ○ 友達の発表を聞いて賞賛や感想を述べることができる。 「思考力・表現力・判断力」	
学習内容		教材・教具	学習活動内容 指導の手立て(主体的・対話的・学びを深める)
○ 1年間の学校行事を振り返ってみよう ・動画や写真を見ながら今年1年間の学校行事を振り返る。 ・1年間で心に残った思い出を決めて、ワークシートに自分が選択した思い出の場면을記入する。 (記入が難しい生徒は教師と一緒に記入したり、思い出の写真と一緒に選択する。) ・思い出の感想をワークシートに記入する。 (記入が難しい生徒は教師と一緒に記入したり、思い出の写真と一緒に選択する。) ○ 1年間で心に残った思い出を発表しよう ・選んだ思い出写真を切り抜きしてワークシートに貼る。 ・思い出や感想を一人ずつ発表する。 ・友達の発表を聞いて、思い出の感想を聞く。		・パソコン ・プロジェクター ・スクリーン ・ワークシート ・筆記用具 ・生徒が選択した思い出写真 ・ハサミ ・のり ・ワークシート ・筆記用具	○ 1年間の学校行事を振り返ってみよう ・1年間の学校行事の動画や写真をパソコンで見て振り返り、心に残った行事を自分で選択することができる。 主 ・友達や教師と話し合いながら1年間の振り返りをし、ワークシートに自分や友達の意見を記入することができる。 対 ・ 深 ・場面にあった写真・動画をパソコンで見て、自分で感想を書き表すことができる。 主 ○ 1年間で心に残った思い出を発表しよう ・写真や感想をまとめて、ワークシートを完成させる。 主 ・聞き取りやすい声の大きさや話すスピードについて考え、発表の時に意識できるようにする。 主 ・ 深 ・友達の発表を聞き、感想をもつことができる。 対 ・友達の発表を聞いて、相手に伝わりやすい声の大きさや発表の仕方を学ぶことができる。 対

3月2週	単元名	卒業に向けて(3年)	
3学年	単元の目標	○ 自分の役割を知ること、意欲をもって練習に取り組む。 ○ 卒業式に必要な所作を身に付けることができる。 ○ 卒業の思い出に卒業文集を作成する。	「学びに向かう力、人間性」 「知識及び技能」 「思考力・表現力・判断力」
学習内容		教材・教具	学習活動内容 指導の手立て(主体的・対話的・学びを深める)
1 卒業式の学習日程や内容について知ろう		パワーポイント資料 ビデオ動画 写真 ワークシート タブレット等 卒業式計画資料等	1 卒業式の学習日程や内容について知ろう ・卒業式の日程や内容を卒業式計画資料やパワーポイント資料、ビデオ動画を見て知る。【主】 ・ビデオ動画を見て、卒業式の流れを知る。【深】 ・卒業式参加の心得(服装・身だしなみ・トイレ・礼節など)について話し合う。【対】
2 卒業式の練習に参加しよう			2 卒業式の練習に参加しよう ・教師と一緒に、入場と席の着き方、式順に沿った動作、歌の歌い方、卒業証書の受け取り方などの練習をする。【主】 ・入場と席の着き方、式順に沿った動作、歌の歌い方、卒業証書の受け取り方などの練習を行った後、学級で振り返りを行い、よかった点や反省点を話し合う。【対】
3 卒業の思い出を残そう			3 卒業の思い出を残そう ・卒業文集を協力、分担してつくる。【対】 ・卒業生全員の様子を、タブレット等に撮ったりする。【深】

3月3週	単元名	卒業に向けて(3年)	
3学年	単元の目標	○ 3年間お世話になった人との思い出を振り返ることで、多くの人の協力や支えて卒業を迎えることができたことを知り、感謝の気持ちをもつ。 「学びに向かう力、人間性」 ○ 卒業式に必要な所作を身に付けることができる。 「知識及び技能」 ○ お世話になった人に感謝の気持ちを表すことができる。 「思考力・表現力・判断力」	
学習内容		教材・教具	学習活動内容 指導の手立て(主体的・対話的・学びを深める)
1 卒業式の練習をしよう		パワーポイント資料 ビデオ動画 写真 ワークシート 卒業式練習計画資料等	1 卒業式の練習をしよう ・卒業式での起立、礼、着席の仕方や卒業証書の授与の仕方を、教師の説明を聞いたり、模範を見たりして練習する。主 ・卒業式で歌う歌の練習を教師の説明や模範を見て行う。主 ・卒業式で役割がある場合には、責任をもって役割を果たせるよう言葉かけを行い集中して練習させる。主
2 お世話になった人に感謝の気持ちをもとう			2 お世話になった人に感謝の気持ちをもとう ・お世話になった人達への感謝の気持ちを持ち、お礼の手紙を書いたり、作品をつくらしたりする。主 ・3年間、学校で関わってくれた教師や友達の写真を見て思い出を話す。対 ・今まで使用してきた教室や特別教室などをきれいにする。主
3 卒業式に参加しよう			3 卒業式に参加しよう ・3年間学んだ集大成ということを自覚し、3年間で大きく成長したことに誇りをもって卒業式に参加する。深